

# いしかわ シティカレッジ受講生 募集ガイド

2026



公益社団法人 大学コンソーシアム石川

# 目 次

2026年度 シティカレッジ開講科目 学年暦 .....	P 1
大学コンソーシアム石川について／いしかわシティカレッジについて.....	P 2
出願の前にご理解いただきたい事.....	P 3・4
出願手続きについて	
A) シティカレッジ開講科目（対象：属性㉗・属性㉘・属性㉙） .....	P 5～P 12
B) 提供機関開講科目	
対象：属性㉗.....	P 13
対象：属性㉙.....	P 14
シティカレッジ開講科目受講にあたって	
第1回目受講～受講料支払いの流れ（対象：属性㉘） .....	P 15・16
休講補講（対象：シティカレッジ開講科目受講生 全員） .....	P 17
教室案内・駐車場（対象：シティカレッジ開講科目受講生 全員） .....	P 18
UCIポータルで出来る事（対象：シティカレッジ開講科目受講生 全員） .....	P 19・20
シティカレッジ単位互換事業 提供科目一覧（シティカレッジ開講科目＋機関開講科目） .....	P 21～25
シティカレッジ開講科目時間割（前期） .....	P 26
シティカレッジ開講科目時間割（後期） .....	P 27
シラバス シティカレッジ開講科目（前期） .....	P 28～
シラバス シティカレッジ開講科目（後期） .....	P 38～
提供機関開講科目（前期） .....	P 50～52
提供機関開講科目（後期） .....	P 53・54
シラバス 提供機関開講科目（前期） .....	P 55～
シラバス 提供機関開講科目（後期） .....	P 81～

# 2026年度 シティカレッジ開講科目 学年暦

## ・講義時間

月曜日 ～ 金曜日	第1講時	13:30～15:00
	第2講時	15:30～17:00
	第3講時	17:30～19:00
	第4講時	19:10～20:40

土曜日	第1講時	10:30～12:00
	第2講時	13:30～15:00
	第3講時	15:20～16:50

## ◇前期

	日	月	火	水	木	金	土
2026年 (令和8)	3/29	3/30	3/31	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
4月	26	27	28	29	30		
						1	2
5月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
6月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
7月	28	29	30				
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
8月	26	27	28	29	30	31	
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
9月	30	31					
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19

## ◇後期

	日	月	火	水	木	金	土
9月	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			
10月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
11月	25	26	27	28	29	30	31
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
12月	29	30					
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
2027年 (令和9)	27	28	29	30	31		
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
1月	31						
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28						
2月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28						
3月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

■ : 講義のない日

□ : 補講日 (予定)

# 大学コンソーシアム石川について

大学コンソーシアム石川は、石川県内の全ての高等教育機関（大学・短期大学・高等専門学校）が連携して、教育交流・情報発信・地域連携等を行い、高等教育の充実・発展及び地域社会の学術・文化・産業の発展に寄与することを目的として、平成18年4月1日に設立されました。

## 単位互換参加高等教育機関（19機関）

金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、石川県立看護大学、石川県立大学、金沢美術工芸大学、公立小松大学、金沢工業大学、金沢星稜大学、金沢医科大学、北陸大学、金沢学院大学、金城大学、北陸学院大学、かなざわ食マネジメント専門職大学、金沢学院短期大学、金城大学短期大学部、金沢星稜大学女子短期大学部、石川工業高等専門学校、国際高等専門学校

※ 放送大学石川学習センターにおいては、単位互換事業は行っていませんが、同センター所属の全科履修生の場合、「いしかわシティカレッジ」の開講科目の履修が可能です。なお、検定料、入学料及び授業料は不要です。

## いしかわシティカレッジ（単位互換事業）

単位互換、他大学の科目を受講して単位が取れます。  
社会人の方も受講できます。

大学コンソーシアム石川では、平成15年10月から県内の高等教育機関の間で、単位互換事業を行っています。単位互換事業とは、上記の単位互換参加高等教育機関が、いしかわシティカレッジにおいて科目を開講し、そこで修得した授業科目の単位が、自大学の単位として修得したものと認定される事業です。

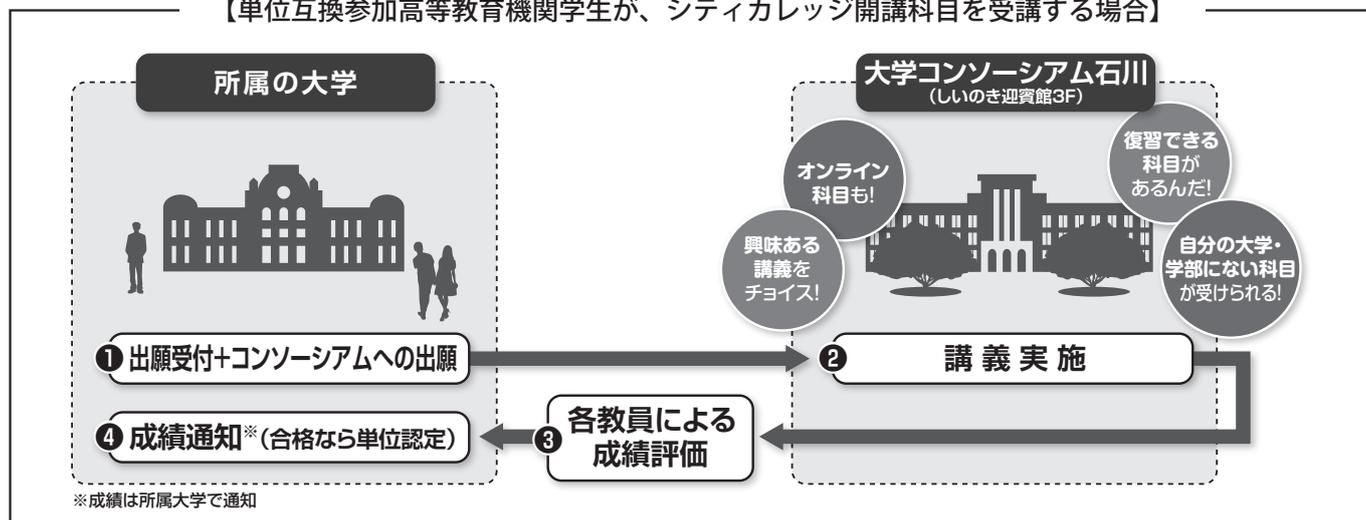
いしかわシティカレッジには、シティカレッジ開講科目と、提供機関開講科目の2種類があります。

シティカレッジ開講科目は、緑豊かな県都・金沢の中心にある『石川県政記念しいのき迎賓館3階』と、サテライト教室『石川四高記念館文化交流館』で実施しています。一部の科目では、講義を録画し、インターネット（UCIポータルサイト）で視聴できますので、いつでも復習が可能です。

提供機関開講科目は、各高等教育機関の指定教室で実施しています。

また、社会人の方にも、生涯学習の機会として、資格取得等で必要な単位修得の場として受講いただけます。

### 【単位互換参加高等教育機関学生が、シティカレッジ開講科目を受講する場合】



# 出願の前にご理解いただきたいこと

## 受講生の種類

### ▶学生の場合

属性⑦：参加高等教育機関（下記20機関）の学生

金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、石川県立看護大学、石川県立大学、金沢美術工芸大学、公立小松大学、金沢工業大学、金沢星稜大学、金沢医科大学、北陸大学、金沢学院大学、金城大学、北陸学院大学、かなざわ食マネジメント専門職大学、放送大学石川学習センター、金沢学院短期大学、金城大学短期大学部、金沢星稜大学女子短期大学部、石川工業高等専門学校、国際高等専門学校

属性⑧：参加高等教育機関以外の学生⇒シティカレッジ聴講生

### ▶社会人の場合

属性④：社会人で、単位を必要としない者⇒シティカレッジ聴講生

属性⑤：社会人で、単位を必要とする者⇒科目等履修生

## 科目の種類

AとBの2種類の科目があります。

### A) シティカレッジ開講科目

参加高等教育機関（P2参照）が、石川県政記念しいのき迎賓館3階及び石川四高記念文化交流館2階等で開講する科目又はオンライン科目、オンデマンド科目のこと。

※受講上のご注意※

- ・インターネットの環境が整っており、カメラ・マイク付のパソコンでオンライン配信・オンデマンド配信を受講できる方。（対面科目であっても、災害等の理由でインターネットを使った形式で講義を行う場合があります。環境が整わない方は大学コンソーシアム石川事務局までご相談ください。）
- ・申込人数が3名以下の場合には開講しません。

### B) 提供機関開講科目

参加高等教育機関（P2参照）が各高等教育機関の指定教室で開講しており、属性⑦や属性⑤に受講を認めている科目のこと。

※社会人で単位を必要としない方が、提供機関開講科目を受講することは出来ません。

## シラバスとは

科目名、担当教員名、履修条件、開講期間・日時、実施場所、単位数、科目内容、成績評価方法・基準、教科書・必要物等が記されており、受講者が講義の履修を決める際の情報となるもの。

※いしかわシティカレッジでは、受講料等の項目があります。該当者は特にご注意ください。

※履修したい科目のシラバスを必読、了承の上でお手続きしてください。

- ・シティカレッジ開講科目 シラバス掲載ページ・・・当募集ガイドP28～
- ・提供機関開講科目 シラバス掲載ページ・・・・・・当募集ガイドP55～

## 【属性別で履修できる科目・手続き等の一覧表】

	属 性		Aシティカレッジ 開講科目	B提供機関 開講科目	出願手続き	受講料の支払い	休講補講・教室案内・ 駐車場など
属性 ㉗	参加高等教育機関に通う学生		○	○	A科目： P5～P12	なし。 ただし、別途テキスト代や、演習費が必要となる場合あり	P17～20
					B科目：P13		各高等教育機関に 問合せ
属性 ㉘	参加高等教育機関以外の学生	シティカレッジ 聴講生	○	×	A科目のみ： P5～P12	P15・16	P17～20
	社会人で、単位を必要としない者						
属性 ㉙	社会人で、単位を必要とする者	科目等履修生	○※1	○	A科目： P5～P12※2	P14、P28～各科目シ ラバス内「科目等履 修生」の金額を高等 教育機関に支払う。	P17～20
					B科目：P14		

※1 科目によって、受講できないものもあります。詳しくはシラバスをご覧ください。

※2 高等教育機関の科目等履修生の手続きを行ってから、A科目（シティカレッジ開講科目）の出願（P5～P12参照）を行ってください。

### 申込期間

- ・前期 3月16日(月)～4月10日(金)17:00 (開講 4月6日(月)～)
- ・後期 9月初旬～9月末予定 (開講 9月28日(月)～)

※第1回目の講義は、申込期間中に始まります

### いしかわシティカレッジ案内ページ

<https://www.ucon-i.jp/newsite/city-college/index.html>



## 出願手続きについて

### A) シティカレッジ開講科目

(対面時：しいのき迎賓館3階及び石川四高記念文化交流館2階等で実施する科目)

対象：属性⑦：参加高等教育機関の学生

：属性⑧：参加高等教育機関以外の学生、社会人で単位を必要としない者（シティカレッジ聴講生）

：属性⑨：社会人で単位を必要とする者（科目等履修生）

### 【出願資格】

- ・原則として、高等学校卒業程度の学力を有していることが必要です。
- ・属性⑨の方は、まず高等教育機関で科目等履修生の手続き（P14参照）を済ませてから、下記出願を行ってください。

### 【出願手続きの概要】

時間割（P26・27）及びシラバス（P28～49）を必読・了承の上でお手続きください。

- ① UCIポータルユーザー登録を行う。（手順：P5～P7）
- ② UCIポータルにログイン後、**＋履修登録**から受講希望科目を登録する。（手順：P7～P11）
- ③ 申込み・受講上の諸注意を確認する（P12）

### 【① UCIポータルユーザー登録方法】

(ア) 大学コンソーシアム石川ホームページを検索し、**UCI Portal のロゴ**をクリックする。

・大学コンソーシアム石川ホームページアドレス：<https://www.ucon-i.jp/index.html>

The image shows a screenshot of the University Consortium Ishikawa website. At the top right, there is a search bar and a logo for 'UCI Portal' which is circled in red. A callout box with a speech bubble points to this logo, containing the text 'UCI Portal のロゴ をクリックする。' (Click the UCI Portal logo). The website header includes navigation menus for '大学コンソーシアム石川について', '事業内容', 'イベント/セミナー', 'いしかわシティカレッジ', and '施設設'. Below the header, there are several promotional banners, including one for '2025年度出張オープンキャンパス'. At the bottom, there are four buttons for user groups: '大学生・高専生の方', '市民・企業の方', '教職員の方', and '高校生・中学生の方'. The footer contains 'イベント/セミナー' and 'Event & Seminar' with a '一覧を見る' button.

又は右のQRコードを読みとる。



(イ) UCIポータルトップ画面にある **新規登録** をクリックする。

※スマートフォンで登録すると、画面が縦長になります。

※下記画像のデザインや配色などは、変わる場合がありますが、操作は同じです。

The screenshot shows the UCI Portal homepage. On the right side, there is a login section with fields for 'ポータルID' and 'パスワード', and a 'ログイン' button. Below the login fields is a link for '新規登録 / パスワードを忘れた場合'. A callout box with a speech bubble points to this link, containing the text '新規登録 をクリックする。'.

(ウ) 利用規約に同意後、メールアドレスを入力し、 **メールを送信する** をクリックする。

(エ) 入力したメールアドレスに、ユーザー登録用のURLが届くので、30分以内にアドレスをクリックする。

※@ucon-ijpからのメールを受信できるように設定をお願いします。

(オ) 画面に沿ってユーザー情報（氏名やご連絡先）を入力し、 **登録** をクリックする。

The screenshot shows the user registration form. At the top, there is a progress indicator with three steps: 1. 認証メールの送信, 2. ユーザー情報の入力, and 3. 登録完了. The form is divided into two sections: '基本情報' and 'パスワード'. The '基本情報' section has fields for 'お名前' (姓 and 名), 'フリガナ' (セイ and メイ), and '性別' (radio buttons for 男性 and 女性). The 'パスワード' section has fields for 'パスワード' and 'パスワード確認', both with a '必須' label and a password strength indicator. A callout box points to the 'パスワード' field, containing the text 'パスワード 任意の半角英数字8文字以上を入力する。 ↓ 登録 をクリックする。'. Another callout box points to the '登録' button at the bottom of the form.

(カ) UCIポータルユーザー登録が完了。



(キ) UCIポータルID（半角英数字8文字）が、登録したメールアドレスに届きます。

※UCIポータルIDは、変更することは出来ません。

(ク) 続けて履修登録をする際は、UCIポータル画面上の、**ホームへ移動** をクリックすると、

**【②履修登録】**（サ）P8に進みます。

※操作をユーザー登録で終了し、改めて、履修登録をする際はP7 **【②履修登録】**（ケ）から始めてください。

## 【② 履修登録】

(ケ) 大学コンソーシアム石川ホームページを検索し、**UCI Portal のロゴ** をクリックする。

大学コンソーシアム石川ホームページアドレス：<https://www.ucon-ijp/index.html>

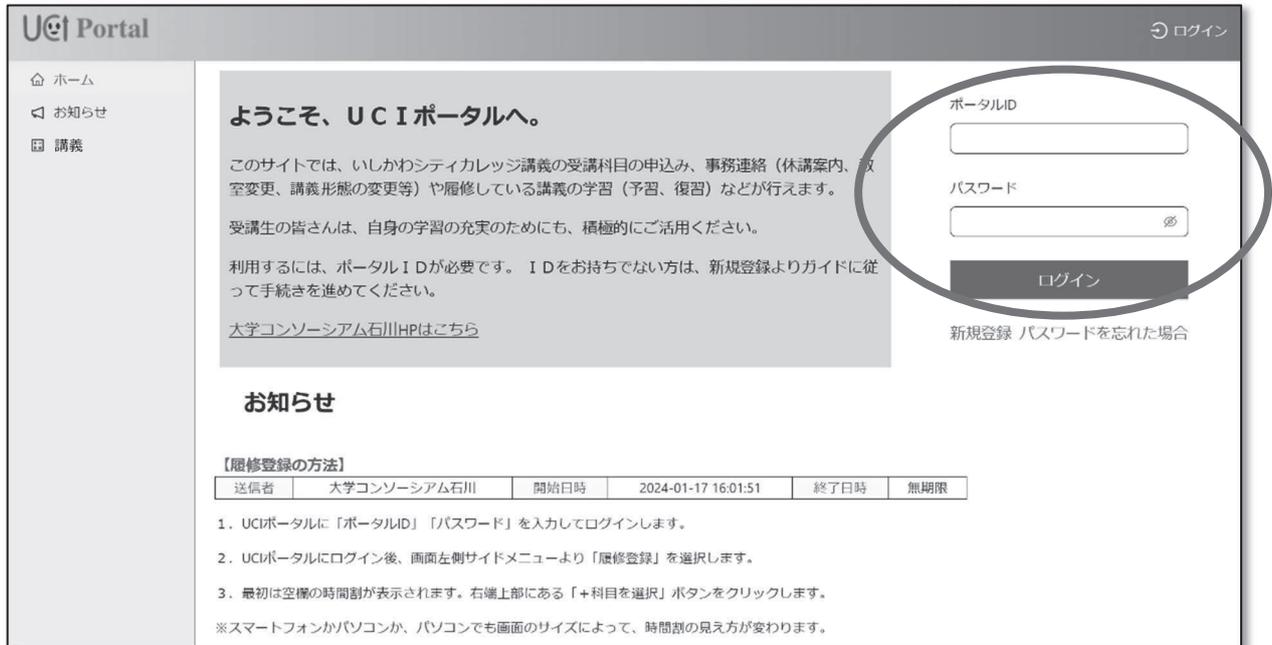
(参照 P5①UCIポータルのユーザー登録方法 (ア))

又は右のQRコードを読み取る

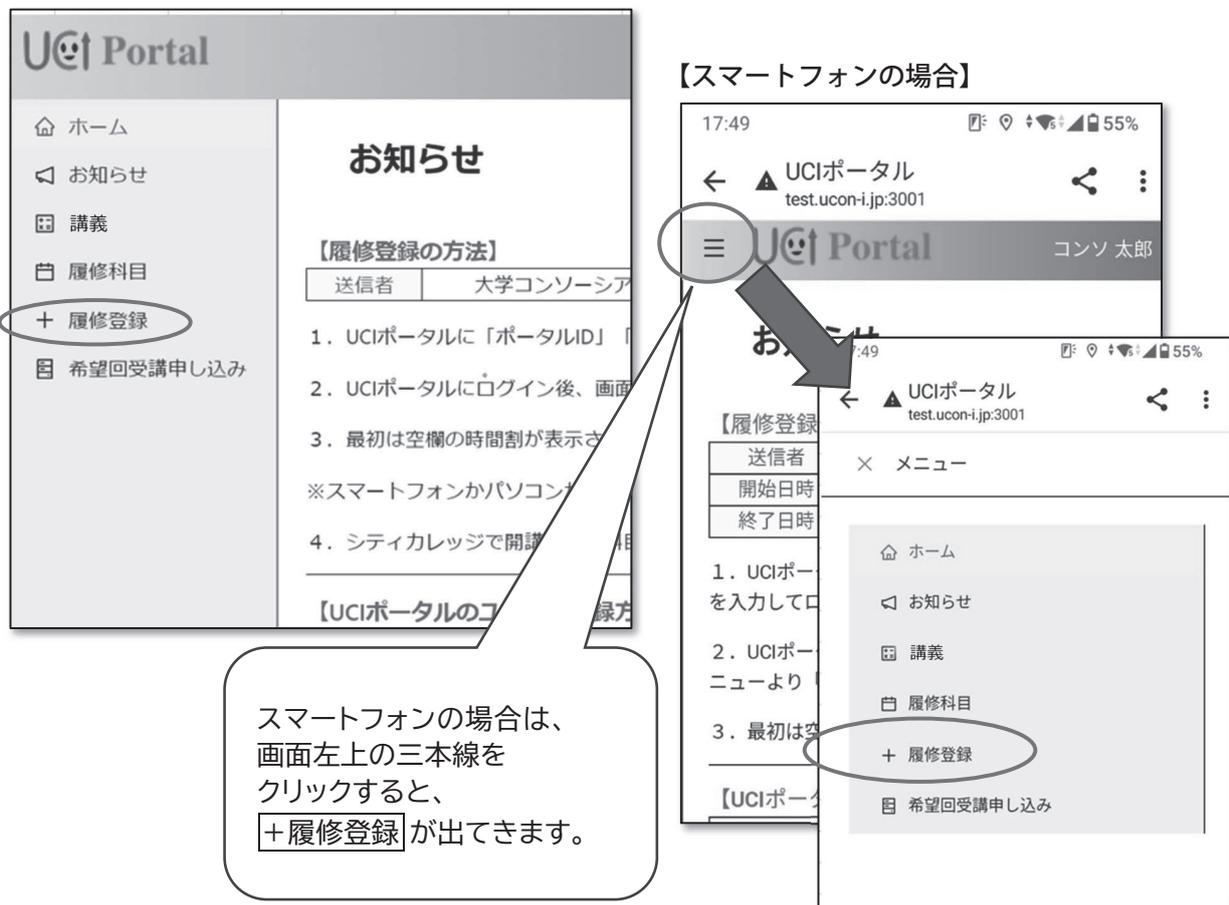


- (コ) UCIポータルトップ画面から、「ポータルID」「パスワード」を入力して **ログイン** をクリックする。
- ・「ポータルID」・・・パスワード設定後、メールで送られてきた半角英数字8文字
  - ・「パスワード」・・・P6（オ）で入力した英数字

※下記画面のデザインや配色などは、変わる場合がありますが、操作は同じです※  
 ※使用する機器（スマートフォン・パソコン等）によって画面の見え方が変わります。



- (サ) UCIポータルにログインした後、画面左側サイドバー **+履修登録** をクリックする。

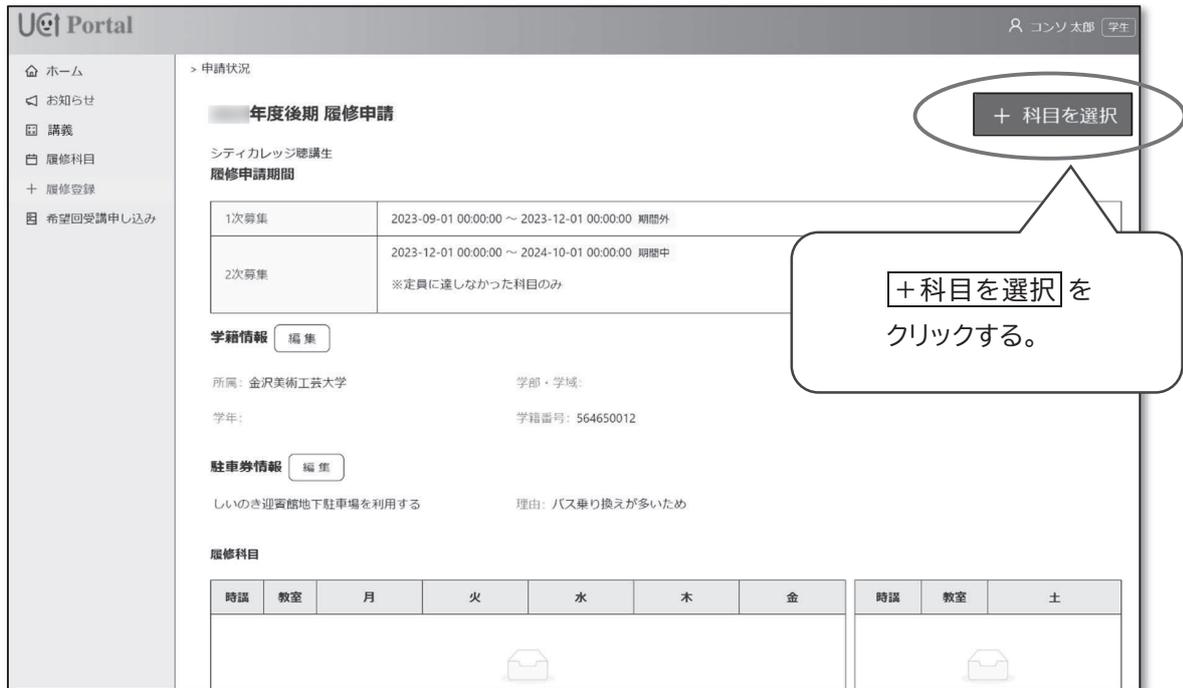


(シ) 空欄の時間割が表示される。

右端上部にある **+科目を選択** をクリックする。

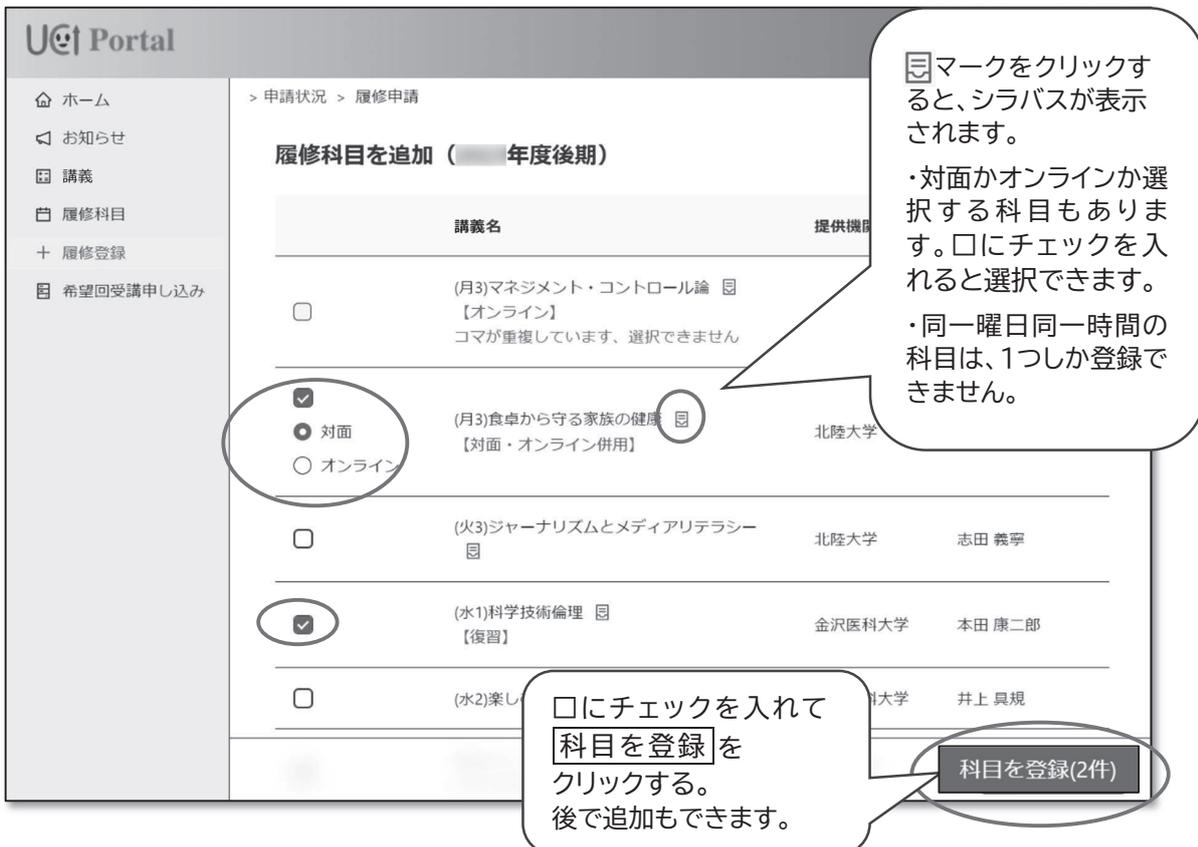
※使用する機器により、表示される画面サイズが異なり、時間割の見え方が変わります。

例) パソコンの大きな画面で見た場合：時間割形式で表示されます。



(ス) 全開講科目が表示される。

受講希望科目のシラバスで受講要件(レベル、講義形態、必要な準備物、評価方法、出欠確認方法など)を確認後、科目名の□をクリックし、画面一番下の、**科目を登録** をクリックする。



- (セ) 空欄だった時間割に、自分が履修申請した科目名が表示される。  
 取消したい時は、**取消**をクリックして画面に沿って入力を進めてください。  
 追加したい場合は、**+科目を選択**をクリックしてください。

画面が大きい時は、時間割の中に表示されます。取消したい時は、**取消**をクリックしてください。

時講	教室	月	火	水	木
1限 13:30 ▼ 15:00	セミナー ルームA			科学技術倫理 対面 詳細   <b>取消</b>	
3限 17:30 ▼ 19:00	セミナー ルームB	食卓から守る 家族の健康 対面 詳細   <b>取消</b>			

- (ソ) 申込締切後、大学コンソーシアム石川事務局の履修手続きが完了すると、「履修登録完了のお知らせ」メールが届きます。受講にあたっての諸注意が記載されておりますので、必ずお読みください。
- (タ) 「履修登録完了のお知らせ」メール受信後、時間割内に **✓処理済** が表示されます。以後、取消し操作は出来ません。取消しが必要な際は大学コンソーシアム石川事務局まで連絡してください。

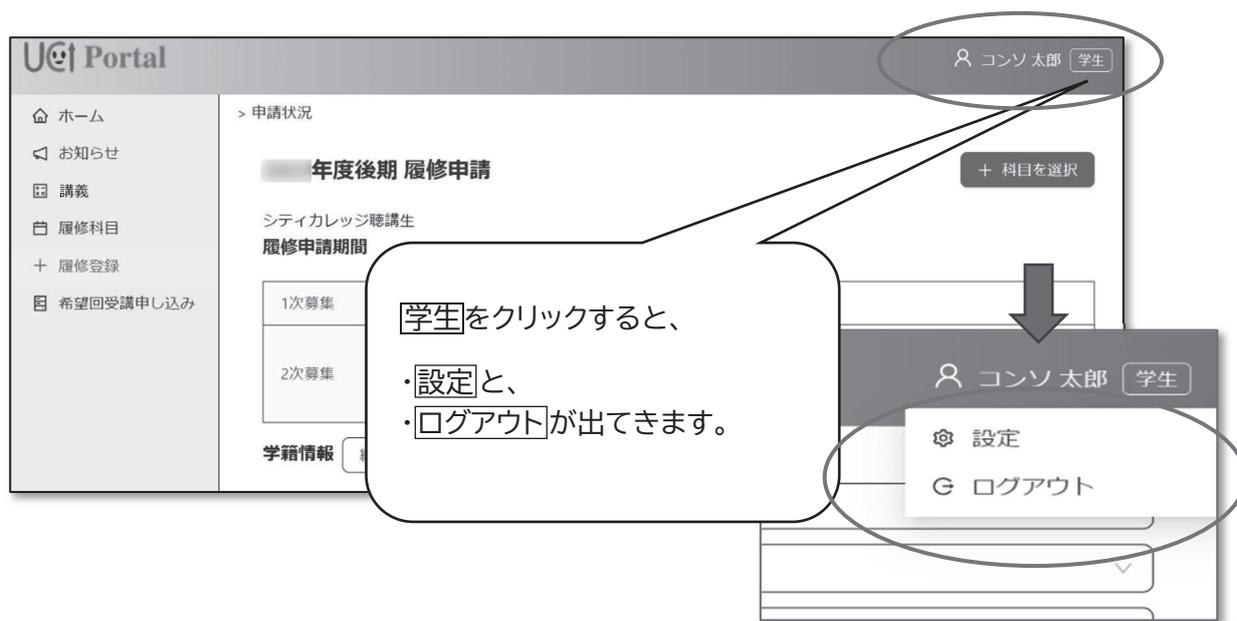
**✓処理済** が表示されていれば、履修登録が完了しています。

時講	教室	月	火	水	木	金
1限 13:30 ▼ 15:00	セミナー ルームA			科学技術倫理 対面 <b>✓処理済</b> 詳細		
3限 17:30 ▼ 19:00	セミナー ルームB	食卓から守る 家族の健康 対面 <b>✓処理済</b> 詳細				

**【大学コンソーシアム石川】**

問合せ先：電話 076-223-1633 / メール city@ucon-ijp  
 対応時間：月～金曜日 9：00～17：00

- (チ) その他：登録情報を変更したい時  
UCIポータルログイン後、**学生**をクリックする。

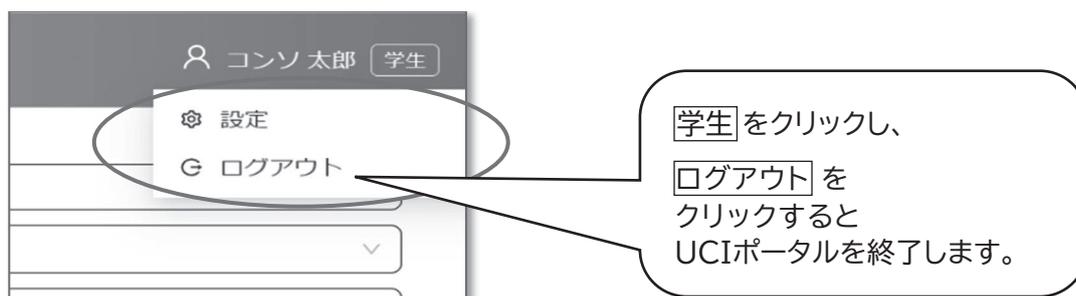


- (ツ) **設定**をクリックする。アカウント/メールアドレス/パスワードの変更したい項目をクリックすると変更画面になり、変えたい内容を入力する。

- ・アカウント : 氏名、学生情報、住所、電話番号、通学方法の変更
- ・メールアドレス : メールアドレスの変更
- ・パスワード : パスワードの変更



- (テ) その他：UCIポータルの利用を終了する時



### 【③ 申込み・受講上の諸注意】

- ・ 申込人数が3名以下の場合は開講しません。この場合は、当事務局からご連絡します。
- ・ 履修登録 からお申込みが出来ない場合、大学コンソーシアム石川事務局へお問合せください。

#### ▶属性⑦：参加高等教育機関の学生への注意

- ・ 自身が在籍する高等教育機関の履修方法で、申込期限内にシティカレッジ科目の履修登録を行うこと。
- ・ 自身の在籍する高等教育機関が開講する科目についても、大学コンソーシアム石川UCIポータルで履修登録を行うこと。
- ・ 選考結果により受講できない場合があります。
- ・ 受講申込後、履修登録を取り下げた時は、在籍する高等教育機関の履修係にも必ず連絡してください。
- ・ 受講料は無料ですが、別途テキスト代や実習・演習費が必要になる場合があります。
- ・ 出席日数や成績評価等の問合せは、自身が在籍する高等教育機関の教務窓口をお願いします。

#### ▶属性⑧：参加高等教育機関以外の学生、社会人で単位を必要としない者（シティカレッジ聴講生）への注意

- ・ 履修登録学生を優先とします。定員を超えた場合、受講をお断りする場合があります。
- ・ 過去に、同一の講義を受講している場合は、原則受講できません。ただし、「石川県の市町」「石川県の行政」等、毎年講義内容に変更がある科目は除きます。ただし、事前に授業担当教員から受講の許可を得た場合はこの限りではありません。

#### ▶属性⑨：社会人で単位を必要とする者（科目等履修生）への注意

- ・ 最初に、科目を提供している高等教育機関の窓口で「科目等履修生」の出願申請をしてください。（P14参照）
- ・ 高等教育機関の規定に従って、費用をお支払いください。  
(シラバスP28～の、「科目等履修生」欄で、金額を確認することができます。)
- ・ 大学コンソーシアム石川UCIポータルでも履修登録を行ってください。（手順：P5～P11）
- ・ 受講申込後、履修登録を取り下げた時は、在籍する高等教育機関の履修係にも必ず連絡してください。
- ・ 出席日数や成績評価の問合せは、自身が在籍する高等教育機関の教務窓口をお願いします。

### 【大学コンソーシアム石川】

問合せ先：電話 076-223-1633／メール city@ucon-i.jp

対応時間：月～金曜日 9：00～17：00

## 出願手続きについて

### B) 提供機関科目（対面時：各大学等の教室で実施する科目）

**対象：属性⑦参加高等教育機関の学生**

※他大学で受講する場合、特別聴講学生という表現になります。

- ① 在籍する高等教育機関の履修窓口へ、他大学での提供機関科目を受講したい旨を申し出る。
- ② 『提供機関開講科目シティカレッジ特別聴講学生出願票（学生用）』を記入する。（右図参照→）
- ③ ②で記入した『提供機関開講科目シティカレッジ特別聴講学生出願票（学生用）』を持参し、提供機関での初回講義に参加する。
- ④ 講義後、担当教員に、『提供機関開講科目シティカレッジ特別聴講学生出願票（学生用）』内の「担当教員印」及び「選考結果」を記入してもらう。
- ⑤ 提供機関の事務窓口で『提供機関開講科目シティカレッジ特別聴講学生出願票（学生用）』の提示のみを行う。  
※⑥で本用紙が必要になります。
- ⑥ 在籍する高等教育機関の履修窓口にて、持ち帰った『提供機関開講科目シティカレッジ特別聴講学生出願票（学生用）』を提出する。

#### 出願票の記入要領

**提供機関開講科目  
シティカレッジ特別聴講学生出願票（学生用）**

**A票（科目提供機関用）**

提出日	2023年4月9日		
在籍機関名	石川大学 社会学部 人間学科		
学籍番号	20200407	学年	2年
ふりがな	ひろさか しげき		性別
氏名	広坂 茂樹		(男)・女
生年月日	2004年4月2日生（20歳）		
現住所	郵便番号	〒920-0962	
	住所	金沢市広坂2丁目1番1号 レジデンス広坂2号室	
	電話番号	076-223-1633	
	携帯電話	090-XXX-XXXX	
	E-mail	XXX@XXXX	
提供機関	金沢大学		
	科目名	担当教員印	※選考結果
	初級ドイツ語文法 I		可・否
志望理由	ドイツ語に興味があるのて		

..... (切り取り線) .....

**B票（連絡票：科目提供機関から在籍機関へ）**

在籍機関名	石川大学 社会学部 人間学科		
学籍番号	20200407	学年	2年
ふりがな	ひろさか しげき		
氏名	広坂 茂樹		
	科目名	※選考結果	
	初級ドイツ語文法 I	可・否	

【注意事項】 1 太線の枠内のみ記入し、「※選考結果」欄は記入しないでください。  
2 A票とB票の記載内容が一致しているか確認してください。  
3 シティカレッジ特別聴講学生出願票は、担当教員に「担当教員印」及び「選考結果」を記入してもらい提供機関の事務窓口で出願票を提示した後、在籍する高等教育機関の教務担当窓口へ提出してください。  
4 なお、本票は提供機関開講科目でのみ使用します。シティカレッジ開講科目はオンライン出願のため本票は使用しません。

【個人情報の取扱いについて】  
ご記入いただきました個人情報は、シティカレッジにおける教務事務及び諸連絡、あるいは皆様へ本コンソーシアム事業をお知らせする場合にのみ使用し、ほかの目的では使用いたしません。

※科目提供機関は、A票の複写1部を大学コンソーシアム石川へお送りください。

#### ※注意事項※

- ・P55～シラバスを必読・了承の上でお手続きください。
- ・出願票は大学コンソーシアム石川ホームページ「いしかわシティカレッジ」から、ダウンロード可能です。  
掲載ページアドレス

： <https://www.ucon-i.jp/newsite/city-college/gakusei-tetuduki.html>



- ・受講手続き期日は、自身が在籍する高等教育機関及び科目提供機関の履修登録期間に従ってください。
- ・受講料は無料ですが、別途テキスト代や実習・演習費が必要になる場合があります。
- ・出席日数や成績評価の問合せは、自身が在籍する高等教育機関の教務窓口をお願いします。

## B) 提供機関科目（対面時：各大学等の教室で実施する科目）

対象：属性④社会人で、単位を必要とする者（科目等履修生）

### 【出願資格】

原則として、高等学校卒業程度の学力を有していることが必要です。

### 【出願～お支払いの概要】

① 科目を提供している高等教育機関の窓口にて「科目等履修生」の出願申請をする。

連絡先	
高等教育機関	電話番号
金沢大学 学務部	076-264-5758
北陸先端科学技術大学院大学 学務部	0761-51-1945
石川県立看護大学 教務学生課	076-281-8315
石川県立大学 教務学生課	076-227-7408
金沢美術工芸大学 事務局	076-262-3531
公立小松大学 学生課	0761-23-6610
金沢工業大学 教務課	076-294-6402
金沢星稜大学・女子短期大学部 教務課	076-253-3923
金沢医科大学 教学課	076-286-2211
北陸大学 教務課	076-229-6004
金沢学院大学 教務部	076-229-8941
金城大学 教学支援部	076-276-4400
北陸学院大学 教務係	076-280-3850
金沢学院短期大学 教務部	076-229-8941
金城大学短期大学部	076-276-4411
石川工業高等専門学校	076-288-8031
国際高等専門学校	076-248-1080
かなざわ食マネジメント専門職大学	076-275-5933
放送大学石川学習センター	076-246-4029

② 各高等教育機関の規定に従って、費用をお支払いください。

### ※注意事項※

- ・P55～シラバスを必読・了承の上でお手続きください。
- ・高等教育機関によって履修登録期間が異なるため、ご興味を持たれましたら、お早目の問い合わせをおすすめします。

# シティカレッジ開講科目 受講にあたって

## ◆第1回目受講～受講料支払いの流れについて

**対象：属性①：参加高等教育機関以外の学生、社会人で単位を必要としない者（シティカレッジ聴講生）**

※属性⑦：参加高等教育機関の学生及び属性⑨：社会人で単位を必要とする者（科目等履修生）は、下記手続きは不要です。

①第1回目の講義に出席する。（1回目は無料です。講義内容や通いやすさ等、ご確認ください。）

・受講継続希望の方

1回目の受講後、講義担当教員の受講許可を受け、2回目の受講までに、当事務局まで、継続希望であることを窓口や電話・メールにてお知らせください。

オンライン配信のみで受講される方は継続希望の旨を当事務局まで、電話・メールにてお知らせください。当事務局から講義担当教員に受講許可を確認します。許可が確認できましたら②へ進みます。

・受講継続しない方

当事務局にその旨を、2回目の講義までに、窓口や電話・メールにてお知らせください。これで手続きは終了です。

②払込用紙が郵送で届きます。

③コンビニエンスストアまたは、スマートフォン決済アプリで支払う。

※お支払いできる店舗や決済アプリ名は、払込取扱票裏面に記載されています。

The image displays a request form and a payment slip. The request form at the top shows a request amount of 15,000 JPY and a payment deadline of April 30, 2024. Below it is a payment slip with a table of items:

【科目名】	【金額】
助の科学	10,000
骨代謝学「骨と健康」	5,000
【合計】	15,000

Callouts provide the following information:

- 振込手数料は受講生負担です。お支払期限内に、お手続きをお願いします。
- 振込手数料は、受講生負担です。
- 受講科目に間違いがないか、ご確認ください。
- お支払期限

- ・お支払いできるコンビニエンスストア一覧
- ・スマートフォン決済アプリ名

※30万円を超える金額は、コンビニエンスストアではお支払いいただけません。  
 ※バーコードの印刷されていない払込用紙やバーコードの読取ができない払込用紙はコンビニエンスストアではお支払いできません。  
 ※金額の訂正された払込票はコンビニエンスストアではお取扱いできません。

◆セブン-イレブン	◆ローソン	◆ファミリーマート
◆ミニストップ	◆生活彩家	◆スリーエイト
◆ポプラ	◆コミュニティ・ストア	◆MMK(マルチメディアキオスク)
◆デイリーヤマザキ	◆ヤマザキデイリーストア	◆ニューヤマザキデイリーストア
◆ヤマザキスペシャルパートナーショップ	◆ハマナスクラブ	◆くらしハウス
◆セイコーマート(北海道・関東地区)		

◆スマホ決済アプリ  
 ・PayB ・ゆうちょPay ・楽天銀行コンビニ支払サービス

※リコーリース㈱と上記コンビニエンスストアとは代行業務を行うための「料金収納業務契約」を結んでいます。コンビニエンスストアは当契約により代理受領を行います。  
 ※リコーリース㈱は、事業者である表記の受取人（領収書発行元）の委託を受けて収納代行事務を行っております。  
 取扱可能コンビニエンスストアは、リコーリース㈱の委託により代理受領を行っております。

●【払込み手数料】お支払の際は、所定の手数料を添えてコンビニエンスストア店舗へお出しください。

## 【受講料に係る重要な項目について】

### ▶ 受講料

- ・ 2単位の科目：1万円
- ・ 1単位の科目：5千円

### ▶ 受講料の返金について

納入された受講料は、返金できません。

自然災害や感染症のまん延等、不測の事態（石川県政記念しいのき迎賓館・石川四高記念文化交流館の休館等）が生じた場合は、講義を中止することがあります。その場合、納入された受講料は返金できません。

## ◆休講・補講について

講義の休講・補講等については、UCIポータル（P19参照）または、大学コンソーシアム石川のホームページ等でご確認ください。

大学コンソーシアム石川からメールでもご案内しますので、大学コンソーシアム石川からのメールに注意してください。



UCIポータルHP



大学コンソーシアム石川HP

## ◆自然災害等による休講の判断基準について

当コンソーシアムでは、自然災害等で特別警報等が発表された場合など、不測の事態が生じた場合に、講義、定期試験、イベント等を中止または延期とする基準を下記の通り定めます。なお、この休講の判断基準は、石川県政記念しいのき迎賓館、石川四高記念文化交流館等で行う大学コンソーシアム石川が主管する講義等に適用するものとし、提供機関開講科目については、各機関の休講の判断基準を適用します。

### 1. 講義等休講の判断基準

次の(1)、(2)、(3)のいずれかに該当する場合、講義等の休講を検討します。

#### (1) 警報の発表

気象庁から警報（大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、地震等）が金沢市内に発表された場合に休講を検討します。

状況	警報の発表時刻	警報の解除時刻	公共交通機関の状況	講義等の取り扱い
(1)	午前8時以前	午前8時以前	午前8時時点で運行	午前、午後の講義等を実施
(2)	午前8時以前	午前8時以後かつ午前11時以前	—	午前の講義等を休講
(3)	午前8時以前	午前11時以降	—	午前、午後の講義等を休講
(4)	午前8時以降	午前11時以前	午前11時時点で運行	午前の講義等を休講、午後の講義を実施
(5)	午前8時以降	午前11時以前	午前11時時点で運休	午前、午後の講義等を休講
(6)	午前8時以降	午前11時以後	—	午前、午後の講義等を休講

#### (2) 公共交通機関の運休

金沢駅発着のJR西日本、IRいしかわ鉄道、北陸鉄道の電車またはバスのいずれかの公共交通機関が午前8:00時点で運休している場合は午前の授業等、午前11:00時点で運休している場合は午後の授業等の休講を検討します。

#### (3) その他の不測の事態

その他、地震などによる自然災害や大規模な停電、感染症のまん延等の不測の事態が生じ、大学コンソーシアム石川が講義等の実施が困難であると判断した場合に休講を検討します。

### 2. 講義等休講の周知方法

休講が決定次第、大学コンソーシアム石川ホームページ、UCIポータル等に掲載及びメールでお知らせします。

### 3. 休講になった講義等の補講措置

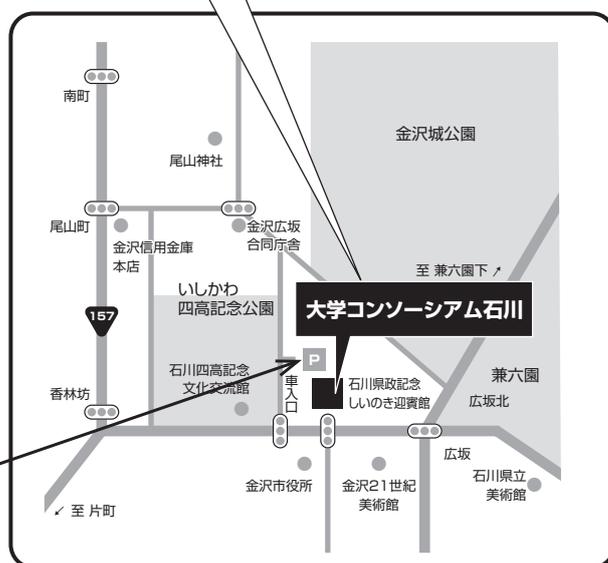
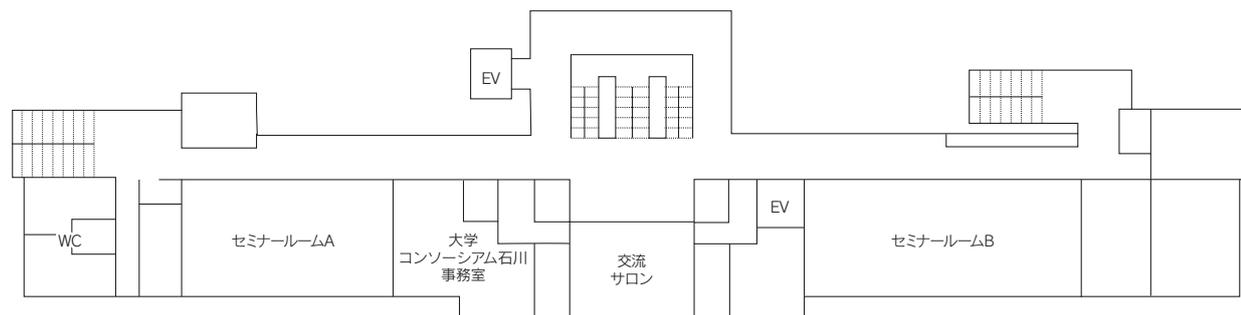
休講になった講義等は原則的に補講を行います。補講日は、担当教員及び科目提供機関と調整の上、補講を行います。補講日が決まり次第、大学コンソーシアム石川ホームページ、UCIポータル等に掲載及びメールでお知らせします。

## ◆講義内容・講義形態に変更があった場合

大学コンソーシアム石川ホームページ、UCIポータル等に掲載及びメールでお知らせします。

## ◆使用教室案内 ※下記以外の場所で行う場合もあります。

### ●セミナールームA・B（石川県政記念しいのき迎賓館3階）



## ◆駐車場について

受講の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。やむを得ず自家用車の場合は、「しいのき迎賓館駐車場」のご利用が可能ですが、シティカレッジ受講生用の駐車スペースは確保しておりません。

満車の場合は、自費にて近隣駐車場を利用ください。

### 「しいのき迎賓館地下駐車場」ご利用の場合

- ・ P6（オ）ユーザー情報入力の最終項目「通学方法」で、・しいのき迎賓館地下駐車場を利用する を選択し、理由をご入力下さい。
- ・ 1科目（90分）に対し、最大1時間30分を上限として、駐車料金補助を行っております。
- ・ 最初の30分は無料です。しいのき迎賓館1階総合受付の割引機か、大学コンソーシアム石川事務局の割引機に駐車券を通してください。
- ・ 駐車サービス券は、受講後、大学コンソーシアム石川事務局受付でお渡しします。

## ◆UCIポータルでできること

- ・条件に合った科目の検索や時間割（シティカレッジ開講科目のみ）、シラバスの閲覧
- ・シティカレッジ開講科目の履修登録（申請・取消/取消は登録完了前までに限る）
- ・休講、補講、教室変更、講義形態変更など、講義に関するお知らせの確認
- ・オンライン講義のURLや講義資料の閲覧
- ・復習講義や、オンデマンド講義の動画視聴
- ・教員からの指示、課題レポートの提出等

※下記画面のデザインや配色などは、変わる場合がありますが、できること・基本操作は同じです。

**ログイン前の画面**

ようこそ、UCIポータルへ。

このサイトでは、いしかわシティカレッジ講義の受講科目の申込み、事務連絡（休講案内、教室変更、授業形態の変更等）や履修している講義の学習（予習、復習）などが行えます。

受講生の皆さんは、自身の学習の充実のためにも、積極的にご利用ください。

利用するには、ポータルIDが必要です。IDをお持ちでない方は、新規登録よりガイドに従って手続きを進めてください。

大学コンソーシアム石川HPはこちら

ポータルID  
パスワード  
ログイン  
新規登録 パスワードを忘れた場合

ログインする前  
に見ることので  
きるお知らせも  
あります。

**ログイン後の通知画面**

お知らせ

【履修登録の方法】

送信者	大学コンソーシアム石川	開始日時	2024-01-31 18:32:52	終了日時	無期限
1. UCIポータルに「ポータルID」「パスワード」を入力してログインします。					
2. UCIポータルにログイン後、画面左側サイドメニューより「履修登録」を選択します。					
3. 最初は空欄の時刻が表示されます。右端上部にある「+科目を選択」ボタンをクリックします。					
※スマートフォンがパソコンか、パソコンでも画面のサイズによって、時間割の見え方が変わります。					
4. シティカレッジで開講される科目が表示されます。					
受講希望科目のシラバスで受講条件 科目名の□にマウスを合わせ、該当 5. 空欄だった時間割に、自分が履修申 続きを見る					

お知らせ

【休講】1/24（水）『科学技術倫理』『中国語入門Ⅱ』『歴史学』

送信者	大学コンソーシアム石川	開始日時	2024-01-31 12:59:58	終了日時	無期限
大雪が予想されておりますので、下記講義は休講と致します。					
1月24日（水）					
『科学技術倫理』...次回は2月7日（水）→最終講義					
『中国語入門Ⅱ』...次回は1月31日（水）→最終講義					
『歴史学』...次回は1月31日（水）第2講時（15：30～）・第3講時の2コマ連続→最終講義					

【履修登録の方法】

送信者	大学コンソーシアム石川	開始日時	2024-01-31 12:57:39	終了日時	無期限
1. UCIポータルに「ポータルID」「パスワード」を入力してログインします。					
2. UCIポータルにログイン後、画面左側サイドメニューより「履修登録」を選択します。					

ログイン後、  
お知らせ  
をクリックすると、  
お知らせを見ら  
ることが出来ます。

入力欄に条件を  
入力して、  
検索することも  
出来ます。

タイトルをクリッ  
クすると、詳しい  
内容を見ることが  
出来ます。

**検索画面**

お知らせ

タイトル  
内容  
通知日時  
リセット 検索

全2件

タイトル	送信者	添付ファイル	開始	終了
【休講】1/...	大学コン ソーシアム石 川	なし	2024-01-31 12:59:58	-
【履修登録...	大学コン ソーシアム石 川	なし	2024-01-31 12:57:39	-

**Uc Portal** コンソ 太郎 学生

ホーム お知らせ 講義 履修科目 履修登録 希望回受講申し込み

> 講義一覧

**講義メニューの画面**

講義名: 科目分類: 講師: 単位数や講義形態など、自分の希望条件を入力後、**検索**を押すと、該当科目のみが表示されます。

年度: 2024年度 前期/後期: 前期 集中講義: 時限: 復習: 更新日時: 開始

高等教育機関: 曜日: 単位: 教室: 提供: リセット 検索

講義形態: 一覧 時刻別表

2024年度前期

時限	教室	月	火	水
2限 15:30	セミナー ムB	骨代謝学「骨と健康」 (石川県立看護大学)		

シラバスマークをクリックすると、シラバスが表示され、講義内容や、受講要件等の確認ができます。

科目名をクリックすると、講義詳細(単位数やシティカレッジ聴講生向けの料金)が表示されます。

履修科目メニュー画面では、オンライン講義のURLが載っています。

**履修科目メニューの画面**  
※自分の履修した科目のみ表示されます※

2023年後期

時限	教室	月	火	水
1限 13:30	セミナー ムA			科学技術倫理 本田 康二郎 (金沢医科大学) 【復習】
				楽しむための数学 井上 具規 (金沢医科大学)

石川県の行政-いしかわの行政が目指すもの-2022

Home / マイコース  
/ 石川県の行政-いしかわの行政が目指すもの-2022  
/ 一般 / 授業URL

講義URL  
リソースを開くには  
<https://zoom.us/j/93715715660?pwd=VnNJT3hjYjZ0L1RLSEZwN1I2c>  
リンクをクリックしてください。

**医療倫理学**  
Home / コース / 2022年度後期 / 一般

アナウンスメント

第1回 ガイダンス

- 第1回 講義資料  
印刷して持参して下さい。
- 第1回 質問カード  
Googleフォームに入って入力して下さい。
- 第1回講義動画(9/28)

ムードルマーク※1 をクリックすると、その科目の、以下の操作が可能です。

- ・資料閲覧やレポート提出
- ・【復習】講義動画の視聴
- ・オンデマンド動画の視聴など

(講義によって可能な操作は異なります。)  
※1 ムードルとは、学習管理システムの種類です。

**【お困りの時は】**

問合せ先：電話 076-223-1633 / メール city@ucon-i.jp

対応時間：月～金曜日 9：00～17：00

## 2026年度 シティカレッジ単位互換事業 提供科目一覧

	提供機関名	シティカレッジ	期別	科目分類	講義科目名	単位	担当教員	開講曜日・時限	頁
1	金沢大学	シティカレッジ	後期	情報	クラウド時代の「ものグラミング」概論	2	森 祥寛・大野浩之・松浦智之	木曜日 第3講時	43
2	金沢大学	シティカレッジ	前期	情報	クラウド時代のハとソのレ	2	森 祥寛・大野浩之・松浦智之	水曜日 第3講時	32
3	金沢大学	シティカレッジ	前期	情報	シェルスクリプト言語論 1	2	森 祥寛・大野浩之・松浦智之	水曜日 第4講時	33
4	金沢大学	シティカレッジ	後期	情報	シェルスクリプト言語論 2	2	森 祥寛・大野浩之・松浦智之	木曜日 第4講時	43
5	金沢大学	シティカレッジ	前期	地域学いしかわ	石川県の市町	2	佐藤 文彦	土曜日 第1講時	36
6	金沢大学	シティカレッジ	後期	地域学いしかわ	石川県の行政 ーいしかわの行政が目指すものー	2	未定	土曜日 第2講時	46
7	金沢大学	シティカレッジ	後期	地域学いしかわ	金沢の歴史と文化	2	松永 篤知・古畑 徹	土曜日 第2講時	46
8	金沢大学	シティカレッジ	前期・ 集中講義	経済と社会	石川未来プロジェクトⅠ	1	篠田 隆行	各検討チームで決定する	37
9	金沢大学	シティカレッジ	後期・ 集中講義	経済と社会	石川未来プロジェクトⅡ	1	篠田 隆行	各検討チームで決定する	48
10	金沢大学	機関開講科目	前期	キャリア形成 健康・福祉 経済と社会 科学の世界	コーヒーと社会 1	1	原 章規	4月7日～6月2日 火曜日 第3講時 13:00～14:30 金沢大学	55
11	金沢大学	機関開講科目	後期	キャリア形成 健康・福祉 経済と社会 科学の世界	コーヒーと社会 2	1	原 章規	10月 6日～12月1日 火曜日 第3講時 13:00～14:30 金沢大学	81
12	金沢大学	機関開講科目	前期	キャリア形成 健康・福祉 総合・学際 経済と社会 科学の世界	コーヒーと科学 1	1	原 章規	6月16日～8月4日 火曜日 第3講時 13:00～14:30 金沢大学	55
13	金沢大学	機関開講科目	後期	キャリア形成 健康・福祉 総合・学際 経済と社会 科学の世界	コーヒーと科学 2	1	原 章規	12月15日～2月9日 火曜日 第3講時 13:00～14:30 金沢大学	81
14	金沢大学	機関開講科目	前期	歴史	ゼミノ漢文史料読解A1	1	安部 聡一郎	4月10日～5月29日 金曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学 総合教育棟	56
15	金沢大学	機関開講科目	前期	歴史	ゼミノ漢文史料読解A2	1	安部 聡一郎	6月12日～7月31日 金曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学 総合教育棟	56
16	金沢大学	機関開講科目	後期	歴史	ゼミノ漢文史料読解B1	1	安部 聡一郎	10月2日～11月27日 ※11/6(金)は休講 金曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学 総合教育棟	82
17	金沢大学	機関開講科目	後期	歴史	ゼミノ漢文史料読解B2	1	安部 聡一郎	12月11日～2月5日 ※1/13(水)は授業あり(金曜扱 いの授業日)、1/15(金)は休講 金曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学 総合教育棟	82
18	金沢大学	機関開講科目	後期	総合・学際	フューチャー・デザイン ー未来から現代への提案ー	1	木村 岳裕	12月15日～2月9日 火曜日 3限 13:00～14:30 金沢大学総合教育棟	83
19	金沢大学	機関開講科目	後期	キャリア形成	地域協創のアンテナ	1	佐川 哲也	10月2日～11月27日 ※11/6(金)は休講日 金曜日 第2講時 10:30～12:00 金沢大学総合教育棟 講義室	83
20	金沢大学	機関開講科目	前期	キャリア形成 経済と社会	実践アントレプレナーシップ学	1	佐々木 淑貴	6月16日～8月4日 火曜日 第2講時 10:30～12:00 金沢大学	57
21	金沢大学	機関開講科目	前期	法と社会	様相論理入門	2	足立 英彦	4月6日～6月4日 ※4/30(木)は授業なし(水曜扱 いの授業日) 月・木曜日 第1講時 8:45～10:15 金沢大学角間北地区	57
22	金沢大学	機関開講科目	前期・ 集中講義	科学の世界	海の動物の探索演習 (副題:臨海宿泊演習)	2	木谷 洋一郎	9月7日～9月9日 集中講義 金沢大学環日本海域環境研究 センターー臨海実験施設(予定) (石川県鳳珠郡能登町小木4-1)	58
23	金沢大学	機関開講科目	前期・ 集中講義	科学の世界	海洋生化学演習 (副題:臨海宿泊演習)	2	鈴木 信雄	5月9日(土)～5月10日(日) 集中講義 金沢大学 角間キャンパス	58
24	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)	1	山村 公恵	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜扱 いの授業日) 水曜日 2限 10:30～12:00(予定) 金沢大学	59

	提供機関名	シテカレッジ	期別	科目分類	講義科目名	単位	担当教員	開講曜日・時限	頁
25	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)	1	山村 公恵	6月16日～8月4日 火曜日 5限 16:30～18:00(予定) 金沢大学	59
26	金沢大学	機関開講科目	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)	1	山村 公恵	10月5日～11月30日 ※11/9(月)は休講、10/15(木)・ 11/11(水)は授業あり(月曜扱い の授業日) 月曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	84
27	金沢大学	機関開講科目	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)	1	山村 公恵	12月9日～2月10日 ※1/13(水)は授業なし(金曜扱 いの授業日) 水曜日 2限 10:30～12:00 金沢大学	84
28	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Interaction)	1	大藪 加奈	4月7日～6月2日 火曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	60
29	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Interaction)	1	大藪 加奈	6月11日～8月6日 ※7/16(木)は授業なし(月曜扱 いの授業日) 木曜日 4限 14:45～16:15 金沢大学	60
30	金沢大学	機関開講科目	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Interaction)	1	大藪 加奈	10月6日～12月1日 火曜日 3限 13:00～14:30 金沢大学	85
31	金沢大学	機関開講科目	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Interaction)	1	大藪 加奈	12月14日～2月8日 月曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	85
32	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Presentation)	1	J. ラナー	4月7日～6月2日 火曜日 2限 10:30～12:00 金沢大学	61
33	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Presentation)	1	J. ラナー	6月17日～8月5日 水曜日 3限 13:00～14:30 金沢大学	61
34	金沢大学	機関開講科目	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Presentation)	1	J. ラナー	10月1日～11月26日 ※10/15(木)は授業なし(月曜扱 いの授業日) 木曜日 4限 14:45～16:15 金沢大学	86
35	金沢大学	機関開講科目	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Presentation)	1	J. ラナー	12月15日～2月9日 火曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	86
36	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)	1	D. ブラウン	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜扱 いの授業日) 水曜日 3限 13:00～14:30 金沢大学	62
37	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)	1	D. ブラウン	6月15日～8月3日 ※7/16(木)は授業あり(月曜扱 いの授業日) 月曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	62
38	金沢大学	機関開講科目	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)	1	D. ブラウン	10月6日～12月1日 火曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	87
39	金沢大学	機関開講科目	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)	1	D. ブラウン	12月10日～2月4日 木曜日 4限 14:45～16:15 金沢大学	87
40	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)	1	P. パーマー	4月6日～6月1日 月曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	63
41	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)	1	P. パーマー	6月16日～8月4日 火曜日 2限 10:30～12:00 金沢大学	63
42	金沢大学	機関開講科目	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)	1	P. パーマー	10月7日～12月2日 ※11/11(水)は授業なし(月曜扱 いの授業日) 水曜日 2限 10:30～12:00 金沢大学	88
43	金沢大学	機関開講科目	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)	1	P. パーマー	12月15日～2月9日 火曜日 3限 13:00～14:30 金沢大学	88

	提供機関名	シテカレッジ	期別	科目分類	講義科目名	単位	担当教員	開講曜日・時限	頁
44	金沢大学	機関開講科目	前期	キャリア形成	ビジネス・技術マネジメント戦略論	1	青木 真由美	4月8日～6月4日 授業日程欄参照	64
45	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	ドイツ語展開Ⅰ (コミュニケーション中心)	1	コンスタンティン・ブレット	4月6日～6月1日 月曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学角間キャンパス総合教育棟	64
46	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	ドイツ語展開Ⅰ (文法・読解中心)	1	早川 文人	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜抜きの授業日) 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学角間キャンパス総合教育棟	65
47	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	ドイツ語展開Ⅱ (コミュニケーション中心)	1	コンスタンティン・ブレット	6月15日～8月3日 ※7/16(木)は授業あり(月曜抜きの授業日) 月曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学角間キャンパス総合教育棟	65
48	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	ドイツ語展開Ⅱ (文法・読解中心)	1	早川 文人	6月17日～8月5日 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学角間キャンパス総合教育棟	66
49	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	中国語展開Ⅰ	1	比護 遥	4月6日～6月1日 月曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	66
50	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	中国語展開Ⅰ	1	趙 菁	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜抜きの授業日) 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	67
51	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	中国語展開Ⅱ	1	比護 遥	6月15日～8月3日 ※7/16(木)は授業あり(月曜抜きの授業日) 月曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	67
52	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	中国語展開Ⅱ	1	趙 菁	6月17日～8月5日 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	68
53	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	中級フランス語Ⅰ	1	佐藤 朋子	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜抜きの授業日) 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	68
54	金沢大学	機関開講科目	前期	言語と文化	中級フランス語Ⅱ	1	佐藤 朋子	6月17日～8月5日 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	69
55	金沢大学	機関開講科目	前期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	4月7日～6月2日(予定) 火曜日 1限目 8:45～10:15(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	69
56	金沢大学	機関開講科目	前期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	4月6日～6月1日(予定) 月曜日 5限目 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	70
57	金沢大学	機関開講科目	前期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	4月8日～6月3日(予定) 水曜日 5限目 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	70
58	金沢大学	機関開講科目	前期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	6月17日～8月5日 水曜日 1限目 8:45～10:15 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	71
59	金沢大学	機関開講科目	前期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	6月17日～8月5日(予定) 水曜日 5限目 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	71
60	金沢大学	機関開講科目	前期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	佐藤 文彦	4月9日～6月4日(予定) 木曜日 第3講時 13:00～14:30(予定) 金沢大学総合教育講義棟	72
61	金沢大学	機関開講科目	前期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	杉山 欣也	4月6日～6月1日(予定) 月曜日 第2講時 10:30～12:00(予定) 金沢大学総合教育講義棟	72
62	金沢大学	機関開講科目	前期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	杉山 欣也	6月15日～8月3日(予定) 月曜日 第2講時 10:30～12:00(予定) 金沢大学総合教育講義棟	73

	提供機関名	シテカレッジ	期別	科目分類	講義科目名	単位	担当教員	開講曜日・時限	頁
63	金沢大学	機関開講科目	前期	環境科学の世界	地球生物圏と人間	1	佐藤 圭	6月15日～8月3日(予定) 月曜日 第5講時 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	73
64	金沢大学	機関開講科目	前期	総合・学際	防災学入門	2	青木 賢人	9月14日(月)～9月17日(木) 集中講義 金沢大学	74
65	金沢大学	機関開講科目	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	10月6日～12月1日(予定) 火曜日 5限目 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	89
66	金沢大学	機関開講科目	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	10月7日～12月2日(予定) 水曜日 5限目 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	89
67	金沢大学	機関開講科目	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	10月1日～11月26日(予定) 木曜日 1限目 8:45～10:15(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	90
68	金沢大学	機関開講科目	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	12月11日～2月5日(予定) 金曜日 1限目 8:45～10:15(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	90
69	金沢大学	機関開講科目	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	12月11日～2月5日 (1月13日(水)金曜振替のため授業あり) 金曜日 3限目 13:00～14:30 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	91
70	金沢大学	機関開講科目	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	12月10日～2月4日(予定) 木曜日 1限目 8:45～10:15(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	91
71	金沢大学	機関開講科目	後期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	佐藤 文彦	10月2日～11月27日(予定) 金曜日 第3講時 13:00～14:30(予定) 金沢大学総合教育講義棟	92
72	金沢大学	機関開講科目	後期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	杉山 欣也	10月5日～11月30日(予定) 月曜日 第2講時 10:30～12:00(予定) 金沢大学総合教育講義棟	92
73	金沢大学	機関開講科目	後期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	杉山 欣也	12月14日～2月8日(予定) 月曜日 第2講時 10:30～12:00(予定) 金沢大学総合教育講義棟	93
74	北陸先端科学技術大学院大学	機関開講科目	後期	科学の世界	ナノバイオテクノロジー論(実習付)	2	芳坂 貴弘	10月13日～12月1日 火曜日 第4～5講時 15:20～18:50 北陸先端科学技術大学院大学	93
75	石川県立看護大学	シテカレッジ	前期・集中講義	健康・福祉	看護公衆衛生学	1	今井 秀樹	月曜日 第1講時	28
76	石川県立看護大学	シテカレッジ	前期	健康・福祉	精神看護学概論	1	美濃 由紀子・大江 真吾	水曜日 第1講時	31
77	石川県立大学	シテカレッジ	後期	科学の世界	食の科学	2	松本 健司	土曜日 第1講時	45
78	石川県立大学	機関開講科目	前期・集中講義	キャリア形成 地域学いしかわ 石川における最先端	能登復興学実践論 一人と繋がり、未来を共創するー	2	山下 良平	4月13日(月)～7月31日(金) 17:30～19:00 石川県立大学に確認	74
79	石川県立大学	機関開講科目	前期・集中講義	科学の世界	バイオ研究の最前線	2	弘中 満太郎	8月24日～8月27日 第1～4講時 9:00～16:10 石川県立大学内講義室及び実験室 (当日案内)	75
80	金沢美術工芸大学	機関開講科目	後期	心理	デザイン心理学	2	荷方 邦夫	2026年10月1日～2027年2月1日(予定) 月曜日 7・8限 14:25～15:50(予定) 金沢美術工芸大学 201講義室(予定)	94
81	金沢美術工芸大学	機関開講科目	後期	言語と文化	人間と文化	2	高橋 明彦	2026年10月1日～2027年2月1日(予定) 金曜日 9・10限 16:00～17:25(予定) 金沢美術工芸大学 301講義室(予定)	94
82	金沢美術工芸大学	機関開講科目	前期	人文・芸術	博物館資料保存論	2	渋谷 拓	4月9日～7月30日(予定) 金曜日 9・10限 16:00～17:25(予定) 金沢美術工芸大学 202講義室(予定)	75
83	金沢工業大学	シテカレッジ	前期・集中講義	経済と社会	石川未来プロジェクトⅠ	1	山岸 邦彰	各検討チームで決定する	37
84	金沢工業大学	シテカレッジ	後期・集中講義	経済と社会	石川未来プロジェクトⅡ	1	山岸 邦彰	各検討チームで決定する	48
85	金沢工業大学	機関開講科目	後期・集中講義	健康・福祉 総合・学際 科学の世界	バイオと機械と医療の融合: 初学者のための再生医療工学	1	中村 真人	金沢工業大学で確認 金曜日 第5時限 17:05～18:45 金沢工業大学 扇が丘キャンパス	95

	提供機関名	シティカレッジ	期別	科目分類	講義科目名	単位	担当教員	開講曜日・時限	頁
86	金沢工業大学	機関開講科目	前期	科学の世界	麹・発酵食品の歴史と科学	2	相良 純一	4月14日(火)～7月28日(火) 火曜日 第5時限 17:05～18:45 金沢工業大学扇が丘キャンパス (教室は大学へ要確認)	76
87	金沢星稜大学	シティカレッジ	後期・ 集中講義	総合・学際 地域学いしかわ 石川における最先端	創造的復興論	2	永井 暁行	オンデマンド型講義のため、 開講曜日時限を指定せず ランダムに視聴	49
88	金沢医科大学	シティカレッジ	後期	科学の世界	楽しむための数学	2	井上 具規	木曜日 第2講時	42
89	北陸大学	シティカレッジ	前期	健康・福祉 科学の世界 環境 石川における最先端	不確実な未来に対する防衛学 -オンライン-	2	佐藤 安訓	木曜日 第3講時	34
90	北陸大学	シティカレッジ	前期	言語と文化	初級中国語	2	厲 堅	水曜日 第3講時	32
91	北陸大学	シティカレッジ	後期	言語と文化	中級中国語	2	厲 堅	水曜日 第3講時	40
92	北陸大学	シティカレッジ	前期	健康・福祉	石川食文化の魅力と健康: 食の宝庫いしかわ「魚を食べて元氣澆利」	2	宇佐見 則行	月曜日 第3講時	28
93	北陸大学	シティカレッジ	後期	健康・福祉	食卓から守る家族の健康: 食育・薬育・健康栄養学	2	宇佐見 則行	月曜日 第4講時	38
94	北陸大学	シティカレッジ	前期	経済と社会 メディア論	元記者と学ぶ経済のしくみ	2	志田 義寧	木曜日 第3講時	34
95	北陸大学	シティカレッジ	後期	経済と社会 メディア論	元記者と学ぶやさしいジャーナリズム	2	志田 義寧	木曜日 第3講時	42
96	北陸大学	シティカレッジ	前期	経済と社会	地方財政論	2	斎藤 英明	火曜日 第4講時	30
97	北陸大学	シティカレッジ	後期	経済と社会	経済学とSDGs	2	斎藤 英明	火曜日 第4講時	39
98	北陸大学	シティカレッジ	前期	法と社会	知っておきたい知的財産権の基礎 (産業財産権編)	2	木藤 聡一	土曜日 第3講時	36
99	北陸大学	シティカレッジ	後期	法と社会	知っておきたい知的財産権の基礎 (著作権編)	2	木藤 聡一	土曜日 第3講時	47
100	北陸大学	シティカレッジ	前期	健康・福祉 科学の世界 環境	みぢかな生活・健康・環境を わかりやすくするサイエンス	2	池田 啓一	月曜日 第4講時	29
101	北陸大学	シティカレッジ	後期	健康・福祉 科学の世界 環境	はたらく人のための環境と健康	2	池田 啓一	月曜日 第3講時	38
102	金沢学院大学	シティカレッジ	後期	健康・福祉	健康な食生活	2	川村 美笑子	土曜日 第1講時	45
103	金沢学院大学	シティカレッジ	前期	言語と文化 人文・芸術	地域と文学	2	水洞 幸夫	金曜日 第3講時	35
104	金沢学院大学	機関開講科目	前期	情報	コンピュータの構成	2	高木 直史	金沢学院大学で確認	76
105	金沢学院大学	機関開講科目	前期	健康・福祉	健康科学	2	藤原 勝夫	金沢学院大学で確認	77
106	金沢学院大学	機関開講科目	前期	国際社会	国際理解教育概論	2	多田 孝志	金沢学院大学で確認	77
107	金沢学院大学	機関開講科目	前期	経済と社会	地域経済論 I	2	三輪 篤生	金沢学院大学で確認	78
108	金沢学院大学	機関開講科目	後期・ 集中講義	人文・芸術	地域芸術	2	飯田 栄治	金沢学院大学で確認	95
109	金沢学院大学	機関開講科目	後期	心理	学習・言語心理学	2	中崎 崇志	金沢学院大学で確認	96
110	金沢学院大学	機関開講科目	前期	心理	心理学概論A	2	中崎 崇志	金沢学院大学で確認	78
111	金沢学院大学	機関開講科目	前期	心理	心理学概論B	2	前川 浩子	金沢学院大学で確認	79
112	金沢学院大学	機関開講科目	前期	言語と文化	日本語文法 I	2	寺田 智美	金沢学院大学で確認	79
113	金沢学院大学	機関開講科目	後期	言語と文化	漢文学講読 II	2	齋藤 慎一郎	金沢学院大学で確認	96
114	金沢学院大学	機関開講科目	後期	心理	発達心理学	2	前川 浩子	金沢学院大学で確認	97
115	金沢学院大学	機関開講科目	後期	人文・芸術	絵画演習(模写から学ぶ鉛筆デッサン)	2	末松 智	金沢学院大学で確認	97
116	金沢学院大学	機関開講科目	前期	人文・芸術	色彩学	2	広根 礼子	金沢学院大学で確認	80
117	金城大学	シティカレッジ	後期	法と社会	ジェンダー	2	高島 智世	水曜日 第3講時	40
118	金城大学	シティカレッジ	前期	法と社会	社会学	2	高島 智世	水曜日 第4講時	33
119	北陸学院大学	シティカレッジ	後期	健康・福祉	食生活と健康	2	榎本 俊樹	金曜日 第3講時	44
120	金沢学院短期大学	機関開講科目	前期	総合・学際	観光概論	2	村上 智	金沢学院短期大学で確認	80
121	金城大学短期大学部	シティカレッジ	前期	歴史	文学(史記を読む)	2	三浦 哲志	水曜日 第3講時	31
122	金城大学短期大学部	シティカレッジ	後期	歴史	歴史学(中国史概説)	2	三浦 哲志	水曜日 第4講時	41
123	金城大学短期大学部	機関開講科目	後期	地域学いしかわ	地域文化	1	若月 博延	9月28日～1月28日 金城大学短期大学部で確認	98

前期

2026年度 シティカレッジ開講科目 時間割

講時	教室	月	火	水	木	金	講時	教室	土
第1講時 13:30 ▽ 15:00	セミナー ルームA	4/6(1~3講時)、 4/13(1~3講時)、 4/27(1~2講時) <b>看護公衆衛生学</b> 今井 秀樹 (石川県立看護大学) ※1単位		①6/10、②6/17、 ③6/24、④7/1、 ⑤7/8、⑥7/15、 ⑦7/22 <b>精神看護学概論</b> 美濃 由紀子、大江 真吾 (石川県立看護大学) ※1単位			第1講時 10:30 ▽ 12:00	セミナー ルームA	
	セミナー ルームB							セミナー ルームB	★ <b>石川県の市町</b> 佐藤 文彦 (金沢大学) 【復習】【全国展開】 【広域】
第2講時 15:30 ▽ 17:00	セミナー ルームA	4/6(1~3講時)、 4/13(1~3講時)、 4/27(1~2講時) <b>看護公衆衛生学</b>					第2講時 13:30 ▽ 15:00	セミナー ルームA	
	セミナー ルームB							セミナー ルームB	
	オンライン							オンライン	
第3講時 17:30 ▽ 19:00	セミナー ルームA	4/6(1~3講時)、 4/13(1~3講時) <b>看護公衆衛生学</b>		<b>文学(史記を読む)</b> 三浦 哲志 (金城大学短期大学部)			第3講時 15:20 ▽ 16:50	セミナー ルームA	
	セミナー ルームB	★ <b>石川食文化の魅力と 健康・食の宝庫いしかわ 「魚を食べて元気洗剤」</b> 宇佐見 則行 (北陸大学) 【全国展開】【広域】		<b>初級中国語</b> 厲 堅 (北陸大学)	★ <b>元記者と学ぶ 経済のしくみ</b> 志田 義寧 (北陸大学) 【全国展開】	★ <b>地域と文学</b> 水洞 幸夫 (金沢学院大学) 【全国展開】【広域】		セミナー ルームB	
	オンライン			<b>クラウド時代の ハトソのレ</b> 大野 浩之、 松浦 智之、森 祥寛 (金沢大学) 【復習】【全国展開】	<b>不確実な未来に 対する防衛学 ーオンラインー</b> 佐藤 安訓 (北陸大学) 【復習】【全国展開】			オンライン	<b>知っておきたい 知的財産権の基礎 (産業財産権編)</b> 木藤 聡一 (北陸大学) 【全国展開】
第4講時 19:10 ▽ 20:40	セミナー ルームA							セミナー ルームA	
	セミナー ルームB	★ <b>みぢかな生活・健康・ 環境をわかりやすく するサイエンス</b> 池田 啓一 (北陸大学) 【復習】【全国展開】	<b>地方財政論</b> 斎藤 英明 (北陸大学)					セミナー ルームB	
	オンライン			<b>シェルスクリプト言語論1</b> 大野 浩之、 松浦 智之、森 祥寛 (金沢大学) 【復習】【全国展開】				オンライン	
				<b>社会学</b> 高島 智世 (金城大学) 【復習】【全国展開】					

集中講義 〈前期〉

石川未来プロジェクト I(1単位)	篠田 隆行 (金沢大学)	開講期間:詳細が決まり次第HP等に掲載
	山岸 邦彰 (金沢工業大学)	

教室

◆セミナールームA・B:石川県政記念しいのき迎賓館3階

★:対面・オンライン併用  
【復習】:復習用講義録画科目  
【全国展開】:全国展開科目  
【広域】:広域単位互換科目

後期

2026年度 シティカレッジ開講科目 時間割

講時	教室	月	火	水	木	金
第1講時 13:30 ▽ 15:00	セミナー ルームA					
	セミナー ルームB					
	オンライン					
第2講時 15:30 ▽ 17:00	セミナー ルームA				楽しむための数学 井上 具規 (金沢医科大学)	
	セミナー ルームB					
第3講時 17:30 ▽ 19:00	セミナー ルームA				★ 元記者と学ぶやさしい ジャーナリズム 志田 義寧 (北陸大学) 【全国展開】	
	セミナー ルームB	★ はたらく人のための 健康と環境 池田 啓一 (北陸大学) 【復習】【全国展開】		中級中国語 鷹 堅 (北陸大学)	★ クラウド時代の 「ものグラミング」概論 大野 浩之、 松浦 智之、森 祥寛 (金沢大学) 【復習】【全国展開】	
	オンライン			ジェンダー 高島 智世 (金城大学) 【復習】【全国展開】		食生活と健康 榎本 俊樹(外8名) (北陸学院大学) 【全国展開】
第4講時 19:10 ▽ 20:40	セミナー ルームA			歴史学(中国史概説) 三浦 哲志 (金城大学短期大学部)		
	セミナー ルームB	★ 食卓から守る家族の健康: 食育・薬育・健康栄養学 宇佐見 則行 (北陸大学) 【全国展開】	経済学とSDGs 斎藤 英明 (北陸大学)		★ シェルスクリプト言語論2 大野 浩之、 松浦 智之、森 祥寛 (金沢大学) 【復習】【全国展開】	
	オンライン					

講時	教室	土
第1講時 10:30 ▽ 12:00	セミナー ルームA	
	セミナー ルームB	★ 健康な食生活 川村 美笑子(外11名) (金沢学院大学)
	オンライン	食の科学 松本 健司(外14名) (石川県立大学) 【全国展開】
第2講時 13:30 ▽ 15:00	セミナー ルームA	金沢の歴史と文化 —金沢市内の文化 施設とその役割— 松永 篤知、古畑 徹 (金沢大学)
	セミナー ルームB	★ 石川県の行政—いしかわ の行政が目指すもの— 調整中 (金沢大学) 【復習】【全国展開】
第3講時 15:20 ▽ 16:50	セミナー ルームA	金沢の歴史と文化 —金沢市内の文化 施設とその役割— 松永 篤知、古畑 徹 (金沢大学)
	セミナー ルームB	
	オンライン	知っておきたい 知的財産権の基礎 (著作権編) 木藤 聡一 (北陸大学) 【全国展開】

集中講義〈後期〉		
石川未来プロジェクトⅡ(1単位)	篠田 隆行 (金沢大学)	開講期間:詳細が決まり次第HP等に掲載
	山岸 邦彰 (金沢工業大学)	
創造的復興論【全国展開】	永井 暁行 (金沢星稜大学)	オンデマンド型講義のため、開講曜日時限を指定せず ランダムに視聴、開講期は10月-12月を予定

教室

◆セミナールームA・B:石川県政記念しいのき迎賓館3階

★:対面・オンライン併用  
【復習】:復習用講義録画科目  
【全国展開】:全国展開科目  
【広域】:広域単位互換科目

科目名	看護公衆衛生学			授業形態	開講期間	開講時間	開講場所	
	英文科目名	Nursing Public Health						
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	4/6 (1～3講時)、4/13 (1～3講時)、 4/27 (1～2講時)	月曜日 4/6、4/13、4/27いずれも13時30分から	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームA	
受講定員等	担当教員	今井 秀樹	単位数	1単位	成績評価 方法・割合			出席およびレポート
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：3月1日～3月15日			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
					9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	ヒト集団の健康像は様々な環境因子から影響を受けながら具現化される。また、ヒトの生活はヒトを含んだ生態系を改変させて行く。看護公衆衛生学はこのようなヒト集団と環境との関わり合いを看護学の視点で研究する学問である。「環境」とはヒトあつての「環境」であり、ヒトの健康に影響を与えてこそ「環境問題」が「環境問題」たり得る。そこで、本講義では地域規模から地球規模の環境問題であるとされている様々な現象とヒト集団の健康像との関わりについて、機械学習による知見など最新のデータを踏まえながら概説する。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	授業日程・ スケジュール	第1回～3回 4/6 (1～3講時) 13:30～ 第4回～6回 4/13 (1～3講時) 13:30～ 第7回～8回 4/27 (1～2講時) 13:30～						
授業担当教員紹介				URL	https://www.ishikawa-nu.ac.jp/archives/teacher/imai-hideki#post-page-teacher-tab0			
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	imahide@ishikawa-nu.ac.jp			

科目名	石川食文化の魅力と健康： 食の宝庫いしかわ「魚を食べて元気澆刺」			授業形態	開講期間	開講時間	開講場所	
	英文科目名	The charm and health of Ishikawa's food culture: "Eat fish and be healthy" in Ishikawa, a treasure trove of food						
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	4月6日～7月27日	月曜日 第3講時 17:30～19:00	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB	
受講定員等	担当教員	宇佐見 則行	単位数	2単位	成績評価 方法・割合			講義ごとのレポート
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
								10,000円
科目の内容	石川県は、北陸地方の中部に位置し、東は富山県及び岐阜県に、南は福井県に接し、北は能登半島が日本海に突出した特徴的な地形を有しています。また、石川県の南は白山国立公園を源に発する手取川による肥沃な加賀平野、北は日本海に突き出た能登半島、県都金沢は日本でも有数の城下町で、歴史の面影を残す一方、近代的な街づくりも進んでいます。南北にのびる石川県は、大きく二つの地域、能登地区と加賀地区(金沢-白山麓)に区分され、この二地域の風土の違いは社会・歴史的条件も含めそれぞれの特徴ある食文化を形成しています。中でも金沢市内は、石川県の中心地に位置し、江戸時代から代表的な城下町として「加賀百万石」の四季おりおりの行事とともに豊かな食文化が残されています。このような特徴ある地形が織りなす食文化が、「健康寿命」とどのような関係があるのか？皆さんと一緒に考えてみましょう。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	授業日程・ スケジュール	講義内容： 1. 石川の食文化から考える栄養と健康 / 2. 糖質代謝から学ぶ食と健康 / 3. 脂質代謝から学ぶ食と健康 / 4. アミノ酸から学ぶ食と健康 / 5. ビタミン・ミネラルから学ぶ食と健康 / 6. 能登地方の食材と食文化の魅力 / 7. 加賀地方の食材と食文化の魅力 / 8. 加賀料理の魅力 / 9. 加賀料理を食べて健康寿命を延ばす / 10. 睡眠とは？ (その役割) / 11. 石川食文化と睡眠との関係など						
授業担当教員紹介				URL	https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/n-usami.html			
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	n-usami@hokuriku-u.ac.jp			

科目名	みちかな生活・健康・環境を わかりやすくするサイエンス			授業形態		開講期間		4月6日～7月27日		
	英文科目名	Sciences for Understanding "Life, Health, and The Environment"		①対面授業 ②オンライン授業		開講時間		月曜日 第4講時 19:10～20:40		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	文系学生や文系出身者でも可			③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ○		開講場所		石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB		
受講定員等	担当教員		池田 啓一		単位数	2単位		成績評価 方法・割合		
	定員数		30名		定員超過時の選考方法等		未定			
科目等履修生定員		0名		シティカレッジ聴講生定員		若干名		授業当日の振り返り 5% 毎回のまとめレポート 95%		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料	
								10,000円		
科目の内容	我々は、日常における生活・健康・環境に関して、当たり前のように、何事もなかったかのように触れて いますが、よくよく考えてみると、「何でだろう?」と思うことがたくさんあります。最近では、SDGsに関 連して、我々をとりまく経済・社会・環境が複雑に絡み合う諸問題について、一人ひとりにどのように考え、 判断し、行動を起こすか、ということが求められています。本科目では、人にとって不可欠な水・空気・栄 養素・くすりと毒・生活必需品などを含めて、みちかな生活・健康・環境をわかりやすくするサイエンスを 展開していく中で、諸問題を解決するための知識を得ることを目的とします。 ここでは、少し知っているとう理解しやすい程度のサイエンスの知識を交えながら展開しますので、肩肘張 らずに受講してください。								その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・ スケジュール	1～3. 水にかかわる生活・健康・環境をわかりやすくするサイエンス 4～6. 空気にかかわる生活・健康・環境をわかりやすくするサイエンス 7～9. 食にかかわる生活・健康・環境をわかりやすくするサイエンス 10～12. くすりと毒にかかわる生活・健康・環境をわかりやすくするサイエンス 13～15. 生活必需品にかかわる生活・健康・環境をわかりやすくするサイエンス								
授業担当教員紹介			URL	<a href="https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/k-ikeda.html">https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/k-ikeda.html</a>						
ホームページ・メールアドレス等			E-mail	ke-ikeda@hokuriku-u.ac.jp						

科目名	地方財政論			授業形態	開講期間	4月7日～7月21日			
	英文科目名	Local Public Finance		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	火曜日 第4講時 19:10～20:40			
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	特になし				開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB			
受講定員等	担当教員	斎藤 英明		単位数	2単位				
	定員数	40名		定員超過時の選考方法等	未定				
	科目等履修生定員	0名			成績評価 方法・割合	レポート評価 (100%)			
	シティカレッジ聴講生定員	若干名							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	10,000円
科目の内容	<p>地方自治体の経済活動を観察するうえで必要となる経済理論、現実の制度を中心に学修する。また、それらを学んだうえで、現在行われているさまざまな政策が当該地域住民にとって、あるいは自分にとって有効な政策となっているか否か、有効でないとするならば改善点はどこにあるのか考えられる力を身につける。</p> <p>日本の場合、中央政府と地方自治体は地方交付税や国庫支出金などによって強く財政的に関係している。また、配分される行政事務は中央政府に比べ地方自治体は多く、私たちの日常に密接したものも多い。この科目では中央政府と地方自治体の財政関係に着目し、地方財政計画のもつ重要性を理解する。そのうえで、中央政府にとっては歳出、地方自治体にとっては歳入である地方交付税（交付金）がもつ影響を観察し、制度および運用方法を理解することで、財政関係を整理、理解する。</p> <p>これらを理解したうえで、近年さまざまな名称で謳われている自治体（地域）を活性化させる方法について考え、現在の制度の中でどのようなことが現実的に行えるのか、あるいはどのような制度を変化させなければならないのかを考え、提示できるようにする。</p>								
	授業日程・スケジュール	15回							
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/hi-saito.html">https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/hi-saito.html</a>							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	hi-saito@hokuriku-u.ac.jp							

科目名	精神看護学概論			授業形態		開講期間		6月10日～7月22日			
	英文科目名	Introduction to Psychiatric and Mental Health Nursing			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間		水曜日 第1講時 13:30～15:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所		石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームA			
受講定員等	担当教員 美濃 由紀子・大江 真吾			単位数		1単位		成績評価 方法・割合		レポート等	
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 受付順 科目等履修生定員 0名 シティカレッジ聴講生定員 若干名										
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)		
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料		
										5,000円	
科目の内容	【目的】 心(精神)の健康について脳科学や精神力動理論、成長発達、社会・環境との関連など広い視野で学ぶとともに精神保健医療福祉に関する法律・制度の歴史的な変遷をふまえて人権尊重・権利擁護、リカバリーについて理解し、精神看護実践の基礎となる考え方や態度を養う。 【目標】 1. 心(精神)の健康について、脳の構造・機能や精神力動理論の見地から説明できる。 2. ライフサイクルの各期における心身問題について説明できる。 3. 現代社会における精神保健上の主な問題と社会・環境との関係について考察できる。 4. 心理的ストレスの発生、ストレス対処の過程と類型、ストレス反応について理解し、ストレス・マネジメントについて考察できる。 5. 精神科医療において起こりやすい患者の人権と倫理的問題について歴史的経緯や法律・制度と関連付けて説明できる。看護師としての基本的姿勢や留意点について考察できる。								その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)		
	【授業内容】 1回 精神看護学で学ぶこと、心の健康・身体の健康とは 2回 心のとらえ方(脳機能、精神力動理論・防衛機制) 3回 心の発達(対人関係・環境、ライフサイクルとメンタルヘルス) 4回 ストレス・マネジメント、代替療法と統合医療 5回 メンタルヘルスの諸問題とそのアプローチ 6回 精神医療の歴史と法律・制度の変遷(精神保健福祉法、医療観察法など) 7回 権利擁護と患者の権利								武井麻子他(著): 系統看護学講座一専門分野 精神看護の基礎 精神看護学1、医学書院、第6版、2022 武井麻子他(著): 系統看護学講座一専門分野 精神看護の展開 精神看護学2、医学書院、第6版、2022		
授業担当教員紹介		URL		https://www.ishikawa-nu.ac.jp/archives/teacher/mino-yukiko							
ホームページ・メールアドレス等		E-mail		mino-pn@ishikawa-nu.ac.jp							

科目名	文学(史記を読む)			授業形態		開講期間		4月8日～7月29日			
	英文科目名	LITERATURE			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間		水曜日 第3講時 17:30～19:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	なし					開講場所		石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームA			
受講定員等	担当教員 三浦 哲志			単位数		2単位		成績評価 方法・割合		期末試験(80%) 出欠・授業態度(20%)	
	定員数 30名 定員超過時の選考方法等 未定 科目等履修生定員 若干名 シティカレッジ聴講生定員 若干名										
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)		
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間: 金城大学短期大学部で確認				受講料		
				教員の指示に従う				10,000円		20,000円	
科目の内容	中国の著名な歴史書『史記』を取り上げます。『史記』は東アジア文化圏における共通の古典であり、史料価値の高さだけでなく文学性の高さから日本においても古くから読み継がれてきました。小説化・映像化された著名な人物・エピソードや人口に膾炙した言葉が数多く含まれており、読み物として面白いばかりでなく、現代を生きる私たちにも大いに参考になる内容であると言えます。授業においては、長大な『史記』の中で特に有名な章を扱い、現代語訳で内容確認の後、解説を行います。また、『史記』を題材とした映像資料の視聴も行います。『史記』の成り立ちや各章のあらすじについて理解し、古代中国の風習や現代まで伝わった故事成語について知ることを目標とします。受講者は、各章に登場する人物や地名についてテキストや配布プリントで確認しながら受講してください。								その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)		
									なし		
授業日程・スケジュール		授業回数15回									
授業担当教員紹介		URL		https://www.kinjo.ac.jp/kjc/child/teachers.html							
ホームページ・メールアドレス等		E-mail		miura@kinjo.ac.jp							

科目名	初級中国語			授業形態		開講期間	4月8日～7月29日		
	英文科目名	Elementary Chinese		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	水曜日 第3講時 17:30～19:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	ピンイン(四声、子音、母音)、HSK1級或は中 検準4級の単語と基本文法を学んだ方					開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB		
受講定員等	担当教員	厲 堅(レイ ケン)		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	授業参加度60%+定期試験40%	
	定員数	15名 定員超過時の選考方法等 受付順		科目等履修生定員	0名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	10,000円
科目の内容	前年度「中国語入門&初級」を受けた方、或はピンインとHSK1級150個程度の単語又は文法知識を学んだ方が対象である。リスニング練習で中国語を聴き取り、リピート、さらに暗記暗唱練習も行う。それにより語彙を増やし、基本文型の使い方を熟練になることを望む。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
								教員自作PPTと資料	
授業日程・スケジュール									
授業担当教員紹介			URL	<a href="https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/l-jian.html">https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/l-jian.html</a>					
ホームページ・メールアドレス等			E-mail	ji_li@hokuriku-u.ac.jp					

科目名	クラウド時代のハトソのレ			授業形態		開講期間	4月8日～8月5日		
	英文科目名	Technical Review of Hardware and Software for the Cloud-Native Generation		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	水曜日 第3講時 17:30～19:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	オンライン		
受講定員等	担当教員	森 祥寛・大野 浩之・ 松浦 智之		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	講義で課した課題に対するレポートなどで評価する。	
	定員数	20名 定員超過時の選考方法等 未定		科目等履修生定員	若干名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	10,000円
科目の内容	「ハトソのレ」とは、担当講師が研究や教育において新たに導入したシステムを使いこなせるようになるために実践している「ハードウェアとソフトウェアのレビュー」のことです。この講義では、電子回路を作り、マイクロコントローラ(マイコン)を使って電子回路を制御してクラウドと連携する際に必要となる「ハトソのレ」を行います。受講者は、ハードウェアやソフトウェアの専門家である必要は全くなく、むしろ電子工作に興味がある初心者の受講を歓迎します。講義では、Grove Beginner Kit For Arduinoを貸出し、実際にそれらを動かしながら学んでいただきます。そのために、ノートパソコンやデスクトップパソコンが必要になります。あわせて、本講義はオンラインで開講しますので、Web会議システム(Zoom)も使用できるようにパソコンやインターネットなどの機器・環境を準備してください。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	受講者は、受講する場所にあわせて、ノートパソコンやデスクトップパソコンを準備しておくこと。なお、iPadやAndroidタブレットのようなタブレット端末はパソコンには含まない。実習で使用する機材(小型のコンピュータや超小型のセンサなど)は、授業期間中に貸出しますので、講義終了後、自宅などで、復習・予習も兼ねて、いろいろな操作や実験をしてみてください。								
授業日程・スケジュール		講義参加者の状況を踏まえつつ、適宜、授業日程を調整して実施する。この講義は、大学コンソーシアム石川の講義日程に沿って実施される。受講生の所属大学が休講日であっても開講されることがあるので注意すること。							
授業担当教員紹介			URL						
ホームページ・メールアドレス等			E-mail						

科目名	シェルスクリプト言語論 1			授業形態	開講期間	4月8日～8月5日			
	英文科目名	Lecture on POSIX Centric Shellscript Programming -1-				①対面授業 ②オンライン授業 ○ ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講時間	水曜日 第4講時 19:10～20:40	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				開講場所	オンライン				
受講定員等	担当教員	森 祥寛・大野 浩之・ 松浦 智之			単位数	2単位		成績評価 方法・割合	講義で課した課題に対するレポートなどで評価する。
	定員数	20名		定員超過時の選考方法等	未定				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	10,000円
科目の内容	皆さんの中で、プログラミングを勉強して、さまざまなプログラムを作成したいと考えたことのある方は、どれだけの だろうか？ しかし、どのように学んで良いかわからない。JAVA？ Python？ R？ Oracle？ PHP？ C？ などと言わ れても、何を学んで良いかわからない。そんなこともあるでしょう。特に、多くのプログラミング言語では、1、2年毎に大 きなバージョンアップなどがあり、その前後で作成したプログラムが動かなくなったり、新しいプログラムが作れなくな ります。 そこで本講義では、古くから存在し、今もほとんど変わること無く使用できる「POSIX環境におけるシェルスクリプト」の 基本的な使い方とそれを使ったビッグデータ処理について学習をしていきます。シェルスクリプトは、UNIXやLinuxと呼ば れるOSにおいて、システム操作などにも使用されるもので、多くのコマンドから形成されるものです。それ故に最近のプログ ラミング言語ほど派手なことではありませんが、古くから変わらず存在するため、これから先も長く長く使用可能です。また、 シェルスクリプトは、プログラミングに限らず、LinuxやWindows、macOSなどをコマンドから操作するとき使用できます。シェ ルスクリプトを使用できるようになると、研究活動を始めると、さまざまな業務処理に役立てることが出来ます。 講義では、受講者は、自身のパソコンにこのPOSIX環境を構築し（主にWindowsパソコン使用者）、そこでシェルコマンドお よびシェルスクリプトの使い方を学びます。最終的にシェルスクリプトなどを使った自作のコマンドを作ってもらいます。								
	授業日程・ スケジュール	講義参加者の状況を踏まえつつ、適宜、授業日程を調整して実施する。この講義は、大学コンソー シアム石川の講義日程に沿って実施される。受講生の所属大学が休講日であっても開講される ことがあるので注意すること。							
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail					

科目名	社会学			授業形態	開講期間	4月8日～7月29日			
	英文科目名	sociology				①対面授業 ②オンライン授業 ○ ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講時間	水曜日 第4講時 19:10～20:40	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	なし			開講場所	オンライン				
受講定員等	担当教員	高島 智世			単位数	2単位		成績評価 方法・割合	・平常点：6割 (授業前課題+授業終了後小レポート) ・課題：4割
	定員数	30名		定員超過時の選考方法等	先着順				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：				受講料
								10,000円	
科目の内容	私たちは、「複雑な社会」に生きています。「私」の行為が地球の裏側の人々にまで影響を与える可能性をもち、「私」の元には相反した情報や多様な価値観が流れ込んでいきます。「社会学」は、そうした現代社会の一員である私たちが、社会と個人を多層的に見るための「メガネ」を与えてくれると考えています。また現代の日本の姿についても理解することができるでしょう。この講義では、現代社会でクローズアップされている様々な事象や社会問題を題材にして、社会学の基本概念および「社会的なもの」の「見方」を学びます。 毎回、授業後に小レポートを提出していただきます。授業ブログでは、次回の授業のための準備課題（所要時間30分程度）を提示するほか、質問への回答、学生の小レポートの紹介とコメント、発展的学習に資する論文・記事、動画などの紹介などを掲載しています。必ず次回までにアクセスしてください。								
	授業日程・ スケジュール	第1回 オリエンテーション～この授業について 第3回 社会統計の見方～社会を測る方法 第5回 職業～「非正規雇用」が増えたのはなぜか？ 第7回 家族～結婚したくない人が増えている？ 第9回 地域社会～新幹線開通は必ず豊かさをもたらすのか？ 第11回 社会の再生産～日本社会の特徴とその未来 第13回 政治と権力～「政治的無関心」はいつかして作られたか？ 第15回 まとめ		第2回 社会認識と社会を見るメガネ～社会を見る「メガネ」を点検する 第4回 教育～大学生はなぜ「生徒」ではないのか？ 第6回 知識基盤型社会～社会はどこに向かっているのか？ 第8回 ジェンダー～日本は男女平等な社会？ 第10回 エスニシティ～「日本人」とはだれのことか？ 第12回 特別講座 貧困または欠乏（グループワークと講義） 第14回 マスメディア～フェイク情報にだまされないために					
授業担当教員紹介				URL		https://www.kinjo.ac.jp/ku/social/teachers/takasima.html			
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		f-chise@g.kinjo.ac.jp			

科目名	元記者と学ぶ経済のしくみ			授業形態	開講期間	4月9日～7月23日			
	英文科目名	A Journalist's Guide to the Economy		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	木曜日 第3講時 17:30～19:00			
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	初学者も歓迎します				開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB			
受講定員等	担当教員	志田 義寧		単位数	2単位		成績評価 方法・割合		
	定員数	20名 定員超過時の選考方法等 教室に入る限り受け付けます		科目等履修生定員	0名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	10,000円
科目の内容	<p>コロナ収束後、世界は「〇年ぶり」という異例のニュースであふれています。40年ぶりの物価上昇、32年ぶりの円安、24年ぶりの為替介入…。なぜ、こんなことが起きているのか？その答えは「経済の見方」を身につけると、すっきり理解できるようになります。本講座では、毎日のニュースが“自分のこと”として読めるようになる力身につけます。扱うテーマは国内総生産（GDP）、物価・インフレ、金融・財政政策、為替レート、株式市場など、社会人なら誰もが押さえておきたい“一生使える経済の基礎”。講師は日銀などを20年以上取材してきた元経済記者。教科書には書けない「現場の裏側」や「ニュースの本当の読み解き方」までお伝えします。経済に苦手意識がある方でも大丈夫。「なぜ物価が上がるのか」「なぜ円安が進むのか」が、自分で説明できるようになる—そんな実力を短期間で養います。ニュースの内容を“なんとなく”ではなく、確実に理解したい、投資・資産形成を始めたいという方におすすです。必要なのは専門知識ではありません。ニュースを“読むチカラ”を、一緒に基礎から身につけましょう。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>使用しません</p>	
授業日程・ スケジュール	扱うテーマは国内総生産（GDP）や物価・インフレ、金融・財政政策、為替レート、株式市場を予定していますが、参加人数や参加者のニーズ等を踏まえて、適宜調整します。								
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://x.com/y_shida">https://x.com/y_shida</a>							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	y-shida@hokuriku-u.ac.jp							

科目名	不確実な未来に対する防衛学-オンライン-			授業形態	開講期間	4月9日～7月23日			
	英文科目名	Defense against an uncertain future -online-		①対面授業 ②オンライン授業 ○ ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	木曜日 第3講時 17:30～19:00			
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	オンライン			
受講定員等	担当教員	佐藤 安訓		単位数	2単位		成績評価 方法・割合		
	定員数	20名 定員超過時の選考方法等 受付順		科目等履修生定員	0名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	10,000円
科目の内容	<p>「自分は何歳まで生きるのだろうか」、「どんな病気にかかるのだろうか」、「このままの生活を続けたらどうなるのだろうか」、はたまた「これからの日本はどのようなのだろうか」など、将来への不安を感じる事が世の中には沢山あります。</p> <p>担当教員が専門とする『衛生科学』は『生命(いのち)を衛る(まもる)』学問です。この衛生科学には、将来への不安から自分の生命を守る知識がたくさん詰め込まれています。将来への不安、つまり「不確実な未来」です。</p> <p>本科目ではこの衛生科学の知識を通じて、“不確実な未来に対してどのように自分たちの生命を守ればよいか”を学んでいきます。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>定員超過時は受付順とします。</p>	
授業日程・ スケジュール	本科目では、①衛生科学で不確実な未来に対して対策を立てられる理由から始まり、②自分自身の病気のなりやすさや寿命、③自分の生活習慣がもたらす影響、④生命に必須な栄養・水・空気、⑤疾病予防のための科学的リテラシーや対策、⑥日本の今後や石川県や金沢市などの地域社会の今後、⑦地球規模の環境問題が自分たちの生活にどう影響するかなど、公衆衛生学、栄養衛生学、食品衛生学、環境衛生学など衛生科学の内容を順次実施します。								
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/y-sato2.html">https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/y-sato2.html</a>							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail								

科目名	地域と文学			授業形態		開講期間	4月10日～7月24日	
	英文科目名	Relationship between region and literature		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	金曜日 第3講時 17:30～19:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB	
受講定員等	担当教員	水洞 幸夫		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	数回の課題と、期末のレポート。
	定員数	50名		定員超過時の選考方法等	レポート			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
				10,000円	35,000円	32,000円		10,000円
科目の内容	主に金沢を舞台にした近・現代の小説を読み、その風土が作品にどう活かされているか、という点を中心に作家の構想を分析していきます。創作も導入して、自らの考えた小説と作家の作品を比較検討して、その特徴を明らかにします。扱う作家としては、泉鏡花、徳田秋声、室生犀星、井上靖、杉森久英や、唯川恵など現在活躍中の作家も予定しています。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	授業日程・ スケジュール	① 近代文学と金沢 ⑥⑦室生犀星の文学 ⑫⑬金沢に旅した文学者の文学		②③泉鏡花の文学 ⑧⑨四高出身者の文学 ⑭金沢出身の戦後作家		④⑤徳田秋声の文学 ⑩⑪金沢に住んだ文学者の文学 ⑮まとめ		
授業担当教員紹介			URL					
ホームページ・メールアドレス等			E-mail		suido@kanazawa-gu.ac.jp			

提供機関：金沢大学

科目名	石川県の市町			授業形態	開講期間	4月11日～8月1日		
	英文科目名	Municipalities in Ishikawa Prefecture		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講時間	土曜日 第1講時 10:30～12:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB		
受講定員等	担当教員	佐藤 文彦		単位数	2単位			
	定員数 60名 定員超過時の選考方法等 受付順 (事前登録期間内に超過した場合は抽選) 科目等履修生定員 5名 シティカレッジ聴講生定員 若干名				成績評価方法・割合	3分の2以上の出席が前提。評価はレポート100%。(課題は具体的な地域を例に地域の課題解決や大学等との連携のあり方を提言するものを予定。よいレポートは関係の市町に送り提言として役立ててもらおう予定)		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				検定料	入学料	授業料	別途負担費用	無料
				9,800円	28,200円	29,600円		
科目の内容	授業の目的及び学習目標：石川県の市や町を抱える課題を理解し、その課題解決の方策や今後の大学や学生と地域との連携のあり方を考える。						<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業はオンラインと対面を併用するハイブリッド型の授業だが、日程によってはオンラインのみとなる場合がある。</li> <li>・まちづくりや地方行政に関心のある学生、あるいは地方公務員を目指している学生には、特に履修してほしい。</li> <li>・石川県による企画のため、社会人の受講料は無料である。また、県外者の受講も可で、単位が必要な場合は金沢大学の科目等履修生となる必要がある。</li> </ul>	
	授業内容：石川県内の全各市町から、現場で指揮を取る首長（市長・町長）や職員をゲストとして招き、それぞれの市町がどのような特徴を持ち、どのような課題を抱え、どのような取組をしているのか、あるいはどのような人材を求めているのか、について話してもらう。また、石川県の地域振興に関係する職員や、各市町に入って地域の課題に取り組んでいる大学等の教員などにも来て話をしてもらう。これらを通して県内の市町への理解を深めていく。							
授業日程・スケジュール	授業日程は、ガイダンスまでに確定し、大学コンソーシアム石川のHP等で公表する。							
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	satof@staff.kanazawa-u.ac.jp			

提供機関：北陸大学

科目名	知っておきたい知的財産権の基礎 (産業財産権編)			授業形態	開講期間	4月11日～8月1日		
	英文科目名	Basics of Intellectual Property Rights (Industrial Property Rights)		①対面授業 ②オンライン授業 ○ ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講時間	土曜日 第3講時 15:20～16:50		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	オンライン		
受講定員等	担当教員	木藤 聡一		単位数	2単位			
	定員数 100名 定員超過時の選考方法等 未定 科目等履修生定員 0名 シティカレッジ聴講生定員 若干名				成績評価方法・割合	毎回の小レポート		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：			
				検定料	入学料	授業料	別途負担費用	10,000円
科目の内容	人間の知的活動によって生み出されたアイデアや創作物などには、財産的な価値を持つものがあり、「知的財産」と呼ばれています。知的財産は身近なところにもたくさんあり、私たちの生活を豊かにしています。技術的なアイデアである「発明」、物品などのデザインである「意匠」、商品名・サービス名・ロゴなどの「商標」、本やゲームソフトなどの「著作物」は、全て知的財産です。これらを他者に無断利用されないように、一定期間法的に保護される権利として、それぞれ「特許権」「意匠権」「商標権」「著作権」などがあり、これらの総称が「知的財産権」です。						<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等)	
	本科目では、これらのうち「特許権」「意匠権」「商標権」などの「産業財産権」を扱います。産業財産権に関する基礎知識を身につけると共に、具体的な場面において産業財産権に関する問題点を発見する能力や、その問題点を解決する能力を養うことを目指します。							
授業日程・スケジュール								
授業担当教員紹介				URL	https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/s-kitou.html			
ホームページ・メールアドレス等				E-mail				

科目名	石川未来プロジェクト I			授業形態		開講期間	5月中旬～		
	英文科目名	Project to think about future of Ishikawa I		①対面授業 ②オンライン授業		開講時間	各検討チームで決定する		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	チーム内での円滑なコミュニケーション能力を必要とする			③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信		開講場所	各検討チームで決定する		
受講定員等	担当教員	篠田 隆行		単位数	1単位		成績評価方法・割合 ①チーム活動の取組状況 (出席を含む) ②成果発表 (中間・最終) ③レポート・報告書 (中間・最終) ④学習の取組意欲		
	定員数	50名		定員超過時の選考方法等					本プロジェクトに対する抱負が記載された応募資料を見て判断
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：				受講料
<p>①石川の未来を見据えて、今すべきことを提案する科目であり、未来の石川を学生が作る、という壮大なプロジェクトでもある。既存の枠組みやしがらみにとらわれず、学生らの柔軟な発想力とパワーを結集し、1年かけて提案を作成し、石川県庁をはじめ、重要なステークホルダー (利害関係者) に問う、というプロジェクト型の授業である。</p> <p>②このプロジェクトは単年度の『チーム活動』であるが、各チームが取り組むプロジェクトテーマを統括する大きなテーマ (未来テーマ) は3年に1度変更する。2030年達成目標であるSDGs、2050年CO2実質排出ゼロ、などを見据えたプロジェクトテーマを考案し、1年を掛けてテーマの具体化を進める。</p> <p>③チームは、大学等、学年を超えた混成チームとし、各チームには当コンソーシアムからコーディネータを1名割り当て、プロジェクトの遂行をサポートする。コーディネータは各大学等から選出された教員である。</p> <p>④年間スケジュールの概略は以下の通りですが、プロジェクトの進め方はコーディネータに一任します。</p> <p>⑤科目登録は、登録大学の事情によって、前期・後期に分割されることがある。</p>									
授業日程・スケジュール	4月 オリエンテーション、プロジェクトの進め方 6月 情報収集と整理、ブレインストーミング 10月 アイデアの具象化 2月 成果発表 (コンソーシアムの活動として重要な位置づけ) ほか、予定は変更されることがある。				5月 (1年生が参加する可能性あり) 7月 中間発表 11～12月 社会実装ほか		8～9月 自主活動 1月 報告書作成		<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>遠隔および対面による会合を行う。遠隔の会合を行うため、各自ノートPCが必要である。</p> <p>以下の履修条件の遵守を求める。チームで活動する。応募は個人であっても、科目内でチームを組成する。リーダーシップ、コミュニケーション力、協調性などを発揮する、所属する大学等、学年とは無関係にチームが組成される。1年を通して活動する。4～7月、10月～2月の学期期間中は、1～2回/週の活動、長期休暇中は提案を社会実装したり、学期中では困難な一定期間の連続した活動などを行うことができる。原則的に、活動途中の辞退はできない。活動時間はテーマの内容や遂行状況により増減するが、科目単位相当の活動を求める。</p>
授業担当教員紹介	URL			E-mail					
ホームページ・メールアドレス等									

科目名	石川未来プロジェクト I			授業形態		開講期間	5月中旬～		
	英文科目名	Project to think about future of Ishikawa I		①対面授業 ②オンライン授業		開講時間	各検討チームで決定する		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	チーム内での円滑なコミュニケーション能力を必要とする			③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信		開講場所	各検討チームで決定する		
受講定員等	担当教員	山岸 邦彰		単位数	1単位		成績評価方法・割合 ①チーム活動の取組状況 (出席を含む) ②成果発表 (中間・最終) ③レポート・報告書 (中間・最終) ④学習の取組意欲		
	定員数	50名		定員超過時の選考方法等					本プロジェクトに対する抱負が記載された応募資料を見て判断
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：				受講料
<p>①石川の未来を見据えて、今すべきことを提案する科目であり、未来の石川を学生が作る、という壮大なプロジェクトでもある。既存の枠組みやしがらみにとらわれず、学生らの柔軟な発想力とパワーを結集し、1年かけて提案を作成し、石川県庁をはじめ、重要なステークホルダー (利害関係者) に問う、というプロジェクト型の授業である。</p> <p>②このプロジェクトは単年度の『チーム活動』であるが、各チームが取り組むプロジェクトテーマを統括する大きなテーマ (未来テーマ) は3年に1度変更する。2030年達成目標であるSDGs、2050年CO2実質排出ゼロ、などを見据えたプロジェクトテーマを考案し、1年を掛けてテーマの具体化を進める。</p> <p>③チームは、大学等、学年を超えた混成チームとし、各チームには当コンソーシアムからコーディネータを1名割り当て、プロジェクトの遂行をサポートする。コーディネータは各大学等から選出された教員である。</p> <p>④年間スケジュールの概略は以下の通りですが、プロジェクトの進め方はコーディネータに一任します。</p> <p>⑤科目登録は、登録大学の事情によって、前期・後期に分割されることがある。</p>									
授業日程・スケジュール	4月 オリエンテーション、プロジェクトの進め方 6月 情報収集と整理、ブレインストーミング 10月 アイデアの具象化 2月 成果発表 (コンソーシアムの活動として重要な位置づけ) ほか、予定は変更されることがある。				5月 (1年生が参加する可能性あり) 7月 中間発表 11～12月 社会実装ほか		8～9月 自主活動 1月 報告書作成		<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>遠隔および対面による会合を行う。遠隔の会合を行うため、各自ノートPCが必要である。</p> <p>以下の履修条件の遵守を求める。チームで活動する。応募は個人であっても、科目内でチームを組成する。リーダーシップ、コミュニケーション力、協調性などを発揮する、所属する大学等、学年とは無関係にチームが組成される。1年を通して活動する。4～7月、10月～2月の学期期間中は、1～2回/週の活動、長期休暇中は提案を社会実装したり、学期中では困難な一定期間の連続した活動などを行うことができる。原則的に、活動途中の辞退はできない。活動時間はテーマの内容や遂行状況により増減するが、科目単位相当の活動を求める。</p>
授業担当教員紹介	URL			E-mail					
ホームページ・メールアドレス等									

前期

シティカレッジでの講義

科目名	はたらく人のための環境と健康			授業形態	開講期間	9月28日～1月25日		
	英文科目名	Environmental and Public Health for Workers		①対面授業 ②オンライン授業	開講時間	月曜日 第3講時 17:30～19:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	文系学生および文系出身者でも可			③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB		
受講定員等	担当教員	池田 啓一		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	
	定員数	30名 定員超過時の選考方法等 未定		科目等履修生定員	0名			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:			受講料
					検定料	入学料	授業料	
10,000円								
科目の内容	皆さんは、はたらく(働く)と聞いたときにどんなことを思い浮かべますか? 職種、就職活動、アルバイト・正社員など雇用、収入、自己実現、社会貢献など、いろいろあるのではないのでしょうか? また、自分のはたらく時には、自身の価値観と重ね合わせて、何らかの目的を持って行うのではないのでしょうか? この目的を実現するには、健康に「はたらく」ことが不可欠です。 本科目では、「はたらく」と健康について、基本的なことを踏まえた上で、自分の職場・取引先・自分の生活必需品などに関連する、様々な職業において起こりうる健康障害(業務上疾病といえます)とその予防法について、作業内容や環境との関連に触れながらお話しします。その際、少し知っている和理解しやすい程度のサイエンスの知識を交えながら、展開していく中で、「はたらく人のための環境と健康」における諸問題を解決するための知識を得ることを目的とします。最近、受動喫煙のない職場、「はたらく」ことの生きがい、盛んに言われている「健康経営」という、会社側から見た健康保持増進、「エイジフレンドリー」と呼ばれる人生100年時代の職場の安全と健康など、職場における健康保持・増進の新たな概念が登場しています。はたらく人のための環境と健康について、一緒に考えていきましょう。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・ スケジュール	1. はたらく人の環境と健康のために知っておくことー労働災害とその予防、労働衛生管理の基本 2-5. サービス業ではたらく人の環境と健康(労働時間、循環器疾患、メンタルヘルス、感染症、食中毒) 6-11. ものづくりの現場ではたらく人の環境と健康(粉じん・金属・有機溶剤による中毒、化学物質による発がん、一酸化炭素、酸素欠乏、その他化学物質との関連)、12. 屋外の現場ではたらく人の環境と健康(建設現場一熱中症、農作業・農薬中毒、林業一寒冷・振動)、13. 快適に作業をするためのオフィスでの室内環境(光、音、温度など)、14. THP(トータル・ヘルスプロモーション・プラン)と健康経営ー社員と企業のための「はたらく」における健康保持・増進、15. エイジフレンドリーな職場づくり						
授業担当教員紹介	URL	https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/k-ikeda.html						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	ke-ikeda@hokuriku-u.ac.jp						

科目名	食卓から守る家族の健康： 食育・薬育・健康栄養学			授業形態	開講期間	9月28日～1月25日		
	英文科目名	Protecting your family's health from the dinner table: Food education, medicine education, and health nutrition		①対面授業 ②オンライン授業	開講時間	月曜日 第4講時 19:10～20:40		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB		
受講定員等	担当教員	宇佐見 則行		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	
	定員数	20名 定員超過時の選考方法等 講義を選んだ理由		科目等履修生定員	0名			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:			受講料
					検定料	入学料	授業料	
10,000円								
科目の内容	「健康」とは、心身共に健全な状態であると共に、経済的にも豊かなことを意味しています。本講義では、私たちが一生涯をかけて係り合う「食」と「健康」をテーマとしてとり挙げ、食事や食物に関する知識(健康栄養学)と選択力を身につけ、家族が健康で質の良い食生活を送れるようにするための教育(食育)を栄養素の役割から解説します。また、薬に関する正しい使用法や副作用などの知識を、子供のうちから教育しようという試み(薬育)についても解説します。「運動と健康」では、活動環境の安全、人間工学からの健康環境づくり、心(脳)を考慮した健康環境づくり、加齢を考慮した健康環境づくりについて皆さんと一緒に考えましょう。さらに、住環境、生活環境と安全・健康、休息としての睡眠環境、働く環境と安全衛生などについても皆さんと共に考えていきたいと思います。 最後に、私たちの寿命は延び続け、現在「人生90年(平均寿命)」になろうとしています。しかし、自立した生活を送れる期間「健康寿命」が、「平均寿命」より男性は約9年、女性は約12年も短く、支援や介護を必要とする期間が、平均で9～12年早く訪れることを意味しています。今後迎える超高齢社会に向け、「平均寿命」ではなく、長い人生、いつまでも元気に過ごすための「健康寿命」を延ばすには何が必要か?、何をすれば良いのか? などなどを講義を通じて考え、理解して頂ければと思います。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・ スケジュール	講義内容: 1. 栄養と健康・疾患/2. 糖質から学ぶ食育/3. 脂質代謝から学ぶ食育/4. タンパク質(アミノ酸)から学ぶ食育/5. ビタミンから学ぶ食育/6. ミネラルから学ぶ食育/7. 運動と健康: ①呼吸と循環器系/8. ②内分泌系と脳機能/9. ③栄養とタイミング/10. ④水分補給のタイミング/11. 救急救命/12. 医薬品の相互作用とその対応/13. 食品との相互作用とその対応/14. 食中毒と食品汚染物質/15. 食品の変質と食品の保存/16. 身近に起こる中毒時の対応など						
授業担当教員紹介	URL	https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/n-usami.html						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	n-usami@hokuriku-u.ac.jp						

科目名	経済学とSDGs			授業形態	開講期間	9月29日～1月19日		
	英文科目名	Economics and SDG s		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	火曜日 第4講時 19:10～20:40		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	特になし				開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB		
受講定員等	担当教員	斎藤 英明		単位数	2単位			
	定員数	40名	定員超過時の選考方法等	未定				
	科目等履修生定員	0名			成績評価 方法・割合	レポート評価 (100%)		
	シティカレッジ聴講生定員	若干名						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
								10,000円
科目の内容	この授業は、国際連合が提唱した17の目標に焦点を当て、受講生が持続可能な未来の概念を理解することを目的としている。まず、SDGsの背景や目標に関する基本的な知識を講義し、各目標が解決を目指す世界の課題を学ぶ。そして、持続可能なまちづくりや地方自治体への参画に焦点を当て、個人や組織がこれらの目標の実現にどのように貢献できるかを考察する。地域や国の事例研究を通じて、現実の課題に対処する手法や成功事例に学び、実践的なスキルを養う。最終的には、学習した知識とスキルを活かし、個別またはグループワークを通じてSDGs達成に向けた具体的な解決策を提案し、他の受講生と意見交換を通じてSDGsへの理解を深める。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・ スケジュール	15回						授業資料は毎回授業時に 配布。
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/hi-saito.html">https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/hi-saito.html</a>						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	hi-saito@hokuriku-u.ac.jp						

科目名	中級中国語			授業形態		開講期間	9月30日～1月13日		
	英文科目名	Intermediate Chinese		①対面授業	○	開講時間	水曜日 第3講時 17:30～19:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	HSK2級或は中検4級相当			②オンライン授業		開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB		
受講定員等	担当教員	厲 堅 (レイ ケン)		単位数	2単位	成績評価方法・割合	授業参加度60%+定期試験40%		
	定員数	15名 定員超過時の選考方法等 受付順		科目等履修生定員	0名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料
								10,000円	
科目の内容	前期「中国語初級」講座を受けた方、或はHSK2級300個程度の単語と文法知識を学んだ方が対象である。リスニング練習で中国語を聴き取り、レポート、さらに暗記暗唱練習も行う。前期より語彙数をさらに増やす。文法の面はHSK3級までいたる。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・スケジュール							教員自作PPTと資料	
授業担当教員紹介				URL	<a href="https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/l-jian.html">https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/l-jian.html</a>				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	ji_li@hokuriku-u.ac.jp				

科目名	ジェンダー			授業形態		開講期間	9月30日～1月13日		
	英文科目名	Gender Studies		①対面授業	○	開講時間	水曜日 第3講時 17:30～19:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	なし			②オンライン授業		開講場所	オンライン		
受講定員等	担当教員	高島 智世		単位数	2単位	成績評価方法・割合	・平常点 (授業前課題 (所要時間20分程度) + 授業後小レポート) で6割 ・特別課題 4割 (4回)		
	定員数	40名 定員超過時の選考方法等 先着順		科目等履修生定員	0名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料
								10,000円	
科目の内容	ジェンダーとは、その社会で共有されている性別に対する考え方を指します。この授業では、歴史社会的な視点から、家族、教育、労働、結婚、性暴力、性売買、性教育、性的マイノリティ等のトピックを通して、ジェンダーと性現象にまつわる問題について考えるための基本的な概念を学び、現代日本のジェンダー問題の状況とそれに関する論点について考えます。毎回、授業後に小レポートを提出していただきます。授業ブログでは質問に答えたり、学生の小レポートを紹介したり、発展的学習に資する論文・記事、動画などを紹介しますので、必ず次回までにアクセスしてください。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・スケジュール							授業ブログのURL <a href="http://kinjogender.seesaa.net/">http://kinjogender.seesaa.net/</a> IDはgender パスワードは4400	
1時間目 オリエンテーション ～社会認識に関するワーク				2時間目 ジェンダー概念の検討 ～「性別」について社会的に考えてみる					
3時間目 フェミニズムの歴史 ～女と男を社会はどう考えてきたか				4時間目 言葉行為とジェンダー ～日本語の中の女と男					
5時間目 教育とジェンダー ～学校は男女平等か				6時間目 労働とジェンダー ～男と女はどう働かされてきたか					
7時間目 結婚とジェンダー ～「結婚」の意味はどのように変わってきたか				8時間目 (近代家族) ～私たちが「フツーの家族」と考えるもの					
9時間目 家事労働 ～日本政府が30年間「少子化対策」に失敗した理由				10時間目 近代の性規範の成立 ～近代は「性」をどのように扱ってきたか					
11時間目 「性暴力」という問題構成 ～性暴力被害者の扱いは変わったのか				12時間目 DV ～支配とコントロールから自由になるために					
13時間目 リプロ ～性について自分で決められるということ				14時間目 性売買 ～「売春」のこの社会での位置づけ					
15時間目 SOGI ～「LGBT」という言葉のその先へ									
授業担当教員紹介				URL	<a href="https://www.kinjo.ac.jp/ku/social/teachers/takasima.html">https://www.kinjo.ac.jp/ku/social/teachers/takasima.html</a>				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	f-chise@g.kinjo.ac.jp				

科目名	歴史学（中国史概説）			授業形態	開講期間	9月30日～1月13日		
	英文科目名	HISTORY（Chinese history overview）		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	水曜日 第4講時 19：10～20：40		
レベル ※語学は必須 （その他履修上の注意事項）	なし				開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームA		
受講定員等	担当教員	三浦 哲志		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	期末試験（80%）、 出欠・授業態度（20%）
	定員数	30名 定員超過時の選考方法等 未定		科目等履修生定員	若干名			
授業料等	特別聴講学生 （大学等に在籍する学生）			科目等履修生 （社会人で単位を必要とする者）				シティカレッジ聴講生 （社会人で単位を必要としない者）
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金城大学短期大学部で確認			
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用
科目の内容	中国は数千年もの歴史を持つだけでなく、日本と長く深い関係を持つ国であり、日本にとってその存在が今後ますます重要になることは確実です。一方で、その歴史、思想などについては、一部の人物・作品等を除いて、十分に知られているとは言えません。しかし、中国の「現在」を理解する上で、中国の「過去」を知ることは必要不可欠です。そのような観点から、中国に興味を持ち、中国を知ろうとする人に対して、そのための基本的な知識や考え方を提供することがこの講義の目的です。講義においては、中国史全般、古代から現代にかけて、写真や映像を用いながら概説します。参加者の知識、興味に応じて、講義の難易度や内容は変化します。中国について基礎から学びたい人、既に中国について基礎知識を持ち、さらに詳しく学びたい人、どちらにとっても価値のある講義にしたいと考えています。参加者には、能動的な受講姿勢を持ち、この講義をきっかけにしてより深く学んでいくことを期待します。						その他特記事項 （テキスト・教材参考書等）	
授業日程・ スケジュール	授業回数15回							なし
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://www.kinjo.ac.jp/kjc/child/teachers.html">https://www.kinjo.ac.jp/kjc/child/teachers.html</a>						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	miura@kinjo.ac.jp						

水

後  
期シ  
ティ  
カ  
レ  
ジ  
ジ  
での  
講  
義

科目名	楽しむための数学			授業形態	開講期間	10月1日～1月14日	
	英文科目名	Mathematics for fun				開講時間	木曜日 第2講時 15:30～17:00
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームA
受講定員等	担当教員	井上 具規				単位数	2単位
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 未定			成績評価方法・割合		出席状況、授業態度、制作物、レポートなどを総合して評価する。	
	科目等履修生定員 0名						
	シティカレッジ聴講生定員 若干名						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：		
					検定料	入学料	授業料
							受講料
							10,000円
科目の内容	数学は、「数式を使って計算をするやっかいなもの。」という認識が一般的ですが、音楽を楽しんだり、折り紙を折ったりといった日常の何気ない風景の中に数学が見え隠れしています。ぜひ規則性や美しさを感じ取ってみましょう。この授業では、できるだけ計算に頼らず(計算する場合は加減乗除程度)、見つけたことを整理したり、実際に手に取ることができる形にモノを作ったりしていきます。数式を解くだけではない数学の多様性に触れ、感性を高めること、そして、手を動かしてモノを作る作業を通して理解の幅を広げることこの授業の目標としています。						
	その他特記事項 (テキスト・教材参考書等) 筆記用具をご用意ください。定規、はさみ、のりを用意する回があります。						
授業日程・スケジュール							
授業担当教員紹介	URL	http://www.kanazawa-med.ac.jp/					
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	t-inoue@kanazawa-med.ac.jp					

木

科目名	元記者と学ぶやさしいジャーナリズム			授業形態	開講期間	10月1日～1月14日	
	英文科目名	Journalism Made Easy with a Former Reporter				開講時間	木曜日 第3講時 17:30～19:00
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	初学者も歓迎します			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB
受講定員等	担当教員	志田 義寧				単位数	2単位
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 教室に入る限り受け付ける			成績評価方法・割合		授業への参加度等を踏まえ総合的に判断します	
	科目等履修生定員 0名						
	シティカレッジ聴講生定員 若干名						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：		
					検定料	入学料	授業料
							受講料
							10,000円
科目の内容	いま、SNSからニュースサイトまで、世の中には膨大な情報が溢れています。しかし同時に「メディアは信用できない」「何を信じればいいのかわからない」という声も増えています。では、信頼できる記事とはどのような記事でしょうか？記事に使われる事実は、一見すべて正しく見えても、どの事実を選び、どの視点でまとめるかによって、内容は大きく変わります。経済記事であれば、名目か実質か、どの時点と比較するのか——それだけで“正反対のストーリー”を作ることさえ可能です。だからこそ、必要なのは「事実」と「真実」を見極める力です。この講座では20年以上にわたりライター通信などで取材活動を続けてきた講師が、現場で得た“リアルなジャーナリズム”を伝えます。講座では、自分自身の“思い込みのクセ”を知り、情報を冷静に見つめるスキルも身につけます。ニュースやSNSの情報を“鵜呑みにしない”力や事実の裏にある構図や意図を読み解く視点、フェイクニュースや偏った情報に流されない判断力、ビジネスや日常生活でも役立つ情報分析のスキルを身に付けたい方におすすです。メディアの裏側を知り、情報社会を賢く生き抜くための力を、一緒に学びませんか？						
	その他特記事項 (テキスト・教材参考書等) 使用しません						
授業日程・スケジュール	ジャーナリズムの原則を踏まえつつ、取材の現場が実際に直面している各論について学んでいく予定ですが、参加人数や参加者のニーズ等を踏まえて、適宜調整します。						
授業担当教員紹介	URL	https://x.com/y_shida					
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	y-shida@hokuriku-u.ac.jp					

後期

シティカレッジでの講義

科目名	クラウド時代の「ものグラミング」概論			授業形態		開講期間	10月1日～1月21日		
	英文科目名	Lecture on Monogramming ( How to Create and Code for Things ) for the Cloud-Native Generation		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ○		開講時間	木曜日 第3講時 17:30～19:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	石川県政記念いのき迎賓館3階 セミナールームB		
受講定員等	担当教員		森 祥寛・大野 浩之・ 松浦 智之		単位数	2単位		成績評価方法・割合	講義で課した課題に対するレポートなどで評価する。
	定員数		20名		定員超過時の選考方法等		未定		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	10,000円
科目の内容	<p>最近では、インターネット上に大量のデータや情報が集積され、これらを活用するサービス自体もインターネット上に用意されていることが当たり前になってきました。これを「クラウドコンピューティング」などと呼んだりしています。一方、小型のコンピュータや超小型のセンサなどが安価に普及し、ネット通販などで当たり前のように購入し、利用できるようになりました。そして、このような機器をインターネットに接続し、センサで得たデータのインターネットへの送信や、逆にインターネットからの受信が可能となりました。これを「もののインターネット (IoT:Internet of Things)」と呼んでいます。このような時代には、これまで個人が余暇に楽しんでいた「ものづくり」と、仕事や趣味などで行ってきた「パソコン上のさまざまな操作」、インターネット上で誰かが開発して提供している「さまざまな情報サービス」は別々のものではなく、互いに渾然一体となって、相互に連携し、利活用できるのです。このような社会で必要となる技法を、私たちは「ものづくり」と「プログラミング」を掛け合わせた「ものグラミング」という言葉で表現しています。</p> <p>本講義では、手で動く小さな「モノ」が徐々に発展しクラウドと連携するまで、クラウド上の大量の情報やサービスが手元の小さな「モノ」に影響を与えるまでを講義と実習などの体験を通じて学び、「ものグラミング」全体の理解を受講者に促していきます。また、併せてインターネットを活用するさいに注意すべきセキュリティなどについても学んでいきます。</p>								<p><b>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</b></p> <p>受講者は、ノートパソコン (iPadやAndroidタブレットのようなタブレット端末は含まない) を持つてくること。実習で使用する機材 (小型のコンピュータや超小型のセンサなど) は、授業期間中に貸出しますので、講義終了後、自宅などで、復習・予習も兼ねて、いろいろな操作や実験をしてみてください。</p>
	授業日程・スケジュール	講義参加者の状況を踏まえつつ、適宜、授業日程を調整して実施する。この講義は、大学コンソーシアム石川の講義日程に沿って実施される。受講生の所属大学が休講日であっても開講されることがあるので注意すること。							
授業担当教員紹介					URL				
ホームページ・メールアドレス等					E-mail				

科目名	シェルスクリプト言語論2			授業形態		開講期間	10月1日～1月21日		
	英文科目名	Lecture on POSIX Centric Shellsript Programming -2-		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ○		開講時間	木曜日 第4講時 19:10～20:40		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	石川県政記念いのき迎賓館3階 セミナールームB		
受講定員等	担当教員		森 祥寛・大野 浩之・ 松浦 智之		単位数	2単位		成績評価方法・割合	講義で課した課題に対するレポートなどで評価する。
	定員数		20名		定員超過時の選考方法等		未定		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	10,000円
科目の内容	<p>皆さんの中で、プログラミングを勉強して、さまざまなプログラムを作成したいと考えたことのある方は、どれだけのいるだろうか？ しかし、どのように学んで良いかわからない。JAVA？ Python？ R？ Oracle？ PHP？ C？ などと言われても、何を学んで良いかわからない。そんなこともあるでしょう。特に、多くのプログラミング言語では、1、2年毎に大きなバージョンアップなどがあり、その前後で作成したプログラムが動かなくなったり、新しいプログラムが作れなくなったりします。</p> <p>そこで本講義では、古くから存在し、今もほとんど変わること無く使用できる「UNIX環境におけるシェルスクリプト」を使ったプログラミング手法について学習をしていきます。シェルスクリプトは、UNIXやLinuxと呼ばれるOSにおいて、システム操作などにも使用されるもので、多くのコマンドから形成されるものです。それ故に最近のプログラミング言語ほど派手なことではできませんが、古くから変わらず存在するため、これから先も長く長く使用可能です。また、シェルスクリプトは、プログラミングに限らず、LinuxやWindows10、macOSなどをコマンドから操作するときにも使用できます。シェルスクリプトを十分に使用できるようになると、研究活動を始めとする、さまざまな業務処理に、これまでとは違う視点からの作業環境を与えることができます。</p> <p>講義では、受講者は、このUNIX環境におけるシェルスクリプトについて、新しい視点で学ぶとともに、「すべてのUNIXで25年後も動く普遍的なプログラム」を書く方法について会得し日頃の問題解決に適用できるようになることを目標とします。</p>								<p><b>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</b></p> <p>受講者は、対面で受講する場合は、ノートパソコンを持つてくること。オンラインのみで受講する場合は、受講場所にあわせてノートパソコンやデスクトップパソコンを使用すること。なお、対面受講、オンライン受講共にiPadやAndroidタブレットのようなタブレット端末はパソコンに含まない。</p>
	授業日程・スケジュール	講義参加者の状況を踏まえつつ、適宜、授業日程を調整して実施する。この講義は、大学コンソーシアム石川の講義日程に沿って実施される。受講生の所属大学が休講日であっても開講されることがあるので注意すること。							
授業担当教員紹介					URL				
ホームページ・メールアドレス等					E-mail				



科目名	健康な食生活			授業形態		開講期間	10月3日～1月23日					
	英文科目名	Science of Healthy Eating			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	土曜日 第1講時 10:30～12:00					
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	石川県政記念いのき迎賓館3階 セミナールームB					
受講定員等	担当教員	川村 美笑子・小林 勝義・鈴木 三枝・大谷 千晴・山本 武・渡邊 琢夫・七尾 由美子・林 直之・荒川 和世・宮本 佳代子・寿時 尚子			単位数	2単位		成績評価方法・割合	授業への取組み (10%)、 課題レポート(90%)			
	定員数	若干名			定員超過時の選考方法等	未定						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)			
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認				受講料			
								10,000円	35,000円	32,000円		10,000円
科目の内容	生命・健康の維持には栄養の適切な摂取が不可欠である。生活環境の変化に伴い、食環境も多様化する中で、新たな健康問題が提起されるとともに多様な栄養課題が惹起している。2025年問題 (団塊の世代が75歳以上)、2040年問題 (高齢者人口のピーク)、社会を支える現役世代への対応、持続可能な社会づくり、健康寿命のさらなる延伸により長寿を実現、医療費・介護費の削減、「だれもがより長く元気に活躍できる社会」を目指す食環境の整備、新感染症への対応 (医療・福祉・行政)、食物アレルギーや新たに開発される機能性食品等への対応、正しい情報の発信、行動科学を利用した様々なアプローチ等、新たな健康問題は枚挙に暇がない状況にある。健康な食生活についての理解を以下の観点から深める。食行動や脳機能と栄養 (3回)、運動・スポーツと栄養 (1回)、生活の中の食品の選択・食品アレルギー (2回)、身体の構造や機能と病気 (3回)、栄養と医療・介護・福祉 (2回)、地域住民の栄養 (2回)、栄養と地域社会の取組み (2回)、など講義内容とする。								その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	担当者毎に、適時資料を配付する。		
	授業日程・スケジュール											
授業担当教員紹介				URL								
ホームページ・メールアドレス等				E-mail				m-kawamura@kanazawa-gu.ac.jp / k-kobayashi@kanazawa-gu.ac.jp / y-kido@kanazawa-gu.ac.jp / suzuki-m@kanazawa-gu.ac.jp / oya@kanazawa-gu.ac.jp / takeshi-y@kanazawa-gu.ac.jp / takuo@kanazawa-gu.ac.jp				

科目名	食の科学			授業形態		開講期間	10月3日～1月23日																																	
	英文科目名	Introduction to food science			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	土曜日 第1講時 10:30～12:00																																	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	食品科学に興味がある人を対象とする。高校レベルの理科の知識を一部必要とする。					開講場所	オンライン																																	
受講定員等	担当教員	松本 健司 外14名			単位数	2単位		成績評価方法・割合	単位取得のためには10回以上の出席とそれらについてのレポート提出 (あるいは当日の小テスト受験) が必要である。遅刻は15分まで認めるがその後は欠席扱いとする。いかなる事情でも欠席は欠席扱いにしない。																															
	定員数	30名			定員超過時の選考方法等	受付順																																		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)																															
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：8月1日～8月31日				受講料																															
								9,800円	28,200円	29,600円		10,000円																												
科目の内容	(目的) 食品には、個々の食品の属性として、一次機能 (栄養機能)、二次機能 (嗜好機能)、三次機能 (生体調節機能) があり、さらに食を全体的視点から捉えるとき、食の安全性、食の供給、食と環境問題など、多くの側面とそれに応じた課題がある。本講義ではこのような広い視野からの食に関する様々な研究や話題について理解する。また、石川県の伝統食品や伝統野菜についても解説し、理解を深める。 (目標) ・食品の機能について、概要および研究成果を説明できる。 ・食品の製造・加工について、概要および研究成果を説明できる。 ・食品の安全性について、概要および研究成果を説明できる。 ・食品の流通について、概要および研究成果を説明できる。 ・石川県の伝統食品や伝統野菜について説明できる。								その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	教科書は指定しない。UCIポータルに、注意事項や講義資料、課題等が掲載されるので、必ず確認すること。																														
	授業日程・スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>食品と医薬品 (関口光広)</td> <td>第2回</td> <td>日本食文化の歴史～物産を物差しにすると面白い!～(本多裕司)</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>細胞培養で食肉をつくる培養肉製造技術 (古澤和也)</td> <td>第4回</td> <td>腸の機能と病気について(東村泰希)</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>食物繊維不足と生活習慣病について考える (長野隆男)</td> <td>第6回</td> <td>少子高齢化とビタミン (小関喬平)</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>身近な食と食中毒 (中口義次)</td> <td>第8回</td> <td>神経伝達と食の機能 (吉城由美子)</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>身近なタンパク質のはなし (小椋賢治)</td> <td>第10回</td> <td>水野性質と食品の乾燥 (島元啓)</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>私達の生活とアレルギー (西本壮吾)</td> <td>第12回</td> <td>食べ物のおいしさについて (伊藤聖子)</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>遺伝子組み換え食品について (竹村美保)</td> <td>第14回</td> <td>食品の生体調節機能と機能性食品 (松本健司)</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>小さな微生物が果たす大きな役割 (小柳喬)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 以上を予定。確定後のスケジュールは、UCIポータルにて公表する。								第1回	食品と医薬品 (関口光広)	第2回	日本食文化の歴史～物産を物差しにすると面白い!～(本多裕司)	第3回	細胞培養で食肉をつくる培養肉製造技術 (古澤和也)	第4回	腸の機能と病気について(東村泰希)	第5回	食物繊維不足と生活習慣病について考える (長野隆男)	第6回	少子高齢化とビタミン (小関喬平)	第7回	身近な食と食中毒 (中口義次)	第8回	神経伝達と食の機能 (吉城由美子)	第9回	身近なタンパク質のはなし (小椋賢治)	第10回	水野性質と食品の乾燥 (島元啓)	第11回	私達の生活とアレルギー (西本壮吾)	第12回	食べ物のおいしさについて (伊藤聖子)	第13回	遺伝子組み換え食品について (竹村美保)	第14回	食品の生体調節機能と機能性食品 (松本健司)	第15回	小さな微生物が果たす大きな役割 (小柳喬)	
第1回	食品と医薬品 (関口光広)	第2回	日本食文化の歴史～物産を物差しにすると面白い!～(本多裕司)																																					
第3回	細胞培養で食肉をつくる培養肉製造技術 (古澤和也)	第4回	腸の機能と病気について(東村泰希)																																					
第5回	食物繊維不足と生活習慣病について考える (長野隆男)	第6回	少子高齢化とビタミン (小関喬平)																																					
第7回	身近な食と食中毒 (中口義次)	第8回	神経伝達と食の機能 (吉城由美子)																																					
第9回	身近なタンパク質のはなし (小椋賢治)	第10回	水野性質と食品の乾燥 (島元啓)																																					
第11回	私達の生活とアレルギー (西本壮吾)	第12回	食べ物のおいしさについて (伊藤聖子)																																					
第13回	遺伝子組み換え食品について (竹村美保)	第14回	食品の生体調節機能と機能性食品 (松本健司)																																					
第15回	小さな微生物が果たす大きな役割 (小柳喬)																																							
授業担当教員紹介				URL				https://www.ishikawa-pu.ac.jp/staff/																																
ホームページ・メールアドレス等				E-mail																																				

科目名	金沢の歴史と文化			授業形態	開講期間	10月3日～1月23日		
	英文科目名	The History and Culture of Kanazawa		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	土曜日 第2・3講時 13:30～16:50		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームA		
受講定員等	担当教員	松永 篤知・古畑 徹		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 受付順 (事前登録期間内に超過した場合は抽選) 科目等履修生定員 若干名 シティカレッジ聴講生定員 5名							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	29,600円	教員の指示に従う
科目の内容	金沢市の様々な文化施設をめぐり、その施設の学芸員による解説講義を受け、その案内で各施設の見学・体験学習を行う。2時限連続の講義で、前半は解説講義、後半は見学・体験学習に充てる。 なお、各館の施設見学科金は無料の予定。また、学芸員希望者にはその後の館外実習の準備にもなるので、受講を推奨する。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	本授業は金沢市との連携科目である。定員20名以外に社会人5名が受講できる。5名をオーバーした場合は抽選し、受講の可否を事前に連絡する。(社会人は無料。)							
授業日程・スケジュール	日程は、8月中もしくは9月初にチラシ及び大学コンソーシアム石川HPで案内する。							
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/detail.php?id=4617">https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/detail.php?id=4617</a>						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	atsusim@staff.kanazawa-u.ac.jp						

科目名	石川県の行政 -いしかわの行政が目指すもの-			授業形態	開講期間	10月3日～1月23日		
	英文科目名	Administration of Ishikawa Prefecture: Ishikawa Prefecture's Vision for the Future		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	土曜日 第2講時 13:30～15:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB		
受講定員等	担当教員	未定		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	
	定員数 50名 定員超過時の選考方法等 受付順 科目等履修生定員 若干名 シティカレッジ聴講生定員 若干名							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				9,800円	28,200円	29,600円	無料	
科目の内容	本講義は、石川県の各行政分野における課題と展望について、石川県の幹部職員等を講師として講義を行い、地方自治に対する理解を深めることを目的とする。具体的な学習目標は、地方自治・行政に関連する基礎的および実務的な知識を習得し、自ら地方自治や政策課題について深く考えることができるようになることである。また公務員志望の学生については、行政の現場で活躍する関係者の生の声を聞くことで、将来のキャリア形成の参考になることを期待する。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	全15回の授業のうち、まずはじめの2回で地方自治に関する基礎的概要を講義した後、第3回から13回(もしくは14回)までは石川県の各行政分野における課題と展望について、石川県の幹部職員等を講師として講義を行う。最後の回は、まとめとレポート提出を予定している。講義スケジュールの詳細は、後日、確定次第知らせる。							
授業担当教員紹介	URL							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail							

科目名	知っておきたい知的財産権の基礎（著作権編）			授業形態		開講期間	10月3日～1月23日		
	英文科目名	Basics of Intellectual Property Rights (Copyright)		①対面授業 ②オンライン授業 ○ ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	土曜日 第3講時 15:20～16:50		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	オンライン		
受講定員等	担当教員	木藤 聡一		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	毎回の小レポート	
	定員数	100名 定員超過時の選考方法等 未定		科目等履修生定員	0名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
									10,000円
科目の内容	<p>人間の知的活動によって生み出されたアイデアや創作物などには、財産的な価値を持つものがあり、「知的財産」と呼ばれています。知的財産は身近なところにもたくさんあり、私たちの生活を豊かにしています。技術的なアイデアである「発明」、物品などのデザインである「意匠」、商品名・サービス名・ロゴなどの「商標」、本やゲームソフトなどの「著作物」は、全て知的財産です。これらを他者に無断利用されないように、一定期間法的に保護される権利として、それぞれ「特許権」「意匠権」「商標権」「著作権」などがあり、これらの総称が「知的財産権」です。</p> <p>本科目では、これらのうち「著作権」を扱います。著作権に関する基礎知識を身につけると共に、具体的な場面において著作権に関する問題点を発見する能力や、その問題点を解決する能力を養うことを目指します。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p>	
授業日程・スケジュール									
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/s-kitou.html">https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/s-kitou.html</a>							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail								

科目名	石川未来プロジェクトII			授業形態		開講期間	2026年5月中旬～2027年2月末		
	英文科目名	Project to think about future of Ishikawa II		①対面授業 ②オンライン授業		開講時間	各検討チームで決定する		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	チーム内での円滑なコミュニケーション能力を必要とする			③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信		開講場所	各検討チームで決定する		
受講定員等	担当教員	篠田 隆行		単位数	1単位		成績評価 方法・割合	①チーム活動の取組状況(出席を含む) ②成果発表(中間・最終) ③レポート・報告書(中間・最終) ④学習の取組意欲	
	定員数	50名		定員超過時の選考方法等 本プロジェクトに対する抱負が記載された応募資料を見て判断					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料
科目の内容	①石川の未来を見据えて、今すべきことを提案する科目であり、未来の石川を学生が作る、という壮大なプロジェクトでもある。既存の枠組みやしがらみにとらわれず、学生らの柔軟な発想力とパワーを結集し、1年かけて提案を作成し、石川県庁をはじめ、重要なステークホルダー(利害関係者)に問う、というプロジェクト型の授業である。								
	②このプロジェクトは単年度の『チーム活動』であるが、各チームが取り組むプロジェクトテーマを統括する大きなテーマ(未来テーマ)は3年に1度変更する。2030年達成目標であるSDGs、2050年CO2実質排出ゼロ、などを見据えたプロジェクトテーマを考案し、1年を掛けてテーマの具体化を進める。 ③チームは、大学等、学年を超えた混成チームとし、各チームには当コンソーシアムからコーディネータを1名割り当て、プロジェクトの遂行をサポートする。コーディネータは各大学等から選出された教員である。 ④年間スケジュールの概略は以下の通りですが、プロジェクトの進め方はコーディネータに一任します。 ⑤科目登録は、登録大学の事情によって、前期・後期に分割されることがある。								
授業日程・スケジュール	4月 オリエンテーション、プロジェクトの進め方 6月 情報収集と整理、ブレインストーミング 10月 アイデアの具象化 2月 成果発表(コンソーシアムの活動として重要な位置づけ) なお、予定は変更されることがある。		5月 (1年生が参加する可能性あり) 7月 中間発表 11～12月 社会実装ほか		8～9月 自主活動 1月 報告書作成				
授業担当教員紹介	URL								
ホームページ・メールアドレス等	E-mail								

科目名	石川未来プロジェクトII			授業形態		開講期間	2026年5月中旬～2027年2月末		
	英文科目名	Project to think about futrue of Ishikawa II		①対面授業 ②オンライン授業		開講時間	各検討チームで決定する		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	チーム内での円滑なコミュニケーション能力を必要とする			③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信		開講場所	各検討チームで決定する		
受講定員等	担当教員	山岸 邦彰		単位数	1単位		成績評価 方法・割合	①チーム活動の取組状況(出席を含む) ②成果発表(中間・最終) ③レポート・報告書(中間・最終) ④学習の取組意欲	
	定員数	50名		定員超過時の選考方法等 本プロジェクトに対する抱負が記載された応募資料を見て判断					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:				受講料
科目の内容	①石川の未来を見据えて、今すべきことを提案する科目であり、未来の石川を学生が作る、という壮大なプロジェクトでもある。既存の枠組みやしがらみにとらわれず、学生らの柔軟な発想力とパワーを結集し、1年かけて提案を作成し、石川県庁をはじめ、重要なステークホルダー(利害関係者)に問う、というプロジェクト型の授業である。								
	②このプロジェクトは単年度の『チーム活動』であるが、各チームが取り組むプロジェクトテーマを統括する大きなテーマ(未来テーマ)は3年に1度変更する。2030年達成目標であるSDGs、2050年CO2実質排出ゼロ、などを見据えたプロジェクトテーマを考案し、1年を掛けてテーマの具体化を進める。 ③チームは、大学等、学年を超えた混成チームとし、各チームには当コンソーシアムからコーディネータを1名割り当て、プロジェクトの遂行をサポートする。コーディネータは各大学等から選出された教員である。 ④年間スケジュールの概略は以下の通りですが、プロジェクトの進め方はコーディネータに一任します。 ⑤科目登録は、登録大学の事情によって、前期・後期に分割されることがある。								
授業日程・スケジュール	4月 オリエンテーション、プロジェクトの進め方 6月 情報収集と整理、ブレインストーミング 10月 アイデアの具象化 2月 成果発表(コンソーシアムの活動として重要な位置づけ) なお、予定は変更されることがある。		5月 (1年生が参加する可能性あり) 7月 中間発表 11～12月 社会実装ほか		8～9月 自主活動 1月 報告書作成				
授業担当教員紹介	URL								
ホームページ・メールアドレス等	E-mail								

後期

シティカレッジでの講義

科目名	創造的復興論			授業形態		開講期間	10月～12月を予定		
	英文科目名	Disaster Recovery and Creative Revitalization		①対面授業 ②オンライン授業 ○ ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信 ○		開講時間	オンデマンド型講義のため、開講曜日 時限を指定せずランダムに視聴		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	特になし					開講場所	オンライン		
受講定員等	担当教員	永井 暁行		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	各回のオンデマンドムービーで課される 課題の評価100%	
	定員数 1000名 定員超過時の選考方法等 科目等履修生定員 0名 シティカレッジ聴講生定員 若干名	金沢星稜大学所属生以外から順に抽選							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	10,000円
科目の内容	2024年1月1日能登半島を震源とする震度7の地震は、能登半島をはじめとする石川県内とその周辺地域に甚大な被害をもたらしました。この人知を超える大災害からの復興とともに、本学では、創造的な大学として「能登半島の創造的復興とともにあゆみ」、地域創生に貢献する全学的な取り組みを推進しています。その一環として、「創造的復興論」を開講し、各専門分野の研究者が災害、復興、保障、法律、観光、文化、歴史、教育、労働、身体、情報など多角的な視点から能登半島の復興を創造的に考えるための授業を行います。社会や文化とともに人間のあり方や捉え方について考え、創造する機会を担保するための復興について考える授業として、本学の地域における誠実にして役に立つための働きを意識させることに資する創造的復興に関する科目を開講します。							<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等)  テキストは使用しない 参考書となる図書、文献 等は授業内で紹介する	
授業日程・ スケジュール	オンデマンド授業なので、各授業回のムービーを順次でもランダムでも視聴できるようにする。								
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/teacher.html">https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/teacher.html</a>							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	thematicstudies1@gmail.com							

	提供機関名	期別	科目分類	講義科目名	単位	担当教員	開講曜日・時限	講義形態
1	金沢大学	前期	キャリア形成 健康・福祉 経済と社会 科学の世界	コーヒーと社会 1	1	原 章規	4月7日～6月2日 火曜日 第3講時 13:00～14:30 金沢大学	対面授業
2	金沢大学	前期	キャリア形成 健康・福祉 総合・学際 経済と社会 科学の世界	コーヒーと科学 1	1	原 章規	6月16日～8月4日 火曜日 第3講時 13:00～14:30 金沢大学	対面授業
3	金沢大学	前期	歴史	ゼミノ漢文史料読解A1	1	安部 聡一郎	4月10日～5月29日 金曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学 総合教育棟	対面授業
4	金沢大学	前期	歴史	ゼミノ漢文史料読解A2	1	安部 聡一郎	6月12日～7月31日 金曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学 総合教育棟	対面授業
5	金沢大学	前期	キャリア形成 経済と社会	実践アントレプレナーシップ学	1	佐々木 淑貴	6月16日～8月4日 火曜日 第2講時 10:30～12:00 金沢大学	対面・オンライン併用
6	金沢大学	前期	法と社会	様相論理入門	2	足立 英彦	4月6日～6月4日 ※4/30(木)は授業なし(水曜扱 いの授業日) 月・木曜日 第1講時 8:45～10:15 金沢大学角間北地区	対面・オンライン併用
7	金沢大学	前期・ 集中講義	科学の世界	海の動物の探索演習 (副題:臨海宿泊演習)	2	木谷 洋一郎	9月7日～9月9日 集中講義 金沢大学環日本海域環境研究 センター臨海実験施設(予定) (石川県鳳珠郡能登町小木4-1)	対面授業
8	金沢大学	前期・ 集中講義	科学の世界	海洋生化学演習 (副題:臨海宿泊演習)	2	鈴木 信雄	5月9日(土)～5月10日(日) 集中講義 金沢大学 角間キャンパス	対面授業
9	金沢大学	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)	1	山村 公恵	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜扱 いの授業日) 水曜日 2限 10:30～12:00(予定) 金沢大学	対面授業
10	金沢大学	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)	1	山村 公恵	6月16日～8月4日 火曜日 5限 16:30～18:00(予定) 金沢大学	対面授業
11	金沢大学	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Interaction)	1	大藪 加奈	4月7日～6月2日 火曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	対面・オンライン併用
12	金沢大学	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Interaction)	1	大藪 加奈	6月11日～8月6日 ※7/16(木)は授業なし(月曜扱 いの授業日) 木曜日 4限 14:45～16:15 金沢大学	対面・オンライン併用
13	金沢大学	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Presentation)	1	J. ラナー	4月7日～6月2日 火曜日 2限 10:30～12:00 金沢大学	対面授業
14	金沢大学	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Presentation)	1	J. ラナー	6月17日～8月5日 水曜日 3限 13:00～14:30 金沢大学	対面授業
15	金沢大学	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)	1	D. ブラウン	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜扱 いの授業日) 水曜日 3限 13:00～14:30 金沢大学	対面授業
16	金沢大学	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)	1	D. ブラウン	6月15日～8月3日 ※7/16(木)は授業あり(月曜扱 いの授業日) 月曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	対面授業
17	金沢大学	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)	1	P. バーマー	4月6日～6月1日 月曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	対面授業

	提供機関名	期別	科目分類	講義科目名	単位	担当教員	開講曜日・時限	講義形態
18	金沢大学	前期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)	1	P. パーマー	6月16日～8月4日 火曜日 2限 10:30～12:00 金沢大学	対面授業
19	金沢大学	前期	キャリア形成	ビジネス・技術マネジメント戦略論	1	青木 真由美	4月8日～6月4日 授業日程欄参照	対面・オンライン併用
20	金沢大学	前期	言語と文化	ドイツ語展開Ⅰ (コミュニケーション中心)	1	コンスタンティン・ プレット	4月6日～6月1日 月曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学角間キャンパス総合教育棟	対面授業
21	金沢大学	前期	言語と文化	ドイツ語展開Ⅰ (文法・読解中心)	1	早川 文人	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜扱 いの授業日) 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学角間キャンパス総合教育棟	対面授業
22	金沢大学	前期	言語と文化	ドイツ語展開Ⅱ (コミュニケーション中心)	1	コンスタンティン・ プレット	6月15日～8月3日 ※7/16(木)は授業あり(月曜扱 いの授業日) 月曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学角間キャンパス総合教育棟	対面授業
23	金沢大学	前期	言語と文化	ドイツ語展開Ⅱ (文法・読解中心)	1	早川 文人	6月17日～8月5日 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学角間キャンパス総合教育棟	対面授業
24	金沢大学	前期	言語と文化	中国語展開Ⅰ	1	比護 遥	4月6日～6月1日 月曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	対面授業
25	金沢大学	前期	言語と文化	中国語展開Ⅰ	1	趙 菁	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜扱 いの授業日) 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	対面授業
26	金沢大学	前期	言語と文化	中国語展開Ⅱ	1	比護 遥	6月15日～8月3日 ※7/16(木)は授業あり(月曜扱 いの授業日) 月曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	対面授業
27	金沢大学	前期	言語と文化	中国語展開Ⅱ	1	趙 菁	6月17日～8月5日 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	対面授業
28	金沢大学	前期	言語と文化	中級フランス語Ⅰ	1	佐藤 朋子	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜扱 いの授業日) 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	対面・オンライン併用
29	金沢大学	前期	言語と文化	中級フランス語Ⅱ	1	佐藤 朋子	6月17日～8月5日 水曜日 第5講時 16:30～18:00 金沢大学で確認	対面・オンライン併用
30	金沢大学	前期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	4月7日～6月2日(予定) 火曜日 1限目 8:45～10:15(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
31	金沢大学	前期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	4月6日～6月1日(予定) 月曜日 5限目 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
32	金沢大学	前期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	4月8日～6月3日(予定) 水曜日 5限目 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
33	金沢大学	前期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	6月17日～8月5日 水曜日 1限目 8:45～10:15 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
34	金沢大学	前期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	6月17日～8月5日(予定) 水曜日 5限目 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
35	金沢大学	前期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	佐藤 文彦	4月9日～6月4日(予定) 木曜日 第3講時 13:00～14:30(予定) 金沢大学総合教育講義棟	対面授業

	提供機関名	期別	科目分類	講義科目名	単位	担当教員	開講曜日・時限	講義形態
36	金沢大学	前期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	杉山 欣也	4月6日～6月1日(予定) 月曜日 第2講時 10:30～12:00(予定) 金沢大学総合教育講義棟	対面授業
37	金沢大学	前期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	杉山 欣也	6月15日～8月3日(予定) 月曜日 第2講時 10:30～12:00(予定) 金沢大学総合教育講義棟	対面授業
38	金沢大学	前期	環境 科学の世界	地球生物圏と人間	1	佐藤 圭	6月15日～8月3日(予定) 月曜日 第5講時 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
39	金沢大学	前期	総合・学際	防災学入門	2	青木 賢人	9月14日(月)～9月17日(木) 集中講義 金沢大学	対面授業
40	石川県立大学	前期・ 集中講義	キャリア形成 地域学いしかわ 石川における最先端	能登復興学実践論 一人と繋がり、未来を共創するー	2	山下 良平	4月13日(月)～7月31日(金) 17:30～19:00 石川県立大学に確認	対面・オンライン併用
41	石川県立大学	前期・ 集中講義	科学の世界	バイオ研究の最前線	2	弘中 満太郎	8月24日～8月27日 第1～4講時 9:00～16:10 石川県立大学内講義室及び実験室 (当日案内)	対面授業
42	金沢美術工芸大学	前期	人文・芸術	博物館資料保存論	2	渋谷 拓	4月9日～7月30日(予定) 金曜日 9:10限 16:00～17:25(予定) 金沢美術工芸大学 202講義室(予定)	対面授業
43	金沢工業大学	前期	科学の世界	麹・発酵食品の歴史と科学	2	相良 純一	4月14日(火)～7月28日(火) 火曜日 第5時限 17:05～18:45 金沢工業大学扇が丘キャンパス (教室は大学へ要確認)	対面授業
44	金沢学院大学	前期	情報	コンピュータの構成	2	高木 直史	金沢学院大学で確認	対面授業
45	金沢学院大学	前期	健康・福祉	健康科学	2	藤原 勝夫	金沢学院大学で確認	対面授業
46	金沢学院大学	前期	国際社会	国際理解教育概論	2	多田 孝志	金沢学院大学で確認	対面授業
47	金沢学院大学	前期	経済と社会	地域経済論 I	2	三輪 篤生	金沢学院大学で確認	対面・オンライン併用
48	金沢学院大学	前期	心理	心理学概論A	2	中崎 崇志	金沢学院大学で確認	対面授業
49	金沢学院大学	前期	心理	心理学概論B	2	前川 浩子	金沢学院大学で確認	対面授業
50	金沢学院大学	前期	言語と文化	日本語文法 I	2	寺田 智美	金沢学院大学で確認	対面授業
51	金沢学院大学	前期	人文・芸術	色彩学	2	広根 礼子	金沢学院大学で確認	金沢学院大学で確認
52	金沢学院短期大学	前期	総合・学際	観光概論	2	村上 智	金沢学院短期大学で確認	対面授業

	提供機関名	期別	科目分類	講義科目名	単位	担当教員	開講曜日・時限	講義形態
1	金沢大学	後期	キャリア形成 健康・福祉 経済と社会 科学の世界	コーヒーと社会2	1	原 章規	10月 6日～12月1日 火曜日 第3講時 13:00～14:30 金沢大学	対面授業
2	金沢大学	後期	キャリア形成 健康・福祉 総合・学際 経済と社会 科学の世界	コーヒーと科学2	1	原 章規	12月15日～2月9日 火曜日 第3講時 13:00～14:30 金沢大学	対面授業
3	金沢大学	後期	歴史	ゼミノ漢文史料読解B1	1	安部 聡一郎	10月2日～11月27日 ※11/6(金)は休講 金曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学 総合教育棟	対面授業
4	金沢大学	後期	歴史	ゼミノ漢文史料読解B2	1	安部 聡一郎	12月11日～2月5日 ※1/13(水)は授業あり(金曜扱 いの授業日)、1/15(金)は休講 金曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学 総合教育棟	対面授業
5	金沢大学	後期	総合・学際	フューチャー・デザイン ー未来から現代への提案ー	1	木村 岳裕	12月15日～2月9日 火曜日 3限 13:00～14:30 金沢大学総合教育棟	対面授業
6	金沢大学	後期	キャリア形成	地域協創のアンテナ	1	佐川 哲也	10月2日～11月27日 ※11/6(金)は休講日 金曜日 第2講時 10:30～12:00 金沢大学総合教育棟 講義室	対面・オンライン併用
7	金沢大学	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)	1	山村 公恵	10月5日～11月30日 ※11/9(月)は休講、10/15(木)・ 11/11(水)は授業あり(月曜扱い の授業日) 月曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	対面授業
8	金沢大学	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)	1	山村 公恵	12月9日～2月10日 ※1/13(水)は授業なし(金曜扱 いの授業日) 水曜日 2限 10:30～12:00 金沢大学	対面授業
9	金沢大学	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Interaction)	1	大藪 加奈	10月6日～12月1日 火曜日 3限 13:00～14:30 金沢大学	対面・オンライン併用
10	金沢大学	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Interaction)	1	大藪 加奈	12月14日～2月8日 月曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	対面・オンライン併用
11	金沢大学	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Presentation)	1	J. ラナー	10月1日～11月26日 ※10/15(木)は授業なし(月曜扱 いの授業日) 木曜日 4限 14:45～16:15 金沢大学	対面授業
12	金沢大学	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Presentation)	1	J. ラナー	12月15日～2月9日 火曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	対面授業
13	金沢大学	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)	1	D. ブラウン	10月6日～12月1日 火曜日 5限 16:30～18:00 金沢大学	対面授業
14	金沢大学	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)	1	D. ブラウン	12月10日～2月4日 木曜日 4限 14:45～16:15 金沢大学	対面授業
15	金沢大学	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)	1	P. パーマー	10月7日～12月2日 ※11/11(水)は授業なし(月曜扱 いの授業日) 水曜日 2限 10:30～12:00 金沢大学	対面授業
16	金沢大学	後期	言語と文化	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)	1	P. パーマー	12月15日～2月9日 火曜日 3限 13:00～14:30 金沢大学	対面授業

	提供機関名	期別	科目分類	講義科目名	単位	担当教員	開講曜日・時限	講義形態
17	金沢大学	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	10月6日～12月1日(予定) 火曜日 5限目 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
18	金沢大学	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	10月7日～12月2日(予定) 水曜日 5限目 16:30～18:00(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
19	金沢大学	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	10月1日～11月26日(予定) 木曜日 1限目 8:45～10:15(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
20	金沢大学	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	12月11日～2月5日(予定) 金曜日 1限目 8:45～10:15(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
21	金沢大学	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	12月11日～2月5日 (1月13日(水)金曜振替のため授業あり) 金曜日 3限目 13:00～14:30 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
22	金沢大学	後期	国際社会	グローバル時代の国際協力	1	渡辺 敦子	12月10日～2月4日(予定) 木曜日 1限目 8:45～10:15(予定) 金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)	対面授業
23	金沢大学	後期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	佐藤 文彦	10月2日～11月27日(予定) 金曜日 第3講時 13:00～14:30(予定) 金沢大学総合教育講義棟	対面授業
24	金沢大学	後期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	杉山 欣也	10月5日～11月30日(予定) 月曜日 第2講時 10:30～12:00(予定) 金沢大学総合教育講義棟	対面授業
25	金沢大学	後期	人文・芸術	グローバル時代の文学	1	杉山 欣也	12月14日～2月8日(予定) 月曜日 第2講時 10:30～12:00(予定) 金沢大学総合教育講義棟	対面授業
26	北陸先端科学技術大学院大学	後期	科学の世界	ナノバイオテクノロジー論(実習付)	2	芳坂 貴弘	10月13日～12月1日 火曜日 第4～5講時 15:20～18:50 北陸先端科学技術大学院大学	対面授業
27	金沢美術工芸大学	後期	心理	デザイン心理学	2	荷方 邦夫	2026年10月1日～2027年2月1日(予定) 月曜日 7-8限 14:25～15:50(予定) 金沢美術工芸大学 201講義室(予定)	対面授業
28	金沢美術工芸大学	後期	言語と文化	人間と文化	2	高橋 明彦	2026年10月1日～2027年2月1日(予定) 金曜日 9・10限 16:00～17:25(予定) 金沢美術工芸大学 301講義室(予定)	対面授業
29	金沢工業大学	後期・ 集中講義	健康・福祉 総合・学際 科学の世界	バイオと機械と医療の融合： 初学者のための再生医療工学	1	中村 真人	金沢工業大学で確認 金曜日 第5時限 17:05～18:45 金沢工業大学 扇が丘キャンパス	対面授業
30	金沢学院大学	後期・ 集中講義	人文・芸術	地域芸術	2	飯田 栄治	金沢学院大学で確認	対面授業
31	金沢学院大学	後期	心理	学習・言語心理学	2	中崎 崇志	金沢学院大学で確認	対面授業
32	金沢学院大学	後期	言語と文化	漢文学講読 II	2	齋藤 慎一郎	金沢学院大学で確認	対面授業
33	金沢学院大学	後期	心理	発達心理学	2	前川 浩子	金沢学院大学で確認	対面授業
34	金沢学院大学	後期	人文・芸術	絵画演習(模写から学ぶ鉛筆デッサン)	2	末松 智	金沢学院大学で確認	対面授業
35	金城大学短期大学部	後期	地域学いしかわ	地域文化	1	若月 博延	9月28日～1月28日 金城大学短期大学部で確認	対面授業

科目名	コーヒーと社会 1			授業形態	開講期間	4月7日～6月2日	
	英文科目名	Coffee and Society1				開講時間	火曜日 第3講時 13:00～14:30
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	なし (講義は日本語で行う)			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学
受講定員等	担当教員	原 章規	単位数			1単位	成績評価 方法・割合
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		
			教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	<p>コーヒーに関連する世界と国内の歴史・文化・経済などについて、外部講師も招へいた授業を行い、コーヒーの社会的な位置づけを学ぶことで人間性を養成するとともに、関連ビジネスの現状を知ること、キャリア形成にも役立つ内容を含んだ講義形式の授業である。</p>						<p><b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等)</p> <p>なるほどコーヒー学 (金沢大学コーヒー学研究会)</p> <p>コーヒーの香味発生の主要な原因と官能評価用語 (圓尾 修三, 広瀬 幸雄)</p> <p>コーヒー学入門 (広瀬 幸雄, 圓尾 修三, 星田 宏司)</p>
授業日程・スケジュール	全8回						
授業担当教員紹介	URL						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			hara-akinori@med.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	コーヒーと科学 1			授業形態	開講期間	6月16日～8月4日	
	英文科目名	Coffee and Science1				開講時間	火曜日 第3講時 13:00～14:30
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	なし (講義は日本語で行う)			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学
受講定員等	担当教員	原 章規	単位数			1単位	成績評価 方法・割合
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		
			教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	<p>コーヒーという食品および含有成分にも着目したコーヒーの化学的側面ならびにからだへの様々な響について外部講師も招へいた授業を行い、コーヒー成分の科学的な位置づけと健康への影響を学ぶとともに、コーヒーに関連する健康産業の現状を知ることによってキャリア形成にも役立つ内容を含んだ講義形式の授業である。</p>						<p><b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等)</p> <p>なるほどコーヒー学 (金沢大学コーヒー学研究会)</p> <p>コーヒーの香味発生の主要な原因と官能評価用語 (圓尾 修三, 広瀬 幸雄)</p> <p>コーヒー学入門 (広瀬 幸雄, 圓尾 修三, 星田 宏司)</p>
授業日程・スケジュール	全8回						
授業担当教員紹介	URL						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			hara-akinori@med.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	ゼミ／漢文史料読解A1			授業形態	開講期間	4月10日～5月29日		
	英文科目名	Semi/Reading of Historical Materials Written in Chinese A1		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	金曜日 5限 16:30～18:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	金沢大学 総合教育棟		
受講定員等	担当教員	安部 聡一郎・古畑 徹		単位数	1単位			
	定員数	30名 定員超過時の選考方法等 未定		特別聴講学生等定員	若干名			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用
科目の内容	このゼミでは、生の史料を読み、その中からどのように史実を読み取るかを体験学習してもらう。読むのは、中国古代のことを書いた漢文史料であり、漢文講読の形で授業を進めたい。ただし、高校における漢文教育は現在レベル低下の一途をたどっており、最も基礎となる漢和辞典の引き方さえきちんと教えていないのが現状である。それゆえ、漢和辞典等の工具書の扱い方の初歩や漢文の基礎から始めていく。そしてこれらを通して歴史学への理解を深めるだけでなく、漢字に対する鋭敏な感覚や現代社会を見通す目を養っていきたい。							<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等) テキストは、『通鑑紀事本末』巻40の「馬氏據湖南」を使用予定。唐末・五代十国の混乱期に現在の湖南省一帯に自立した楚の興亡をめぐる史料である。プリントにして配布する。 史料読解のため、漢和辞典(中辞典レベル)を必ず授業に持参すること。
授業日程・スケジュール	第1回 ガイダンス 第2回 スクリーニング・テスト(現時点での漢文読解力を確認する) 第3～8回 史料読解演習							
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	soichiro@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	ゼミ／漢文史料読解A2			授業形態	開講期間	6月12日～7月31日		
	英文科目名	Semi/Reading of Historical Materials Written in Chinese A2		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	金曜日 5限 16:30～18:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	金沢大学 総合教育棟		
受講定員等	担当教員	安部 聡一郎・古畑 徹		単位数	1単位			
	定員数	30名 定員超過時の選考方法等 未定		特別聴講学生等定員	若干名			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用
科目の内容	このゼミでは、生の史料を読み、その中からどのように史実を読み取るかを体験学習してもらう。読むのは、中国古代のことを書いた漢文史料であり、漢文講読の形で授業を進めたい。ただし、高校における漢文教育は現在レベル低下の一途をたどっており、最も基礎となる漢和辞典の引き方さえきちんと教えていないのが現状である。それゆえ、漢和辞典等の工具書の扱い方の初歩や漢文の基礎から始めていく。そしてこれらを通して歴史学への理解を深めるだけでなく、漢字に対する鋭敏な感覚や現代社会を見通す目を養っていきたい。							<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等) テキストは、『通鑑紀事本末』巻40の「馬氏據湖南」を使用予定。唐末・五代十国の混乱期に現在の湖南省一帯に自立した楚の興亡をめぐる史料である。プリントにして配布する。 史料読解のため、漢和辞典(中辞典レベル)を必ず授業に持参すること。
授業日程・スケジュール	第1回 ガイダンス 第2回 スクリーニング・テスト(現時点での漢文読解力を確認する) 第3～8回 史料読解演習							
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	soichiro@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	実践アントレプレナーシップ学			授業形態		開講期間	6月16日～8月4日		
	英文科目名	Practical Entrepreneurship		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	火曜日 第2講時 10:30～12:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	ビジネススペースの日本語の理解ができること					開講場所	金沢大学		
受講定員等	担当教員	佐々木 淑貴 外部講師数名(未定)		単位数	1単位		成績評価 方法・割合	授業には、3分の2以上の出席を必要とする。 レポート：40%、 授業への積極性・貢献度：60%	
	定員数	50名 定員超過時の選考方法等 書類選考		特別聴講学生等定員	若干名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>本講義は広義のアントレプレナーシップを対象として、起業家教育に加え、社会課題の発見・解決能力育成を含むものと定義している。</li> <li>本学教員や経営者等の外部講師による講義を通じ、「ビジネス起業」を主な教材として、課題発見能力の醸成、課題の深掘り、アイディエーション、課題解決手法等などについて理解することを学習目標とする。</li> <li>講師による一方向の聴講形式ではなく、講師と聴講生がインタラクティブに行う講義形式として、チームによるワークショップやプレゼンなども行う予定。</li> <li>今後の外部講師の選定により、講義内容を柔軟に変更する可能性あり。</li> </ul>								
	授業日程・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義は全8回を予定</li> <li>本学教員によるベースとなる講義は、課題発見、課題の深掘り、アイディエーション等によるワークショップを予定。</li> <li>外部講師は、起業家、ベンチャーキャピタリスト、行政職員等を想定している。</li> </ul>							
授業担当教員紹介				URL	<a href="https://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/about/staff/">https://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/about/staff/</a>				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	innov-fssi@ml.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	様相論理入門			授業形態		開講期間	4月6日～6月4日 ※4/30(木)は授業なし(水曜扱いの授業日)		
	英文科目名	Introduction to Modal Logics		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ○		開講時間	月・木曜日 第1講時 8:45～10:15		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	金沢大学角間北地区		
受講定員等	担当教員	足立 英彦		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	期末試験により評価する。	
	定員数	特に定めない 定員超過時の選考方法等 未定		特別聴講学生等定員	若干名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	<p>いくつかの前提から一つの結論を導くことを推論と呼びますが、論理学は「何が正しい推論と言えるのか」を明らかにしようとする試みです。その中でも様相論理学は推論の前提や結論に「・・・であることは必然的だ」「・・・であることは可能だ」といった様相表現を含んでいる推論を研究対象とします。この授業では最初にすべての論理学の基礎である命題論理学と述語論理学を概観し、その後に様相論理学の初歩的内容について説明をします。「論理的」とはどのようなことを意味するのかについて関心を持つすべての方の履修を歓迎します。</p>								
	授業日程・スケジュール	週2回、合計15回+期末試験							
授業担当教員紹介				URL	<a href="https://law-kanazawa.info/">https://law-kanazawa.info/</a>				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	hadachi@staff.kanazawa-u.ac.jp				
科目の内容	<p>他の特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>教科書：大西琢朗『論理学』(昭和堂、2021年)</p> <p>授業にはオンラインでも参加できますが、期末試験(6月4日の予定)は金沢大学で行います。</p>								

科目名	海の動物の探索演習（副題：臨海宿泊演習）			授業形態	開講期間	9月7日～9月9日	
	英文科目名	A marine exercise in Noto Peninsula		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	集中講義	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設（予定）(石川県鳳珠郡能登町小木4-1)	
受講定員等	担当教員	木谷 洋一郎・鈴木 信雄・ 関口 俊男		単位数	2単位		成績評価 方法・割合
	定員数	14(学内8)名 学内(8名)は抽選、学外は6名以内(1つの大学に付き3名以内、受け付け順) 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名				提出物(70%)、参加態度(30%)	
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料
科目の内容	能登半島に棲息する海の動物について、実際に海に入り棲息環境を体感することや生物を採取すること、それを手で触れたりよく観察することによって、これまで教科書で得た知識を生きた知識に変える。本講義でははじめに海洋生物の分類学の基礎知識を講義する。その後、近くの海岸へ行き採集を始める。採取した動物を受講者自らが図鑑等により分類し、種の同定をする。それらの微細な特徴を観察しスケッチすることで、観察眼を養う。また、所属施設の実習船を使用してプランクトンを採集し、これを分類・観察する。乗船時には、簡単な海洋観測も行う。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
授業日程・ スケジュール	2026年9月7日～9月9日(2泊3日)で開講予定						2026年9月7日は、金沢駅にマイクロスバスで迎えに行きます。帰路は北陸鉄道バスを利用して、金沢に戻ってください。後日、詳細(実習時の服装など)は受講者にお知らせします。ウェットスーツの下に着用する水着、宿泊に必要なもの(パジャマ・洗面用具等)を用意すること。 【重要】海に入り生物を採取するため、健康診断書と当施設が作成した健康申請書を提出していただきます。施設の復旧状況によっては金沢市角間キャンパスでの開講に変更となる可能性があります。
授業担当教員紹介	URL			http://rinkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/			
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			yki@se.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	海洋生化学演習（副題：臨海宿泊演習）			授業形態	開講期間	5月9日(土)～5月10日(日)	
	英文科目名	Marine Biochemistry		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	集中講義	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	金沢大学 角間キャンパス	
受講定員等	担当教員	鈴木 信雄・関口 俊男・ 木谷 洋一郎		単位数	2単位		成績評価 方法・割合
	定員数	20(学内14名)名 学内(14名)は抽選、学外は6名以内(1つの大学に付き3名以内、受け付け順) 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名				演習の理解度と熱心さ(40%)及びレポート(60%)で判定する。	
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料
科目の内容	タンパク質と遺伝子レベルの両面から一連の実験を行うには、時間を要する。そこで、臨海実験施設に宿泊し、一連の生化学実験を行う。実習では、食品をテーマにして、海藻を用いた薄層クロマトグラフィー、食品タンパク質の電気泳動、魚類あるいは海産動物からのDNAの抽出及びPCR法による遺伝子の増幅を行う。さらに実験の待ち時間等に、実験の応用例として教員の研究を紹介し、実験の面白さも体感させる。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
授業日程・ スケジュール	5月9日海藻からの色素抽出、タンパク質の電気泳動、PCR法による遺伝子の増幅；5月10日食品生化学						震災により、能登での開催は難しく、角間キャンパスで開催することになりました。
授業担当教員紹介	URL			http://rinkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/			
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)			授業形態	開講期間	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜日の授業日)		
	英文科目名	English Academic Literacy (English for STEM)				開講時間	水曜日 2限 10:30～12:00 (予定)	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学	
受講定員等	担当教員	山村 公恵				単位数	1単位	
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 3名				成績評価方法・割合	授業貢献 30% 授業課題 30% 期末試験 40%(最終プレゼンテーション)		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では環境問題に対する知識を深めながら、自分の意見を英語で表現する技術を学びます。また、また実際に道具やジェスチャーを使いながら説明したり、他の受講生やTAと英語で対話する練習を行います。それらをとおして、大学院に進学した際に研究活動に必要な英語のスキルを学びます。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>『Active English for Science: 英語で科学するレポート、論文、プレゼンテーション』 東京大学教養学部ALESSプログラム編 (東京大学出版会, 2012) ISBN: 978-4130821315</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <p>第一回 ガイダンス 第二回 Climates changes the world (海外の事例1 オーストラリア) 第三回 Climates changes the world (海外の事例2 アメリカ) 第四回 Climates changes the world (海外の事例3 ブラジル) 第五回 Climates changes the world (海外の事例3 ブラジル) 第六回 Presentation準備 第七回 期末発表; Q&amp;Aの練習 第八回 総括、Interactive Discussion</p>						
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	kyamamura@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)			授業形態	開講期間	6月16日～8月4日		
	英文科目名	English Academic Literacy (English for STEM)				開講時間	火曜日 5限 16:30～18:00 (予定)	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学	
受講定員等	担当教員	山村 公恵				単位数	1単位	
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 3名				成績評価方法・割合	授業貢献 30% 授業課題 30% 期末試験 40%(最終プレゼンテーション)		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では環境問題に対する知識を深めながら、自分の意見を英語で表現する技術を学びます。また、また実際に道具やジェスチャーを使いながら説明したり、他の受講生やTAと英語で対話する練習を行います。それらをとおして、大学院に進学した際に研究活動に必要な英語のスキルを学びます。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>『Active English for Science: 英語で科学するレポート、論文、プレゼンテーション』 東京大学教養学部ALESSプログラム編(東京大学出版会, 2012) ISBN: 978-4130821315</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <p>第一回 ガイダンス 第二回 Climates changes the world (海外の事例1 オーストラリア) 第三回 Climates changes the world (海外の事例2 アメリカ) 第四回 Climates changes the world (海外の事例2 アメリカ) 第五回 Climates changes the world (海外の事例3 ブラジル) 第六回 Presentation準備 第七回 期末発表; Q&amp;Aの練習 第八回 総括、Interactive Discussion</p>						
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	kyamamura@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	英語学術リテラシー科目 (Interaction)		授業形態		開講期間	4月7日～6月2日			
	英文科目名	English Academic Literacy (Interaction)	①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	火曜日 5限 16:30～18:00			
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上				開講場所	金沢大学			
受講定員等	担当教員	大藪 加奈	単位数	1単位	成績評価方法・割合	授業貢献・宿題 30% 中間評価 (リスニングテスト) 20% 期末評価 (合同授業での発表) 20% 期末試験 30% (最終プレゼンテーション)			
	定員数	20名	定員超過時の選考方法等	特別聴講学生は受け付け順					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)		
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、英語トークやレクチャーの内容等を聞いて理解する練習や、理解できない時に質問するなどの対応策について学ぶ。授業後半では多様な学生との人間関係構築や共同作業遂行ができるようになることを目指す。</p>						<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>Expanding Horizons Charles Browne 田邊祐司 南雲堂、2022年</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協力的授業態度が必要です。</p>		
	授業日程・スケジュール	各週で扱うトピック 第一回 ガイダンス リサイクル品 (環境・ライフスタイル) 第二回 ゴミ収集活動 (環境・社会) 第三回 ツタンカーメンの埋蔵品 (歴史・研究) 第四回 光を届ける (科学・ビジネス) *各週のトピックは変更する可能性があります			第二回 教科書や評価がない自由な学校 (教育・社会) 第四回 デイベート (教育・論理) 第六回 「空の河」 (環境) 第八回 最終プレゼンテーション				
授業担当教員紹介		URL		E-mail			oyabu@staff.kanazawa-u.ac.jp		
ホームページ・メールアドレス等		URL		E-mail			oyabu@staff.kanazawa-u.ac.jp		

科目名	英語学術リテラシー科目 (Interaction)		授業形態		開講期間	6月11日～8月6日 ※7/16 (木) は授業なし (月曜日の授業日)			
	英文科目名	English Academic Literacy (Interaction)	①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	木曜日 4限 14:45～16:15			
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上				開講場所	金沢大学			
受講定員等	担当教員	大藪 加奈	単位数	1単位	成績評価方法・割合	授業貢献・宿題 30% 中間評価 (リスニングテスト) 20% 期末評価 (合同授業での発表) 20% 期末試験 30% (最終プレゼンテーション)			
	定員数	20名	定員超過時の選考方法等	特別聴講学生は受け付け順					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)		
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、英語トークやレクチャーの内容等を聞いて理解する練習や、理解できない時に質問するなどの対応策について学ぶ。授業後半では多様な学生との人間関係構築や共同作業遂行ができるようになることを目指す。</p>						<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>Expanding Horizons Charles Browne 田邊祐司 南雲堂、2022年</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協力的授業態度が必要です。</p>		
	授業日程・スケジュール	各週で扱うトピック 第一回 ガイダンス リサイクル品 (環境・ライフスタイル) 第二回 ゴミ収集活動 (環境・社会) 第三回 ツタンカーメンの埋蔵品 (歴史・研究) 第四回 光を届ける (科学・ビジネス) *各週のトピックは変更する可能性があります			第二回 教科書や評価がない自由な学校 (教育・社会) 第四回 デイベート (教育・論理) 第六回 「空の河」 (環境) 第八回 最終プレゼンテーション				
授業担当教員紹介		URL		E-mail			oyabu@staff.kanazawa-u.ac.jp		
ホームページ・メールアドレス等		URL		E-mail			oyabu@staff.kanazawa-u.ac.jp		

科目名	英語学術リテラシー科目 (Presentation)		授業形態		開講期間	4月7日～6月2日	
	英文科目名	English Academic Literacy (Presentation)	①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	火曜日 2限 10:30～12:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上				開講場所	金沢大学	
受講定員等	担当教員	J.ラナー	単位数	1単位	成績評価 方法・割合	30% 授業への参加度 20% 宿題 20% 中間課題 (説得型プレゼンの録画: 2-3分) 30% 期末プレゼンテーション (他の人の研究内容を引用、まとめ、～3分で紹介・説明する)	
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 3名						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、サイエンス・コミュニケーションとしての効果的な発表のしかたやプレゼンテーションの組立てを学ぶ。毎週英語による口頭練習の時間を十分取り、自信を持って簡単な英語発表ができるようになることを目指す。</p>						<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>『新・英語でプレゼンテーション Power Presentation (New Edition)』 JACET関西支部教材開発研究会 著 (三修社, 2024年) ISBN:4384335326</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <p>第一回 ガイダンス、プレゼンテーションの構成 第二回 効果的なプレゼンテーション、ビジュアル資料 第三回 プレゼンテーションの分析と評価、非言語的コミュニケーション、研究紹介 第四回 プレゼンテーションの練習と質疑応答練習、ピア・フィードバック *毎週のトピックは変更する場合があります。</p> <p>第二回 様々なプレゼンテーション・スタイル 第四回 中間課題の提出、話し方の作法とThree-Minute Thesis 第六回 視聴者との関係構築、練習方法 第八回 総括と期末プレゼンテーション</p>					
授業担当教員紹介		URL					
ホームページ・メールアドレス等		E-mail		jwrunner@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	英語学術リテラシー科目 (Presentation)		授業形態		開講期間	6月17日～8月5日	
	英文科目名	English Academic Literacy (Presentation)	①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	水曜日 3限 13:00～14:30	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上				開講場所	金沢大学	
受講定員等	担当教員	J.ラナー	単位数	1単位	成績評価 方法・割合	30% 授業への参加度 20% 宿題 20% 中間課題 (説得型プレゼンの録画: 2-3分) 30% 期末プレゼンテーション (他の人の研究内容を引用、まとめ、～3分で紹介・説明する)	
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 3名						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、サイエンス・コミュニケーションとしての効果的な発表のしかたやプレゼンテーションの組立てを学ぶ。毎週英語による口頭練習の時間を十分取り、自信を持って簡単な英語発表ができるようになることを目指す。</p>						<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>『新・英語でプレゼンテーション Power Presentation (New Edition)』 JACET関西支部教材開発研究会 著 (三修社, 2024年) ISBN:4384335326</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <p>第一回 ガイダンス、プレゼンテーションの構成 第二回 効果的なプレゼンテーション、ビジュアル資料 第三回 プレゼンテーションの分析と評価、非言語的コミュニケーション、研究紹介 第四回 プレゼンテーションの練習と質疑応答練習、ピア・フィードバック *毎週のトピックは変更する場合があります。</p> <p>第二回 様々なプレゼンテーション・スタイル 第四回 中間課題の提出、話し方の作法とThree-Minute Thesis 第六回 視聴者との関係構築、練習方法 第八回 総括と期末プレゼンテーション</p>					
授業担当教員紹介		URL					
ホームページ・メールアドレス等		E-mail		jwrunner@staff.kanazawa-u.ac.jp			

提供機関：金沢大学

科目名	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)			授業形態		開講期間	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜扱いの授業日)	
	英文科目名	English Academic Literacy (Reading & Discussion)		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	水曜日 3限 13:00～14:30	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上					開講場所	金沢大学	
受講定員等	担当教員	D.ブラウン		単位数	1単位		成績評価 方法・割合	30% 授業貢献 (授業中の発表やディス カッションを含む) 30% 宿題 40% 期末試験
	定員数	20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、読解力を養成するための教科書を使い、いろいろな研究分野に関する文章を読み、目的に合わせて多様な読み方を選択・実践し、読んだ内容を英語でディスカッションする練習を行う。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>
	授業日程・ スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <p>第一回 ガイダンス、読解方策入門 第二回 学術的テキストと非学術的テキストの比較 第三回 文献の引用方法の理解  第四回 文献の信頼性の評価 第五回 文献への応答方法 第六回 “対話”の理解  第七回 総括 第八回 期末評価</p> <p>*毎週のトピックは変更する場合があります。</p>						
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		dbrown@staff.kanazawa-u.ac.jp		

提供機関：金沢大学

科目名	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)			授業形態		開講期間	6月15日～8月3日 ※7/16(木)は授業あり(月曜扱いの授業日)	
	英文科目名	English Academic Literacy (Reading & Discussion)		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	月曜日 5限 16:30～18:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上					開講場所	金沢大学	
受講定員等	担当教員	D.ブラウン		単位数	1単位		成績評価 方法・割合	30% 授業貢献 (授業中の発表やディス カッションを含む) 30% 宿題 40% 期末試験
	定員数	20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、読解力を養成するための教科書を使い、いろいろな研究分野に関する文章を読み、目的に合わせて多様な読み方を選択・実践し、読んだ内容を英語でディスカッションする練習を行う。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>
	授業日程・ スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <p>第一回 ガイダンス、読解方策入門 第二回 学術的テキストと非学術的テキストの比較 第三回 文献の引用方法の理解  第四回 文献の信頼性の評価 第五回 文献への応答方法 第六回 “対話”の理解  第七回 総括 第八回 期末評価</p> <p>*毎週のトピックは変更する場合があります。</p>						
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		dbrown@staff.kanazawa-u.ac.jp		

前期

機関講義

科目名	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)			授業形態	開講期間	4月6日～6月1日																			
	英文科目名	English Academic Literacy (Science and Society)		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	月曜日 5限 16:30～18:00																			
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上				開講場所	金沢大学																			
受講定員等	担当教員	P.パーマー		単位数	1単位																				
	定員数	20名		定員超過時の選考方法等	特別聴講学生は受け付け順																				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)																	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認																				
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	受講料																
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、SDGsを題材にした教科書を使い、SDGsにかかわる文章を読み、その内容を理解した上で積極的に未来の社会に関するディスカッションおよびプレゼンテーションの仕方を練習する。</p>						<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>『Our World Tomorrow: How Technology will Change Our Lives』 Adam Murray &amp; Anderson Passos著 (南雲堂, 2024) ISBN:9784523179610</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>																		
授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <table border="0"> <tr> <td>第一回</td> <td>ガイダンス、Good Health</td> <td>第二回</td> <td>Breaking the Poverty Cycle</td> <td>第三回</td> <td>Clean Water</td> </tr> <tr> <td>第四回</td> <td>Zero Hunger</td> <td>第五回</td> <td>Sustainable Infrastructure</td> <td>第六回</td> <td>Clean Energy</td> </tr> <tr> <td>第七回</td> <td>最終発表と質疑応答</td> <td>第八回</td> <td>期末試験</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>*各週のトピックは変更する場合があります</p>							第一回	ガイダンス、Good Health	第二回	Breaking the Poverty Cycle	第三回	Clean Water	第四回	Zero Hunger	第五回	Sustainable Infrastructure	第六回	Clean Energy	第七回	最終発表と質疑応答	第八回	期末試験		
第一回	ガイダンス、Good Health	第二回	Breaking the Poverty Cycle	第三回	Clean Water																				
第四回	Zero Hunger	第五回	Sustainable Infrastructure	第六回	Clean Energy																				
第七回	最終発表と質疑応答	第八回	期末試験																						
授業担当教員紹介	URL																								
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			palmer@staff.kanazawa-u.ac.jp																					

科目名	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)			授業形態	開講期間	6月16日～8月4日																			
	英文科目名	English Academic Literacy (Science and Society)		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	火曜日 2限 10:30～12:00																			
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上				開講場所	金沢大学																			
受講定員等	担当教員	P.パーマー		単位数	1単位																				
	定員数	20名		定員超過時の選考方法等	特別聴講学生は受け付け順																				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)																	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認																				
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	受講料																
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、SDGsを題材にした教科書を使い、SDGsにかかわる文章を読み、その内容を理解した上で積極的に未来の社会に関するディスカッションおよびプレゼンテーションの仕方を練習する。</p>						<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>『Our World Tomorrow: How Technology will Change Our Lives』 Adam Murray &amp; Anderson Passos著 (南雲堂, 2024) ISBN:9784523179610</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>																		
授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <table border="0"> <tr> <td>第一回</td> <td>ガイダンス、Good Health</td> <td>第二回</td> <td>Breaking the Poverty Cycle</td> <td>第三回</td> <td>Clean Water</td> </tr> <tr> <td>第四回</td> <td>Zero Hunger</td> <td>第五回</td> <td>Sustainable Infrastructure</td> <td>第六回</td> <td>Clean Energy</td> </tr> <tr> <td>第七回</td> <td>最終発表と質疑応答</td> <td>第八回</td> <td>期末試験</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>*各週のトピックは変更する場合があります</p>							第一回	ガイダンス、Good Health	第二回	Breaking the Poverty Cycle	第三回	Clean Water	第四回	Zero Hunger	第五回	Sustainable Infrastructure	第六回	Clean Energy	第七回	最終発表と質疑応答	第八回	期末試験		
第一回	ガイダンス、Good Health	第二回	Breaking the Poverty Cycle	第三回	Clean Water																				
第四回	Zero Hunger	第五回	Sustainable Infrastructure	第六回	Clean Energy																				
第七回	最終発表と質疑応答	第八回	期末試験																						
授業担当教員紹介	URL																								
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			palmer@staff.kanazawa-u.ac.jp																					

科目名	ビジネス・技術マネジメント戦略論			授業形態		開講期間	4月8日～6月4日		
	英文科目名	Strategy for Business and Technology Management		①対面授業	○	開講時間	授業日程欄参照		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				②オンライン授業	○	開講場所	授業日程欄参照		
受講定員等	担当教員	青木 真由美		単位数	1単位		成績評価方法・割合	・オンデマンド教材ごとの小テスト及び講義に関するレポートで評価します。 ・成績は合・否・放棄で評価します。	
	定員数	未定		定員超過時の選考方法等	未定				
	特別聴講学生等定員 若干名			科目等履修生定員 若干名					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
					9,800円	28,200円	14,800円		
科目の内容	本講義は、ビジネスモデルの構築や商品企画を検討する上で重要となるロジカルシンキング、クリティカルシンキング、ラテラルシンキング、クリエイティブシンキング、デザインシンキングを理解し、課題設定力、発想力、分析力、創造力などの強化を目指す。さらに、技術マネジメント (MOT) の背景と必要性を学び、MOTの観点から適切な解決策の検討が出来ることを目指す。								その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
									金沢大学のLMSコースでの学習となるため、PCが必要です。 また、利用にあたって「金沢大学ID」の交付を受ける必要があるため、金沢大学理工系事務部学生課大学院係まで申し出てください。  受講を希望するいしかわシティカレッジ参加高等教育機関の学生は、下記E-mailアドレスへ連絡して履修の許可を得た上で、R8.4.10 (金) までに、金沢大学角間キャンパス自然科学本館B2階の理工系事務部学生課大学院係まで申し出てください。
授業日程・スケジュール	オンデマンド講義 (7回分) ごとの受講締切、及び技術マネジメントに関する講義の実施日は、受講者にお知らせします。 なお、技術マネジメントに関する講義は、対面又はオンラインで受講できます。								
授業担当教員紹介	URL		<a href="https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/detail.php?id=3239&amp;page=1&amp;org2_cd=340200">https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/detail.php?id=3239&amp;page=1&amp;org2_cd=340200</a>						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail		mayumi.aoki@staff.kanazawa-u.ac.jp						

科目名	ドイツ語展開 I (コミュニケーション中心)			授業形態		開講期間	4月6日～6月1日		
	英文科目名	Intermediate German I		①対面授業	○	開講時間	月曜日 第5講時 16:30～18:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	独検4から3級レベル。コミュニケーション中心。			③対面・オンライン併用	○	開講場所	金沢大学角間キャンパス総合教育棟		
受講定員等	担当教員	コンスタンティン・プレット		単位数	1単位		成績評価方法・割合	【授業には3分の2以上の出席を必要とする】 ・(60) % 試験 ・(40) % 積極的な授業参加、課題の提出	
	定員数	30名		定員超過時の選考方法等	抽選				
	特別聴講学生等定員 若干名			科目等履修生定員 若干名					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
					9,800円	28,200円	14,800円		教員の指示に従う
科目の内容	ドイツ語会話入門。教科書の9課からスタートします。本講義の学習目標は以下の通りです。 受講者は： ・履修する言語の文字表記と発音のルールに即して語や文を明瞭かつ即座に発音することができる。 ・履修する言語の仕組みを理解し、辞書や文法書を利用したり、他の人に説明を求めたりして、コミュニケーションが必要とされる表現や情報を探ることができる。 ・標準的な構文と基礎的な語彙の範囲なら、ある程度長い文やある程度抽象的な文を理解できる。 ・やや複雑な構文と基礎的な語彙を使い、ある程度長い文やある程度抽象的な文を作ることができる。 ・基礎的な語彙の範囲かつ標準的な話し方で話されるなら、文の主な内容を理解することができる。 ・日常生活の様々な場面で出会う話題について、基礎的な語彙を使って話をするすることができる。								その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
									シュピッツェ：コミュニケーションで学ぶドイツ語 (朝日出版社)
授業日程・スケジュール	第1回	オリエンテーション・できること (L9)			第2回	予定の取り決めと規則 (L9)			
	第3回	願望について話すホテルの受付 (L9)			第4回	場所を表す前置詞 (L10)			
	第5回	街の案内と交通手段 (L10)			第6回	方向と時間を表す前置詞 (L10)			
	第7回	リスニング、読解、単語・文法の復習 (L9,L10)			第8回	試験とまとめ (L9,L10)			
授業担当教員紹介	URL								
ホームページ・メールアドレス等	E-mail		konstantin-plett@staff.kanazawa-u.ac.jp						

科目名	ドイツ語展開Ⅰ（文法・読解中心）			授業形態 ①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講期間	4月8日～6月3日 ※4/30（木）は授業あり（水曜扱いの授業日）			
	英文科目名	Intermediate German I			開講時間	水曜日 第5講時 16：30～18：00			
レベル ※語学は必須 （その他履修上の注意事項）	ドイツ語の初級文法一通り学習を終え方を対象とする。 受動態、接続法は授業で再確認する。独検4から3級レベル。			開講場所	金沢大学角間キャンパス総合教育棟				
受講定員等	担当教員	早川 文人		単位数	1単位				
	定員数	30名 定員超過時の選考方法等 抽選		成績評価方法・割合	【授業には3分の2以上の出席を必要とする】 ・(60) % 試験 ・(40) % 積極的な授業参加、課題の提出				
授業料等	特別聴講学生 （大学等に在籍する学生）			科目等履修生 （社会人で単位を必要とする者）				シティカレッジ聴講生 （社会人で単位を必要としない者）	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	この授業の学習目標は以下の通りです。教科書の11課、12課から学習します。 履修者は： ・履修する言語の文字表記と発音のルールに即して語や文を明瞭かつ即座に発音することができる。 ・履修する言語の仕組みを理解し、辞書や文法書を利用したり、他の人に説明を求めたりして、コミュニケーションが必要とされる表現や情報を探ることができる。 ・標準的な構文と基礎的な語彙の範囲であれば、ある程度長い文やある程度抽象的な文を理解することができる。 ・やや複雑な構文と基礎的な語彙を使い、ある程度長い文やある程度抽象的な文を作ることができる。 ・基礎的な語彙の範囲かつ標準的な話し方で話されるなら、文の主な内容を理解することができる。 ・日常生活の様々な場面で出会う話題について、基礎的な語彙を使って話することができる。							その他特記事項 （テキスト・教材参考書等）	
	授業日程・スケジュール	1回から7回：初級文法後半の確認（受動態、形容詞の比較、関係代名詞、接続法等） 8回：筆記試験							ドイツ語いいじい？いいげんて！朝日出版社2025年
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	fhayakawa@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	ドイツ語展開Ⅱ（コミュニケーション中心）			授業形態 ①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講期間	6月15日～8月3日 ※7/16（木）は授業あり（月曜扱いの授業日）			
	英文科目名	Intermediate German II			開講時間	月曜日 第5講時 16：30～18：00			
レベル ※語学は必須 （その他履修上の注意事項）	独検4から3級レベル。 コミュニケーション中心。			開講場所	金沢大学角間キャンパス総合教育棟				
受講定員等	担当教員	コンスタンティン・プレット		単位数	1単位				
	定員数	30名 定員超過時の選考方法等 抽選		成績評価方法・割合	【授業には3分の2以上の出席を必要とする】 ・(60) % 試験 ・(40) % 積極的な授業参加、課題の提出				
授業料等	特別聴講学生 （大学等に在籍する学生）			科目等履修生 （社会人で単位を必要とする者）				シティカレッジ聴講生 （社会人で単位を必要としない者）	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	ドイツ語会話入門。教科書の9課からスタートします。本講義の学習目標は以下の通りです。 受講者は： ・履修する言語の文字表記と発音のルールに即して語や文を明瞭かつ即座に発音することができる。 ・履修する言語の仕組みを理解し、辞書や文法書を利用したり、他の人に説明を求めたりして、コミュニケーションが必要とされる表現や情報を探ることができる。 ・標準的な構文と基礎的な語彙の範囲なら、ある程度長い文やある程度抽象的な文を理解できる。 ・やや複雑な構文と基礎的な語彙を使い、ある程度長い文やある程度抽象的な文を作ることができる。 ・基礎的な語彙の範囲かつ標準的な話し方で話されるなら、文の主な内容を理解することができる。 ・日常生活の様々な場面で出会う話題について、基礎的な語彙を使って話することができる。							その他特記事項 （テキスト・教材参考書等）	
	授業日程・スケジュール	第1回 オリエンテーション・時刻の表現（L11） 第2回 一日の行動（L11） 第3回 分離動詞（L11） 第4回 四季、月名と天候（L12） 第5回 過去の出来事を話す（L12） 第6回 週末と旅行（L12） 第7回 リスニング、読解、単語・文法の復習（L11,L12） 第8回 試験とまとめ（L11,L12）							シュピッツェ：コミュニケーションで学ぶドイツ語（朝日出版社）
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	konstantin-plett@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	ドイツ語展開Ⅱ（文法・読解中心）			授業形態	開講期間	6月17日～8月5日		
	英文科目名	Intermediate German II				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	水曜日 第5講時 16:30～18:00
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	ドイツ語の初級文法一通り学習を終え方を対象とする。 受動態、接続法は授業で再確認する。独検4から3級レベル。			開講場所	金沢大学角間キャンパス総合教育棟			
受講定員等	担当教員	早川 文人			単位数	1単位		成績評価 方法・割合
	定員数 30名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	この授業の学習目標は以下の通りです。教科書の11課、12課から学習します。 履修者は： ・履修する言語の文字表記と発音のルールに即して語や文を明瞭かつ即座に発音することができる。 ・履修する言語の仕組みを理解し、辞書や文法書を利用したり、他の人に説明を求めたりして、コミュニケーションが必要とされる表現や情報を探することができる。 ・標準的な構文と基礎的な語彙の範囲であれば、ある程度長い文やある程度抽象的な文を理解することができる。 ・やや複雑な構文と基礎的な語彙を使い、ある程度長い文やある程度抽象的な文を作ることができる。 ・基礎的な語彙の範囲かつ標準的な話し方で話されるなら、文の主な内容を理解することができる。 ・日常生活の様々な場面で出会う話題について、基礎的な語彙を使って話することができる。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
							ドイツ語いいじい？いいげんて！朝日出版社2025年	
授業日程・ スケジュール	1回から7回：テキストの読解・文法の確認 8回：筆記試験							
授業担当教員紹介	URL							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			fhayakawa@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	中国語展開Ⅰ			授業形態	開講期間	4月6日～6月1日		
	英文科目名	Intermediate Chinese I				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	月曜日 第5講時 16:30～18:00
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	中国語検定試験3級レベル			開講場所	金沢大学で確認			
受講定員等	担当教員	比護 遥			単位数	1単位		成績評価 方法・割合
	定員数 26名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	言語は、その背景にある社会・文化を知るための最良の窓口になるものである。初級で学習した中国語の基礎的な知識を着実に定着させつつ、それを生かして中国への理解を深めていくという次のステップへと進みたい。そのためにこの授業では、現代中国の多様なトピックを取り扱ったテキストを教材として、ある程度まとまった分量の文章と一緒に読み進めるとともに、「旅」をテーマに中国語を実際に活用してアウトプットするワークを行う。中国語能力を引き上げるためには、確かな語彙力と総合的な実践が不可欠であり、耳と口をしっかりと使った反復練習を心掛ける。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
							山下輝彦・路元『知ってる？今の中国-ダイジェスト版』（朝日出版社、2019年）  受講希望者は授業開始前に担当教員にメール連絡をしてください。受講者が定員に達し受け入れられない場合があります。	
授業日程・ スケジュール	金沢大学のR8学年暦に従う。							
授業担当教員紹介	URL			https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/detail.php?id=11663				
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			haruka-higo@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	中国語展開 I			授業形態	開講期間	4月8日～6月3日 ※4/30(木)は授業あり(水曜扱いの授業日)		
	英文科目名	Intermediate Chinese I				開講時間	水曜日 第5講時 16:30～18:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	中国語検定試験3級レベル			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学で確認	
受講定員等	担当教員	趙 菁		単位数		1単位		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
科目の内容	日本国内あるいは留学先で実際に遭遇する状況を想定し、初中級レベルの学習者が中国語を使って、どのようなアクションがとれるかを中心に学ぶ授業です。一つのタスクについて、二週間にわたってトレーニングを行い、三週目に実践的なコミュニケーションの活動を行います。それぞれのタスクに必要な単語と常用語句の予習を課します。 常に教員及び他の受講生からの質問を受けながら、会話練習を行います。話した内容を文章にまとめ、スピーチにて発表するときもあります。スピーチは小テストとして換算します。 予習・復習時間は一日20分、週に120分以上が望ましいです。教員からの質問や会話は受講者個々のレベルに合わせて行いますので、どうぞ恐れず受講してください。			教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
	授業日程・スケジュール	金沢大学のR8学年暦に従う。						<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等) 寺西光輝著『使って学ぶ！中国語コミュニケーション2 CEFR A1-A2レベル』朝日出版社2022  受講希望者は授業開始前に担当教員にメール連絡をしてください。受講者が定員に達し受け入れられない場合があります。
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	zhaojing@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	中国語展開 II			授業形態	開講期間	6月15日～8月3日 ※7/16(木)は授業あり(月曜扱いの授業日)		
	英文科目名	Intermediate Chinese II				開講時間	月曜日 第5講時 16:30～18:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	中国語検定試験3級レベル			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学で確認	
受講定員等	担当教員	比護 遥		単位数		1単位		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
科目の内容	言語は、その背景にある社会・文化を知るための最良の窓口になるものである。初級で学習した中国語の基礎的な知識を着実に定着させつつ、それを生かして中国への理解を深めていくという次のステップへと進みたい。そのためにこの授業では、現代中国の多様なトピックを取り扱ったテキストを教材として、ある程度まとまった分量の文章と一緒に読み進めるとともに、「旅」をテーマに中国語を実際に活用してアウトプットするワークを行う。中国語能力を引き上げるためには、確かな語彙力と総合的な実践が不可欠であり、耳と口をしっかりと使った反復練習を心掛ける。			教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
	授業日程・スケジュール	金沢大学のR8学年暦に従う。						<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等) 山下輝彦・路元『知ってる？今の中国-ダイジェスト版』(朝日出版社、2019年)  受講希望者は授業開始前に担当教員にメール連絡をしてください。受講者が定員に達し受け入れられない場合があります。
授業担当教員紹介				URL	https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/detail.php?id=11663			
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	haruka-higo@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	中国語展開Ⅱ			授業形態	開講期間	6月17日～8月5日		
	英文科目名	Intermediate Chinese II				開講時間	水曜日 第5講時 16:30～18:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	中国語検定試験3級レベル			①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学で確認		
受講定員等	担当教員	趙 菁		単位数	1単位			
	定員数	26名 定員超過時の選考方法等 抽選		特別聴講学生等定員	若干名			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用
科目の内容	日本国内あるいは留学先で実際に遭遇する状況を想定し、初中級レベルの学習者が中国語を使って、どのようなアクションがとれるかを中心に学ぶ授業です。一つのタスクについて、二週間にわたってトレーニングを行い、三週目に実践的なコミュニケーションの活動を行います。それぞれのタスクに必要な単語と常用語句の予習を課します。 常に教員及び他の受講生からの質問を受けながら、会話練習を行います。話した内容を文章にまとめ、スピーチにて発表するときもあります。スピーチは小テストとして換算します。 予習・復習時間は一日20分、週に120分以上が望ましいです。教員からの質問や会話は受講者個々のレベルに合わせて行いますので、どうぞ恐れず受講してください。						<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等) 寺西光輝著『使って学ぶ！中国語コミュニケーション2 CEFR A1-A2レベル』朝日出版社2022  受講希望者は授業開始前に担当教員にメール連絡をしてください。受講者が定員に達し受け入れられない場合があります。	
授業日程・スケジュール	金沢大学のR8学年暦に従う。							
授業担当教員紹介	URL							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			zhaojing@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	中級フランス語Ⅰ			授業形態	開講期間	4月8日～6月3日		
	英文科目名	French for False Beginners I				開講時間	※4/30(木)は授業あり(水曜扱いの授業日)	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	初級文法を一通り学習した経験のある方を対象とします。			①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学で確認		
受講定員等	担当教員	佐藤 朋子		単位数	1単位			
	定員数	30名 定員超過時の選考方法等 未定		特別聴講学生等定員	若干名			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用
科目の内容	本授業は、初級文法を一通り学習した経験のある学習者を対象とし、聴き取り・読解・音読・作文を中心に、フランス語の基礎事項の理解をより確かなものにするを目的とします。授業では、2分前後のフランス語動画(主に子ども向けの解説動画)を教材として用い、社会、歴史、文化、公共性(市民生活や公共空間に関わる話題)などをテーマに学習を進めます。各回、動画を視聴した後、文字起こしたテキストを用いて語彙や既習文法事項を整理しながら、文の意味を丁寧に確認します。授業内では音読の機会を設け、語の区切りやイントネーションに注意しつつ、文を途切れず読み練習を行います。また、グループで話し合いながら、テキストの中から重要なフレーズや興味深いフレーズを選び、内容と表現の両面から理解を深めます。本授業を通じて、①明瞭に発音された文の大意を聴き取れるようになる、②説明的な文を正確に読み解けるようになる、③取り扱った話題についてシンプルな文を書けるようになる、④文の意味を意識しながら自然に音読できるようになる、⑤フランス語およびフランス語圏に関する知識を深めることを目指します。毎回、簡単な予習課題と復習課題があります。						<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等) 授業で使用するテキストは教員が提供します。予習および復習のため、辞書を利用できる環境を整えてください。また、文法書を参照できると、より理解が深まります。オンラインで参加する場合は、Zoomを利用できる環境を整えてください。	
授業日程・スケジュール								
授業担当教員紹介	URL							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail							

科目名	中級フランス語Ⅱ			授業形態	開講期間	6月17日～8月5日		
	英文科目名	French for False BeginnersⅡ				開講時間	水曜日 第5講時 16:30～18:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	初級文法を一通り学習した経験のある方を対象とします。			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学で確認	
受講定員等	担当教員	佐藤 朋子				単位数	1単位	
	定員数 30名 定員超過時の選考方法等 未定 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名			成績評価方法・割合		授業参加25%、 宿題25%、 定期試験50%		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	
				教員の指示に従う			受講料	
科目の内容	本授業は、初級文法を一通り学習した経験のある学習者を対象とし、聴き取り・読解・音読・作文を中心に、フランス語の基礎事項の理解をより確かなものにするを目的とします。授業では、2分前後のフランス語動画（主に子ども向けの解説動画）を教材として使い、社会、歴史、文化、公共性（市民生活や公共空間に関わる話題）などをテーマに学習を進めます。各回、動画を視聴した後、文字起こししたテキストを用いて語彙や既習文法事項を整理しながら、文の意味を丁寧に確認します。授業内では音読の機会を設け、語の区切りやイントネーションに注意しつつ、文を途切れずに読む練習を行います。また、グループで話し合いながら、テキストの中から重要なフレーズや興味深いフレーズを選び、内容と表現の両面から理解を深めます。本授業を通じて、①明瞭に発音された文の大意を聞き取れるようになる、②説明的な文を正確に読み解けるようになる、③取り扱った話題についてシンプルな文を書けるようになる、④文の意味を意識しながら自然に音読できるようになる、⑤フランス語およびフランス語圏に関する知識を深めることを目指します。毎回、簡単な予習課題と復習課題があります。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業で使用使用するテキストは教員が提供します。予習および復習のため、辞書を利用できる環境を整えてください。また、文法書を参照できると、より理解が深まります。オンラインで参加する場合は、Zoomを利用できる環境を整えてください。							
授業日程・スケジュール								
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail				

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	4月7日～6月2日 (予定)		
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	火曜日 1限目 8:45～10:15 (予定)	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟 (調整中)	
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子				単位数	1単位	
	定員数 90名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名			成績評価方法・割合		授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	
				教員の指示に従う			受講料	
科目の内容	本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史Ⅱ 7 ケーススタディ						2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史Ⅰ 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ	
授業日程・スケジュール								
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail				
				atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	4月6日～6月1日（予定）		
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	月曜日 5限目 16:30～18:00（予定）	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟（調整中）			
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子			単位数	1単位		成績評価 方法・割合
	定員数	90名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名				授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	授業日程・ スケジュール	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史 II 7 ケーススタディ			2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史 I 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ			小熊英二著『社会を変えるには』(講談社現代新書)
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp		

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	4月8日～6月3日（予定）		
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	水曜日 5限目 16:30～18:00（予定）	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	英語クラスは英検2級以上			開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟（調整中）			
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子			単位数	1単位		成績評価 方法・割合
	定員数	25名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名				授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	授業日程・ スケジュール	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史 II 7 ケーススタディ			2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史 I 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ			小熊英二著『社会を変えるには』(講談社現代新書)  ※このクラスは英語クラスです。  ※曜日振替のため、4/30(木)は水曜授業の日となるので、授業有り。
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp		

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	6月17日～8月5日		
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	水曜日 1限目 8:45～10:15	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟 (調整中)		
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子	単位数			1単位	成績評価 方法・割合	授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・ スケジュール	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史 II 7 ケーススタディ			2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史 I 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ			小熊英二著『社会を変えるには』(講談社現代新書)
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp		

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	6月17日～8月5日 (予定)		
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	水曜日 5限目 16:30～18:00 (予定)	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟 (調整中)		
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子	単位数			1単位	成績評価 方法・割合	授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・ スケジュール	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史 II 7 ケーススタディ			2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史 I 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ			小熊英二著『社会を変えるには』(講談社現代新書)
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp		

科目名	グローバル時代の文学			授業形態	開講期間	4月9日～6月4日 (予定)		
	英文科目名	Literature in Globalization				開講時間	木曜日 第3講時 13:00～14:30 (予定)	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学総合教育講義棟	
受講定員等	担当教員	佐藤 文彦	単位数			1単位	成績評価方法・割合	授業には3分の2以上の出席を必要とする。S(達成度90%～100%)、A(同80%～90%未満)、B(同70%～80%未満)、C(同60%～70%未満)を合格とし、以下を不合格とする。不可(達成度60%未満)。具体的な評価の方法(試験の形式など)は第1回の講義時に指示をする。
	定員数	50名	定員超過時の選考方法等	受付順				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	この授業では実際に文学体験をしてもらいます。その実際的な体験に基づき、文学作品の読み方、文学作品の向こう側にある社会・文化・思想といった「文脈」を読み解くことの重要性を学びます。予習では、世界各地の日本語、英語、フランス語、中国語による文学作品から選定された短編(翻訳)を読み、教科書を用いて各作品の読み方や作品を囲む文化・社会・思想的な背景についてのイメージを掴んでおいてください(授業における理解度を高め、また、ディスカッションの質を向上させるため、予習には少なくとも2時間以上を充てること)。授業では、各作品の読み方・解釈についての確認と補足的な説明を教員が行います。また、グループ・ディスカッションなどのアクティブラーニングを通じて、それぞれの作品の読みを深めてもらいます。						<b>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</b> オリジナルテキスト・授業用資料を金沢大学生協から購入するか、以下のURLにアクセスし、この授業に該当するリンク先からテキスト・授業用資料をダウンロードもしくは印刷して必ず授業時に持参すること。 <a href="https://emuseum.el.kanazawa-u.ac.jp/?action=pages_view_main&amp;active_action=repository_view_main_item_detail&amp;item_id=168&amp;item_no=1&amp;page_id=13&amp;block_id=10">https://emuseum.el.kanazawa-u.ac.jp/?action=pages_view_main&amp;active_action=repository_view_main_item_detail&amp;item_id=168&amp;item_no=1&amp;page_id=13&amp;block_id=10</a> ※リンク先へのアクセスには、「金沢大学ID」が必要です。基幹教育学務係に申し出ること。 ※曜日振替のため、4/30(木)は授業なし。	
	授業日程・スケジュール	第1回 「グローバル時代の文学」序説	第2回 中国語文学	第3回 ドイツ語文学	第4回 フランス語文学	第5回 英語文学(イギリス)		第6回 英語文学(アメリカ)
授業担当教員紹介	URL							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			satof@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	グローバル時代の文学			授業形態	開講期間	4月6日～6月1日 (予定)		
	英文科目名	Literature in Globalization				開講時間	月曜日 第2講時 10:30～12:00 (予定)	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学総合教育講義棟	
受講定員等	担当教員	杉山 欣也	単位数			1単位	成績評価方法・割合	授業には3分の2以上の出席を必要とする。S(達成度90%～100%)、A(同80%～90%未満)、B(同70%～80%未満)、C(同60%～70%未満)を合格とし、以下を不合格とする。不可(達成度60%未満)。具体的な評価の方法(試験の形式など)は第1回の講義時に指示をする。
	定員数	50名	定員超過時の選考方法等	受付順				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	この授業では実際に文学体験をしてもらいます。その実際的な体験に基づき、文学作品の読み方、文学作品の向こう側にある社会・文化・思想といった「文脈」を読み解くことの重要性を学びます。予習では、世界各地の日本語、英語、フランス語、中国語による文学作品から選定された短編(翻訳)を読み、教科書を用いて各作品の読み方や作品を囲む文化・社会・思想的な背景についてのイメージを掴んでおいてください(授業における理解度を高め、また、ディスカッションの質を向上させるため、予習には少なくとも2時間以上を充てること)。授業では、各作品の読み方・解釈についての確認と補足的な説明を教員が行います。また、グループ・ディスカッションなどのアクティブラーニングを通じて、それぞれの作品の読みを深めてもらいます。						<b>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</b> オリジナルテキスト・授業用資料を金沢大学生協から購入するか、以下のURLにアクセスし、この授業に該当するリンク先からテキスト・授業用資料をダウンロードもしくは印刷して必ず授業時に持参すること。 <a href="https://emuseum.el.kanazawa-u.ac.jp/?action=pages_view_main&amp;active_action=repository_view_main_item_detail&amp;item_id=168&amp;item_no=1&amp;page_id=13&amp;block_id=10">https://emuseum.el.kanazawa-u.ac.jp/?action=pages_view_main&amp;active_action=repository_view_main_item_detail&amp;item_id=168&amp;item_no=1&amp;page_id=13&amp;block_id=10</a> ※リンク先へのアクセスには、「金沢大学ID」が必要です。基幹教育学務係に申し出ること。	
	授業日程・スケジュール	第1回 「グローバル時代の文学」序説	第2回 中国語文学	第3回 ドイツ語文学	第4回 フランス語文学	第5回 英語文学(イギリス)		第6回 英語文学(アメリカ)
授業担当教員紹介	URL							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			kinkin-s@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	グローバル時代の文学			授業形態		開講期間	6月15日～8月3日（予定）					
	英文科目名	Literature in Globalization			①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	月曜日 第2講時 10:30～12:00 (予定)					
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	金沢大学総合教育講義棟					
受講定員等	担当教員 杉山 欣也			単位数	1単位		成績評価 方法・割合	授業には3分の2以上の出席を必要とする。S(達成度90%～100%)、A(同80%～90%未満)、B(同70%～80%未満)、C(同60%～70%未満)を合格とし、以下を不合格とする。不可(達成度60%未満)。具体的な評価の方法(試験の形式など)は第1回の講義時に指示をする。				
	定員数 50名 定員超過時の選考方法等 受付順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 5名											
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)			
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料			
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う				
科目の内容	この授業では実際に文学体験をしてもらいます。その実際の体験に基づき、文学作品の読み方、文学作品の向こう側にある社会・文化・思想といった「文脈」を読み解くことの重要性を学びます。予習では、世界各地の日本語、英語、フランス語、中国語による文学作品から選定された短編(翻訳)を読み、教科書を用いて各作品の読み方や作品を囲む文化・社会・思想的な背景についてのイメージを掴んでください(授業における理解度を高め、また、ディスカッションの質を向上させるため、予習には少なくとも2時間以上を充てること)。授業では、各作品の読み方・解釈についての確認と補足的な説明を教員が行います。また、グループ・ディスカッションなどのアクティブラーニングを通じて、それぞれの作品の読みを深めてもらいます。								その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)			
	<p>オリジナルテキスト・授業用資料を金沢大学生協から購入するか、以下のURLにアクセスし、この授業に該当するリンク先からテキスト・授業用資料をダウンロードもしくは印刷して必ず授業時に持参すること。</p> <p><a href="https://emuseum.el.kanazawa-u.ac.jp/?action=pages_view_main&amp;active_action=repository_view_main_item_detail&amp;item_id=168&amp;item_no=1&amp;page_id=13&amp;block_id=10">https://emuseum.el.kanazawa-u.ac.jp/?action=pages_view_main&amp;active_action=repository_view_main_item_detail&amp;item_id=168&amp;item_no=1&amp;page_id=13&amp;block_id=10</a></p> <p>※リンク先へのアクセスには、「金沢大学ID」が必要です。基幹教育学務係に申し出ること。</p> <p>※曜日振替により、7/16(木)は月曜授業の日となるため、授業あり。</p>											
授業日程・スケジュール	第1回 「グローバル時代の文学」序説		第2回 中国語文学		第3回 ドイツ語文学		第4回 フランス語文学		第5回 英語文学(イギリス)		第6回 英語文学(アメリカ)	
第7回 日本語文学		第8回 総論・全体ディスカッション		(なお、上記スケジュールは日程が変更される場合があります。ガイダンスの時の指示に従ってください。)								
授業担当教員紹介	URL											
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			kinkin-s@staff.kanazawa-u.ac.jp								

科目名	地球生物圏と人間			授業形態		開講期間	6月15日～8月3日（予定）		
	英文科目名	Geo-biosphere and Human-beings			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講時間	月曜日 第5講時 16:30～18:00 (予定)		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟(調整中)		
受講定員等	担当教員 佐藤 圭			単位数	1単位		成績評価 方法・割合	毎回実施する小テストの合計点とレポート点の数値をもとに成績を決定します	
	定員数 99名 定員超過時の選考方法等 未定 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名								
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	地球という天体の中で、生物が生存している領域のことを生物圏という。我々はどこから来たのか？我々は何者か？我々はどこへ行くのか？生物圏における我々人類の存在とは何か？という根源的な問いかけに科学的な意味で答えるためには、地球のダイナミズムから地球生物圏の成立、そして人類の誕生という一連の地球科学的な事象の理解が重要となる。本講義では、地球生物圏を理解する上で鍵となる様々な学問のエッセンスを分野横断的(主に地学・生物)に学んでいく。								その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
									※曜日振替により、7/16(木)は月曜授業の日となるため、授業あり。
授業日程・スケジュール									
授業担当教員紹介	URL			https://www.researchgate.net/profile/Kei-Sato-9					
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			ksato@staff.kanazawa-u.ac.jp					

科目名	防災学入門			授業形態	開講期間	9月14日(月)～9月17日(木)	
	英文科目名	Introduction to disaster prevention		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	集中講義	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	金沢大学	
受講定員等	担当教員	青木 賢人		単位数	2単位		
	定員数	100名		定員超過時の選考方法等	1年生を優先して抽選		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円
科目の内容	災害や防災・減災に関する基本的知識・技術をもって地域社会における防災活動や災害ボランティアに参加する人材の育成を目的とする。この授業を通じて、民間資格である防災士の取得を目指し、防災士取得後の活動に向けての展望を得る。防災士には、地域社会での自主防災活動や災害ボランティアへの参加が期待される。				その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)		
	この授業の履修を通じて、民間資格である防災士の取得を目指す。受講者は最終日に実施される防災士資格取得試験を受験し、合格すれば防災士資格を得ることができるとともに、本講義の単位を取得することができる。				受講希望者(金沢大学を除く)は、以下の入力フォームから申し込むこと。 https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdUTr74HDBoTtlZwtmMMfAOsRc6I32oV4pLynzi-GlCkwYMA/viewform?usp=dialog 【申込期限：令和8年6月17日(水)】 定員超過の場合、1年生を優先して抽選を行う。抽選結果は登録したメールアドレスに連絡する。履修許可者にはLMS利用のためのID等を連絡する。 ※金沢大学の受講希望者は、Q2履修登録期間に通常通りWEB履修登録すること。 日本防災士機構認定のテキストを利用する。		
授業日程・スケジュール	9月14日(月)～9月17日(木) 内、1日は救急救命講習を含む			本授業に必要な講義を受講し、単位を取得したものは日本防災士機構の防災士資格の受験資格を獲得できる。 本講義は石川県との共同開催の授業であり、その実施には県から予算が投入されている、納税者に対する説明責任があるため、真摯な態度で履修する社会的責任が求められる。その意識を持って履修登録をしてもらいたい。			
授業担当教員紹介				URL			
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	kentaoki@staff.kanazawa-u.ac.jp		

科目名	能登復興学実践論 一人と繋がり、未来を共創する一			授業形態	開講期間	4月13日(月)～7月31日(金)		
	英文科目名	Noto Recovery Practicum: Connecting with Communities to Co-create the Future		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	17:30～19:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	石川県立大学に確認		
受講定員等	担当教員	山下 良平		単位数	2単位			
	定員数	20名		定員超過時の選考方法等	提出された志望理由書(300文字)を基に、学習意欲や本プログラムへの貢献度を総合的に判断し選考します。			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：2月1日～2月28日			
				15,000円	9,800円	28,200円	29,600円	
科目の内容	【講義概要】 本講義は、ユニベル社が全国で展開するCampus Everywhereフィールドワークの手法を導入した新しい形のPBLプログラムである。単に地域課題を分析するのではなく、能登の復興を支える一人のキーパーソン(ニターゲット)に徹底的に向き合い、その人生、想い、夢に深く触れることを通じて、参加者一人ひとりが自らの生き方と社会との関わり方を見つめ直す機会をつくる。この濃密な他者との対話と内省のプロセスこそが、多様な人々の間に立ち、信頼を基に対話と協働を促進する中間コーディネーターの核となる資質を育むと考える。全国から集う仲間と共に、日常から離れた能登の地で、移動し、繋がり、自らの次なる一歩(挑戦)を始める。そのための理論と実践を往還するプログラムである。 【到達目標】本講義の履修を通じて、学生が以下の能力を身につけることを目標とする。 1. 能登の復興の現状と課題を、現地で活躍するキーパーソンの視点を通して、自分自身の言葉で多角的に説明できる。 2. 多様な人々の想いを繋ぎ、協働を創出する中間コーディネーターの役割の重要性を、実体験に基づいて理解し、そのために必要なコミュニケーションと内省のスキルを体得する。 3. キーパーソンとの対話を通じて自己を深く見つめ、自分とその人との共通点・相違点を分析し、自らの価値観や強みを言語化できる。 4. 本プログラムでの学びを踏まえ、自らが今後挑戦したいことを具体的なアクションプランとして設定し、他者に明確にプレゼンテーションできる。				その他特記事項 (テキスト・教材参考書等) 【参考図書・推奨図書】 高橋博之著『関係人口～都市と地方を同時並行で生きる～』光文社 新書 友成真一著『問題は「タコつぼ」ではなく「タコ」だった!?「自分経営」入門』ディスカヴァー・トゥエンティワン			
	授業日程・スケジュール	【フェーズ1：オンライン事前学習】 第1回(オンライン)：キックオフ講義の全体像とフィールドワークの進め方を説明。能登の現状をインプットすると共に、事前課題「能登のキーパーソンを考える」を発表 第2回(オンライン)：理論武装：中間コーディネーターとは何か 中間コーディネーターの役割とスキルを理論的に学ぶ。ゲスト講師(行政・企業)を招き、多様な視点をインプット。 【フェーズ2：現地フィールドワーク(1泊2日)】(5月30日～31日) 第3回(現地 Day1) 出会い、聴き、自分と向き合う 午後：【メインセッション】お話し「キーパーソンの人生と、能登への想い」 午前：現地集合、アイスブレイク、被災地の視察 夜：【リアクション】ワークショップ「私とあの人の似ている点、違う点」。 第4回(現地 Day2)：繋がり、考え、挑戦を宣言する 午前：お話し「キーパーソンの夢と、これからの挑戦」 午後：プレゼン大会「私の挑戦宣言」 【フェーズ3：事後学習】 第5回(オンデマンド)：事後課題レポートを提出。「私が会ったキーパーソンはこんな人」「このプログラムで考えたこと」「今後の私の挑戦」を言語化し、学びを定着させる。(本レポート提出をもって全課程終了とする)						
授業担当教員紹介				URL	https://www.ishikawa-pu.ac.jp/staff/staffname/yamashita-ryohei/			
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	r-yama@ishikawa-pu.ac.jp			

科目名	バイオ研究の最前線			授業形態	開講期間	8月24日～8月27日		
	英文科目名	Frontier of Biotechnology Research		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	第1～4講時 9:00～16:10		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	石川県立大学内講義室及び実験室 (当日案内)		
受講定員等	担当教員	弘中 満太郎・高原 浩之・ 高木 宏樹 他1名		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	
	定員数	10名 定員超過時の選考方法等 受付順		特別聴講学生等定員	若干名			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：2月1日～2月28日			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
科目の内容	本科目では、最新のバイオ研究についての講義と実験を行う。講義では、植物の形態形成および植物と病原微生物や昆虫との相互作用について、形態、分子および遺伝子の知見を踏まえて理解することを学習目標とする。また、実際に植物や微生物や昆虫を材料として調査実験をする過程で、それらの知見の理解を深める。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
授業日程・ スケジュール	1日目 植物病の原因微生物についての講義と、実際の植物病の観察および病原菌からの原因微生物の分離・培養実験を行う。(高原) 2日目 DNAマーカー選抜育種法について解説するとともに、DNAマーカー開発技術の進展に関して講義する。(高木) 3日目 植物の生理メカニズムについて講義し、関連する実験を行う。(未定) 4日目 植食性昆虫の同定及び人為的制御に関する講義を行い、最後にテストを行う。(弘中)							
授業担当教員紹介	URL		https://www.ishikawa-pu.ac.jp/staff/					
ホームページ・メールアドレス等	E-mail							

科目名	博物館資料保存論			授業形態	開講期間	4月9日～7月30日(予定)																												
	英文科目名	Theory of Museum Preservation		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	金曜日 9・10限 16:00～17:25(予定)																												
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	特になし。				開講場所	金沢美術工芸大学 202講義室(予定)																												
受講定員等	担当教員	渋谷 拓		単位数	2単位		成績評価 方法・割合																											
	定員数	60名 定員超過時の選考方法等 未定		特別聴講学生等定員	若干名																													
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)																											
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢美術工芸大学で確認																													
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	受講料																									
科目の内容	ミュージアムにおいて資料を保存することの意義や、資料を良好に保存・継承していくための方法と環境について科学的・実践的観点から学ぶ。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)																											
授業日程・ スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>第01回 展示活用と保存は表裏一体の関係である(イントロダクション)</td> <td>第02回 展示と保存の環境を考へてみる</td> <td>【1】光</td> </tr> <tr> <td>第03回 展示と保存の環境を考へてみる</td> <td>【2】温湿度と空気質</td> <td>第04回 展示と保存の環境を考へてみる</td> </tr> <tr> <td>第05回 展示と保存の環境を考へてみる</td> <td>【4】伝統的保存方法と環境保護</td> <td>【3】生物被害とIPM</td> </tr> <tr> <td>第07回 展示と保存の環境を考へてみる</td> <td>【6】立地と防災</td> <td>第06回 展示と保存の環境を考へてみる</td> </tr> <tr> <td>第09回 展示と保存の環境を考へてみる</td> <td>【8】屋外彫刻の状態を観察する</td> <td>【5】ファシリティ・レポート</td> </tr> <tr> <td>第11回 資料を守る</td> <td>【2】資料の輸送</td> <td>【7】近隣ミュージアムの見学</td> </tr> <tr> <td>第13回 資料を守る</td> <td>【4】被災文化財のレスキュー</td> <td>【1】資料の修復</td> </tr> <tr> <td>第15回 まとめ</td> <td></td> <td>【3】文化財保護法とエコミュージアム</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>【5】ポストコロニアリズムと文化財</td> </tr> </table>							第01回 展示活用と保存は表裏一体の関係である(イントロダクション)	第02回 展示と保存の環境を考へてみる	【1】光	第03回 展示と保存の環境を考へてみる	【2】温湿度と空気質	第04回 展示と保存の環境を考へてみる	第05回 展示と保存の環境を考へてみる	【4】伝統的保存方法と環境保護	【3】生物被害とIPM	第07回 展示と保存の環境を考へてみる	【6】立地と防災	第06回 展示と保存の環境を考へてみる	第09回 展示と保存の環境を考へてみる	【8】屋外彫刻の状態を観察する	【5】ファシリティ・レポート	第11回 資料を守る	【2】資料の輸送	【7】近隣ミュージアムの見学	第13回 資料を守る	【4】被災文化財のレスキュー	【1】資料の修復	第15回 まとめ		【3】文化財保護法とエコミュージアム			【5】ポストコロニアリズムと文化財
第01回 展示活用と保存は表裏一体の関係である(イントロダクション)	第02回 展示と保存の環境を考へてみる	【1】光																																
第03回 展示と保存の環境を考へてみる	【2】温湿度と空気質	第04回 展示と保存の環境を考へてみる																																
第05回 展示と保存の環境を考へてみる	【4】伝統的保存方法と環境保護	【3】生物被害とIPM																																
第07回 展示と保存の環境を考へてみる	【6】立地と防災	第06回 展示と保存の環境を考へてみる																																
第09回 展示と保存の環境を考へてみる	【8】屋外彫刻の状態を観察する	【5】ファシリティ・レポート																																
第11回 資料を守る	【2】資料の輸送	【7】近隣ミュージアムの見学																																
第13回 資料を守る	【4】被災文化財のレスキュー	【1】資料の修復																																
第15回 まとめ		【3】文化財保護法とエコミュージアム																																
		【5】ポストコロニアリズムと文化財																																
授業担当教員紹介	URL		https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/teacher/6009/																															
ホームページ・メールアドレス等	E-mail																																	

科目名	麹・発酵食品の歴史と科学			授業形態		開講期間	4月14日(火)～7月28日(火)	
	英文科目名	History and Science of Koji and Fermented Foods		①対面授業	○	開講時間	火曜日 第5時限 17:05～18:45	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				③対面・オンライン併用		開講場所	金沢工業大学扇が丘キャンパス (教室は大学へ要確認)	
受講定員等	担当教員	相良 純一		単位数	2単位		成績評価方法・割合	講義への出席と授業中に行う演習課題、最終レポートにより総合的に評価をする
	定員数	20名		定員超過時の選考方法等	未定			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:			
科目の内容	【講義の内容】 石川の発酵産業に欠かせない「麹」「麹菌」を学ぶことにより、「発酵」について、科学的見地からより深く学ぶことを目的とする。麹菌は、古くから日本の伝統食品に使われてきた。特に、石川では「麹」として日本酒、醤油、味噌、酢だけではなくかぶら寿司などにも用いられ、他の地域とくらべて非常に身近なものである。しかしながら、その麹菌が「国菌」であること、高岡・金沢の偉人である高峰謙吉博士がフスマ麹を用いて「タカチアスターゼ」を製造したことはあまり知られていない。「国菌」である麹菌と、麹菌を用いて造られる「麹」について学び、地域の偉人の足跡を辿り、日本や石川における発酵産業について深く理解することを目指す。 【講義の進め方】 座学形式で進めていく。適宜、講義中に映像の利用や演習等を行う。 【目指す課題など】 「麹」について歴史的、科学的見地からその仕組みを理解する。 「麹菌」について分子生物学的、遺伝学的見地からその仕組みを理解する。 「発酵」について生化学的見地からその仕組みについて理解する。							
	授業日程・スケジュール	授業の内容 1. この授業について・お酒は20歳から・導入 2～9. 麹の歴史と科学 10～15. 発酵食品の歴史と科学						
授業担当教員紹介			URL	http://kitnet.jp/laboratories/labo0172/index.html				
ホームページ・メールアドレス等			E-mail	jun@neptune.kanazawa-it.ac.jp				

科目名	コンピュータの構成			授業形態		開講期間	金沢学院大学で確認	
	英文科目名	Computer Organization		①対面授業	○	開講時間	金沢学院大学で確認	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				③対面・オンライン併用		開講場所	金沢学院大学で確認	
受講定員等	担当教員	高木 直史		単位数	2単位		成績評価方法・割合	期末試験により学習内容の8割以上の理解が認められれば合格とする。評点は、期末試験の成績(約80%)と宿題(演習)の成績(約20%)により定める。
	定員数	40名		定員超過時の選考方法等	未定			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間: 金沢学院大学で確認			
科目の内容	コンピュータの基本構造と基本動作、コンピュータの命令(命令セットアーキテクチャ)、コンピュータにおける数の表現と算術演算について理解し、簡単なプロセッサの構成法、コンピュータの記憶階層および入出力の概要等を学ぶ。							
	授業日程・スケジュール	01-02: コンピュータの基礎 08-10: コンピュータにおける算術演算 15: 記憶階層と入出力の概要			03-07: コンピュータの命令 11-14: 簡単なプロセッサの構成法			
授業担当教員紹介			URL	https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/infoeng-takagi/				
ホームページ・メールアドレス等			E-mail					

科目名	健康科学			授業形態	開講期間	金沢学院大学で確認		
	英文科目名	Health Sciences				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	金沢学院大学で確認
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				担当教員	藤原 勝夫		単位数	2単位
受講定員等	定員数 180名 定員超過時の選考方法等 未定 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名					成績評価 方法・割合		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
					10,000円	35,000円	32,000円	
科目の内容	スポーツにおける人体の神経・筋肉の働きによって生まれる運動について、人体の生理機能、エネルギー代謝、筋活動、運動調節等の側面から学ぶとともに、スポーツ活動での減量法やトレーニング法について学ぶ。到達目標としては、肥満対策や運動障害予防につながる運動療法、およびエネルギー代謝系、筋・神経系に関する理解を深めること、さらにその知識の健康および各種スポーツ場面への応用ができることを目指す。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	教科書 「改訂 身体活動と体力 トレーニング」 藤原勝 夫、外山 寛、朝倉書店							
授業日程・ スケジュール	1 現代社会における運動の位置づけ 4 運動におけるエネルギー代謝 7 筋の収縮特性と筋線維組成 10 トレーニングの原理とトレーニング法の基礎 13 ウォーミングアップ		2 体力と健康 5 運動におけるエネルギーの回復過程 8 運動強度の測定法 11 エネルギー系に焦点を当てたトレーニング法 14 日常生活と体力		3 スポーツにおけるトレーニングの必要性 6 運動時の筋活動 9 脂肪量の測定と減量法 12 筋系に焦点を当てたトレーニング法 15 からだづくりの実践			
授業担当教員紹介	URL							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail							

科目名	国際理解教育概論			授業形態	開講期間	金沢学院大学で確認		
	英文科目名	International Education				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	金沢学院大学で確認
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				担当教員	多田 孝志		単位数	2単位
受講定員等	定員数 90名 定員超過時の選考方法等 未定 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 5名					成績評価 方法・割合		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
					10,000円	35,000円	32,000円	
科目の内容	地球時代・多文化共生社会が、教育にもたらす変化について多様な事象を素材に論説する。また、国際理解教育に関わるさまざまな論の検討を通して国際理解教育の概念を考察し、論ずる。国際理解教育の理論・実践研究の経緯と最新の状況について、多様な論文・実践事例を紹介しつつ解説する。さらに、多様な人々と共生に不可欠な技能としての対話力の重要性を論じ、実習により技能を習得させる。またユネスコの国際理解教育の経緯、国際理解教育の多様な実践、持続可能な開発のための教育、ラーニングコンパスの概念などについてもその意義について解説する。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	地球的課題についてアクティヴィ・ラーニングを多用し、グループが協同する調査をさせ、21世紀型能力が示す、深い思考力、主体性、対話力の育成を目指す。ことにグローバル対話論について概念と活用方法、習得の手立てについて演習を中心に取り上げる。							
授業日程・ スケジュール								
授業担当教員紹介	URL			<a href="https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/education-tada/">https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/education-tada/</a>				
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			tada@kanazawa-gu.ac.jp				

科目名	地域経済論 I			授業形態		開講期間	金沢学院大学で確認	
	英文科目名	Reginal Economics I		①対面授業	○	開講時間	金沢学院大学で確認	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				②オンライン授業		開講場所	金沢学院大学で確認	
受講定員等	担当教員	三輪 篤生		単位数	2単位		成績評価方法・割合	授業への参加度・課題の提出状況 (5割程度)、期末試験の成績 (5割程度)を総合的に判定。
	定員数	100名		定員超過時の選考方法等	未定			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
					10,000円	35,000円	32,000円	
科目の内容	地域経済を構成する要素や地域経済の構造を把握・理解するために、経済循環に関する理論的講義を行うとともに、地域経済の構成要素と構造を把握するための実在する統計データ等について把握し、それらの信頼性や性質を把握し、その利用方法や限界について学習する。これらのデータ (証拠) に基づく分析と議論の方法を習得し、地域経済政策についての議論を展開する能力を形成するための講義と演習を行う。							<b>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</b> 教科書) 山田浩之・徳岡一幸著「地域経済学入門」(2022年第3版、有斐閣コンパクト)
	授業日程・スケジュール	前期 (2026年4月7日～7月28日) に15回の授業を実施。(曜日、時限、各回の講義内容は未定。)						
授業担当教員紹介	URL		<a href="https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/%e4%b8%89%e8%bc%aa%e3%80%80%e7%af%a4%e7%94%9f/">https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/%e4%b8%89%e8%bc%aa%e3%80%80%e7%af%a4%e7%94%9f/</a>					
ホームページ・メールアドレス等	E-mail		miwa@kanazawa-gu.ac.jp					

科目名	心理学概論A			授業形態		開講期間	金沢学院大学で確認	
	英文科目名	Introduction to Psychology A		①対面授業	○	開講時間	金沢学院大学で確認	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	特になし			②オンライン授業		開講場所	金沢学院大学で確認	
受講定員等	担当教員	中崎 崇志・室橋 弘人		単位数	2単位		成績評価方法・割合	定期試験、中間テスト、毎回の振り返りの内容による総合評価によって決定する。評価の割合は、定期試験 (筆記) および中間テスト (オンライン) 80%、毎回の振り返りとコメント20%とする。
	定員数	若干名		定員超過時の選考方法等	未定			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
					10,000円	35,000円	32,000円	
科目の内容	心理学は、テレビや週刊誌にあるような占いではない。実際の心理学は人間の心の働きを科学的に明らかにしようとする学問であり、実験や調査等で得られた客観的な事実に基づいて、人間の行動の法則を見出すものである。心理学概論Aでは、現代に至る心理学の発展の歴史に加えて、感覚と知覚、学習、認知、言語・思考、社会の各分野について、科学としての心理学における基本的な知識を習得する。本講義の到達目標は、以下の通りである。 ①心理学の成り立ちについて、現代に至る心理学の変遷を説明することができる。 ②人の心の基本的な仕組みおよび働きのうち、感覚・知覚、学習、認知、言語・思考の各分野の基礎知識を習得し、人間の認知機構の最も基礎的な部分について説明することができる。 ③人の心の基本的な仕組みおよび働きのうち、人の社会的行動とその背景、個人が他者・社会から受ける影響について説明することができる。							<b>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</b> 教科書として サトウタツヤ・渡邊芳之 2019 『心理学・入門：心理学はこんなに面白い (改訂版)』 有斐閣を使用する。
	授業日程・スケジュール	第01回：心理学史 (1) 第04回：感覚・知覚 (1) 第07回：学習と行動 (2) 第10回：言語・思考 (1) 第13回：社会と個人 (1)	第02回：心理学史 (2) 第05回：感覚・知覚 (2) 第08回：記憶 (1) 第11回：言語・思考 (2) 第14回：社会と個人 (2)	第03回：心の生物学的基礎 第06回：学習と行動 (1) 第09回：記憶 (2) 第12回：言語・思考 (3) 第15回：社会と個人 (3)				
授業担当教員紹介	URL							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail							

科目名	心理学概論B			授業形態	開講期間	金沢学院大学で確認		
	英文科目名	Introduction to Psychology B				開講時間	金沢学院大学で確認	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢学院大学で確認	
受講定員等	担当教員	前川 浩子 他1名	単位数			2単位	成績評価 方法・割合	毎回のリアクションコメントおよび 確認テスト等
	定員数	70名	定員超過時の選考方法等	未定				
	特別聴講学生等定員	若干名	科目等履修生定員	若干名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
				10,000円	35,000円	32,000円		
科目の内容	心理学は、人の心を覗き込むような読心術ではない。実際の心理学は人間の心の働きを科学的に明らかにしようとする学問であり、実験や調査等で得られた客観的な事実に基づいて、人間の行動の法則を見出そうとするものである。「心理学概論B」では、心理学の研究手法、発達に関する諸理論、人の行動の生起や維持（動機づけ・感情）個人差（パーソナリティ・知能）、心の健康、心の不適応とその援助について、基本的な知識を習得することを目的とする。授業はスライドと配布資料を用いて進める。到達目標は以下の通りである。 ①人の心の基本的な仕組みや働きと実証的に調べる方法について理解すること ②発達に関する理論について説明できるようになること ③人の行動を引き起こしたり、維持する要因について説明できるようになること ④人の個人差を説明する概念について説明できるようになること ⑤人の心の健康や不適応に関する理論について説明できるようになること ⑥人の心の問題の回復、援助について理解すること						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・ スケジュール							サトウタツヤ・渡邊芳之 『改訂版 心理学・入門 心理学はこんなに面白い』 有斐閣アルマ 2019
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/literary-maekawa/">https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/literary-maekawa/</a>						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	maekawa@kanazawa-gu.ac.jp						

科目名	日本語文法 I			授業形態	開講期間	金沢学院大学で確認		
	英文科目名	Grammar of Modern Japanese I				開講時間	金沢学院大学で確認	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢学院大学で確認	
受講定員等	担当教員	寺田 智美	単位数			2単位	成績評価 方法・割合	テスト50%（筆記。説明に客観性があるか、論理性があるか）、授業態度および参加度50%（課題を提出したか、きちんと取り組んだか）の総合評価。
	定員数	若干名	定員超過時の選考方法等	未定				
	特別聴講学生等定員	若干名	科目等履修生定員	若干名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
				10,000円	35,000円	32,000円		
科目の内容	中学校で学んできた「学校文法」の内容を検証し、学校文法に対する正しい認識を持つことを目指す。具体的には、学校文法で説明できる、あるいは説明できない現代日本語の事象、内容の矛盾、批判、教育現場でのとまどいなど、この文法学説をめぐる諸問題について幅広く取り上げ、学校文法に対する批判的視点を養うとともに、文法を考えるという行為について理解を深めていく。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・ スケジュール	○授業日程：金沢学院大学の学年暦に準じる ○スケジュール（授業計画） 第1回：品詞／第2回：活用／第3回：文の組み立て／第4回：格助詞／第5回：副助詞／第6回：接続助詞／第7回：連用修飾・連体修飾／第8回：助動詞（1）受身・使役・可能／第9回：助動詞（2）否定・時間／第10回：助動詞（3）話し手の出来事に対する捉え方ともくろみ／第11回：助動詞と似た働きの形式（1）評価と働きかけ／第12回：助動詞と似た働きの形式（2）補助助詞／第13回：敬語／第14回：文章・談話／第15回：まとめ～文法とは						山田敏弘『国語教師が 知っておきたい日本語文 法』（くろしお出版）
授業担当教員紹介	URL							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	teradato@kanazawa-gu.ac.jp						

科目名	色彩学			授業形態		開講期間	金沢学院大学で確認								
	英文科目名	Science of color		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	金沢学院大学で確認								
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	金沢学院大学で確認								
受講定員等	担当教員	広根 礼子		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	小テスト30%、 演習課題30%、 学習意欲および授業への関わり度40%							
	定員数	若干名 定員超過時の選考方法等 未定		特別聴講学生等定員	若干名										
科目等履修生定員	若干名														
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)						
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認				受講料						
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用							
				10,000円	35,000円	32,000円									
科目の内容	色には相手に与える特定のイメージや無意識に働きかける心理効果がある。色の特性を理解し、人間の目が色を認識する仕組みやその性質について学ぶ。色彩学はインフォメーションとインテリジェンスを背景にした現代の情報科学であり、その研究対象は色彩史、色彩視覚、色彩心理、色彩デザイン、色彩環境など人間尺度に関わって広い。本講義により、色彩の知識を深め、美術文化の創造と応用に役立てることが目標である。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)							
								テキストと配色カードを使用する ※初回授業で購入に関する説明あり							
授業日程・ スケジュール	第1回 「色のみえるしくみ」について	第2回 加法混色と減法混色	第3回 色の分類と三属性	第4回 配色カードを使用した色相演習	第5回 配色カードを使用したトーン演習	第6回 配色カードを使用したヒュートーンサークル演習	第7回 色彩調和(色相)	第8回 色彩調和(トーン)	第9回 色の心理効果	第10回 色の視覚効果	第11回 ファッションと色彩	第12回 インテリアと色彩	第13回 流行色 リサーチ	第14回 流行色 ディスカッション	第15回 まとめと到達の確認、授業総括
授業担当教員紹介	URL			https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/arts-hirone/											
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			hirone@kanazawa-gu.ac.jp											

科目名	観光概論			授業形態		開講期間	金沢学院短期大学で確認								
	英文科目名	Introduction to Tourism		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	金沢学院短期大学で確認								
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	初学者向け、基礎的な内容					開講場所	金沢学院短期大学で確認								
受講定員等	担当教員	村上 智		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	原則として、 課題(セルフチェックシート)：60%、 定期試験：40% で評価する。							
	定員数	50名 定員超過時の選考方法等 受付順		特別聴講学生等定員	若干名										
科目等履修生定員	若干名														
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)						
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院短期大学で確認				受講料						
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用							
				10,000円	35,000円	32,000円									
科目の内容	観光は「人間らしい幸福な生活」の実現に資する行動や現象である。また観光は、社会、文化、経済、教育等様々な面から重視されており、国際理解や平和実現、文化的で豊かな暮らしの実現のため重要な手段としての意義を持っている。従来の観光は娯楽、遊興的な面が強調されてきたが、その価値を認めつつ学びを通して社会の諸課題解決の手段として活用することが求められる。また、観光学習は実学的・学際的な要素を多く持ち、社会人・企業人として必須のホスピタリティやコミュニケーションを学ぶ機会でもある。そこで職業的な専門性を交えつつ、あくまでも一般教養としての観光を学ぶ授業内容となる。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)							
	本科目の学習成果：総合力養成、専門知識習得							講義スタイルの授業である。授業を進めるに当たっては、適宜パワーポイントを使用する。受講者は、必要箇所のみノートする事(全てノートするという受講態度は非現実的である)。							
授業日程・ スケジュール	1. オリエンテーション～観光を学ぶ意義と観光の様々な効果～	2. 観光に関わる言葉	3. 観光のしくみ	4. 観光資源と観光対象	4. 観光産業の構成と特徴	6. 旅行業の概要と特徴	5. 観光の歴史とこれからの旅行	8. 交通運輸業の概要と特徴	9. その他観光産業の概要と特徴	10. 観光と情報	11. 観光政策と観光行政	12. 観光のマーケティング	13. 旅の歴史とこれからの旅行	14. 観光と国際経済・社会・文化	～インバウンドと異文化理解～
授業担当教員紹介	URL			https://www.kanazawa-gu.ac.jp/college/aboutus/teacher/?gakubu=3#teacher_introlink											
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			s-murakami@kanazawa-gu.ac.jp											

科目名	コーヒーと社会2			授業形態	開講期間	10月6日～12月1日		
	英文科目名	Coffee and Society2		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	火曜日 第3講時 13:00～14:30		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	なし (講義は日本語で行う)				開講場所	金沢大学		
受講定員等	担当教員	原 章規		単位数	1単位			
	定員数 100名 定員超過時の選考方法等 受付順 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名							成績評価 方法・割合
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用
				9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	コーヒーに関連する世界と国内の歴史・文化・経済などについて、外部講師も招へいた授業を行い、コーヒーの社会的な位置づけを学ぶことで人間性を養成するとともに、関連ビジネスの現状を知ること、キャリア形成にも役立つ内容を含んだ講義形式の授業であり、「コーヒーと社会1」をさらに進化させた内容となっている。						<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等) なるほどコーヒー学 (金沢大学コーヒー学研究会) コーヒーの香味発生の主要な原因と官能評価用語 (圓尾 修三, 広瀬 幸雄) コーヒー学入門 (広瀬 幸雄, 圓尾 修三, 星田 宏司)	
	授業日程・スケジュール	全8回						
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	hara-akinori@med.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	コーヒーと科学2			授業形態	開講期間	12月15日～2月9日		
	英文科目名	Coffee and Science2		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	火曜日 第3講時 13:00～14:30		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	なし (講義は日本語で行う)				開講場所	金沢大学		
受講定員等	担当教員	原 章規		単位数	1単位			
	定員数 100名 定員超過時の選考方法等 受付順 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名							成績評価 方法・割合
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用
				9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	コーヒーという食品および含有成分にも着目したコーヒーの化学的側面ならびにからだへの様々な響について外部講師も招へいた授業を行い、コーヒー成分の科学的な位置づけと健康への影響を学ぶとともに、コーヒーに関連する健康産業の現状を知ることによってキャリア形成にも役立つ内容を含んだ講義形式の授業であり、「コーヒーと科学1」をさらに進化させた内容となっている。						<b>その他特記事項</b> (テキスト・教材参考書等) なるほどコーヒー学 (金沢大学コーヒー学研究会) コーヒーの香味発生の主要な原因と官能評価用語 (圓尾 修三, 広瀬 幸雄) コーヒー学入門 (広瀬 幸雄, 圓尾 修三, 星田 宏司)	
	授業日程・スケジュール	全8回						
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	hara-akinori@med.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	ゼミ／漢文史料読解B1			授業形態	開講期間	10月2日～11月27日 ※11/6(金)は休講			
	英文科目名	Semi/Reading of Historical Materials Written in Chinese B1				開講時間	金曜日 5限 16:30～18:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学 総合教育棟			
受講定員等	担当教員	安部 聡一郎・古畑 徹		単位数	1単位				
	定員数	30名 定員超過時の選考方法等 未定		特別聴講学生等定員	若干名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	このゼミでは、生の史料を読み、その中からどのように史実を読み取るかを体験学習してもらう。読むのは、中国古代のことを書いた漢文史料であり、漢文講読の形で授業を進めたい。ただし、高校における漢文教育は現在レベル低下の一途をたどっており、最も基礎となる漢和辞典の引き方さえきちんと教えていないのが現状である。それゆえ、漢和辞典等の工具書の扱い方の初歩や漢文の基礎から始めていく。そしてこれらを通して歴史学への理解を深めるだけでなく、漢字に対する鋭敏な感覚や現代社会を見通す目を養っていきたい。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・スケジュール	第1回 ガイダンス 第2回 スクリーニング・テスト(現時点での漢文読解力を確認する) 第3～8回 史料読解演習							テキストは、『通鑑紀事本末』巻40の「馬氏據湖南」を使用予定。唐末・五代十国の混乱期に現在の湖南省一帯に自立した楚の興亡をめぐる史料である。プリントにして配布する。 史料読解のため、漢和辞典(中辞典レベル)を必ず授業に持参すること。
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	soichiro@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	ゼミ／漢文史料読解B2			授業形態	開講期間	12月11日～2月5日 ※1/13(水)は授業あり(金曜日の授業日)、1/15(金)は休講			
	英文科目名	Semi/Reading of Historical Materials Written in Chinese B2				開講時間	金曜日 5限 16:30～18:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学 総合教育棟			
受講定員等	担当教員	安部 聡一郎・古畑 徹		単位数	1単位				
	定員数	30名 定員超過時の選考方法等 未定		特別聴講学生等定員	若干名				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	このゼミでは、生の史料を読み、その中からどのように史実を読み取るかを体験学習してもらう。読むのは、中国古代のことを書いた漢文史料であり、漢文講読の形で授業を進めたい。ただし、高校における漢文教育は現在レベル低下の一途をたどっており、最も基礎となる漢和辞典の引き方さえきちんと教えていないのが現状である。それゆえ、漢和辞典等の工具書の扱い方の初歩や漢文の基礎から始めていく。そしてこれらを通して歴史学への理解を深めるだけでなく、漢字に対する鋭敏な感覚や現代社会を見通す目を養っていきたい。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・スケジュール	第1回 ガイダンス 第2回 スクリーニング・テスト(現時点での漢文読解力を確認する) 第3～8回 史料読解演習							テキストは、『通鑑紀事本末』巻40の「馬氏據湖南」を使用予定。唐末・五代十国の混乱期に現在の湖南省一帯に自立した楚の興亡をめぐる史料である。プリントにして配布する。 史料読解のため、漢和辞典(中辞典レベル)を必ず授業に持参すること。
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	soichiro@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	フューチャー・デザイン ー未来から現代への提案ー			授業形態	開講期間	12月15日～2月9日	
	英文科目名	Future Design -Proposals from the future for the present-		①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	火曜日 3限 13:00～14:30	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	特に無し。				開講場所	金沢大学総合教育棟	
受講定員等	担当教員	木村 岳裕・野中 雄大		単位数	1単位		
	定員数	25名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 10名 科目等履修生定員 10名					成績評価 方法・割合
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		
			教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	私たちは社会保障や財政、環境などの問題について、将来を見据えた話し合いをします。そこで決定されたことは、話し合いをした私たちの世代ではなく、話し合いに参加していない将来世代の生活に影響されます。フューチャーデザインは、様々な課題に対し、私たち現役世代だけでなく、その課題の影響が及ぶ将来世代の立場も踏まえて議論しようという取組みです。テーマとして扱える議題については環境、人権、医療など、社会に関わるものから、スポーツ、食事など生活に関わるものなど様々です。フューチャーデザインの実践を通じて、自由な発想や問題解決に向けてどのような機関に働きかけるといいのかが、など新しいマインドセットを持つきっかけとなることを科目の目標としています。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	特に無し。						ノートパソコンを使用してグループワークや資料作成をするので、毎回持参してください。
授業日程・スケジュール	第1回：ガイダンス、アイスブレイク (自己紹介)、グループとテーマ決め 第2回：プレゼン・デザインを用いたグループワーク 第3回：プレゼン・デザインでのグループ発表 第4回：バスト・デザインを用いたグループワーク 第5回：バスト・デザインでのグループ発表 第6回：フューチャー・デザインを用いたグループワーク 第7回：フューチャー・デザインでのグループ発表 第8回：まとめ (フューチャー・デザインでの気付きから現代へのリクエストを考える)						
授業担当教員紹介	URL			https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/detail.php?id=4679			
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			kimura@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	地域協創のアンテナ			授業形態	開講期間	10月2日～11月27日 ※11/6 (金) は休講日	
	英文科目名	Antenna for Regional Cooperative Creation		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講時間	金曜日 第2講時 10:30～12:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	金沢大学総合教育棟 講義室	
受講定員等	担当教員	佐川 哲也		単位数	1単位		
	定員数	100名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名					成績評価 方法・割合
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		
			教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	「地域協創のアンテナ」は、金沢大学のキャリア形成科目を大学コンソーシアム石川加盟高等教育機関の学生及び全国の学生を含むキャリアアップを目指す社会人に公開するものである。この科目は、北陸経済連合会及び日本経済団体連合会の協力を得て開講するものであり、北陸地域の企業と経団連企業からゲストスピーカーをペアで招聘し、二人が同じテーマについてそれぞれの立場からの話題提供するとともに、与えられた「問い」に沿って、対話的に話題提供する。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	この科目を貫くコンセプトは、「目標を持って夢中で働き (学び) 続ける」であり、ゲストスピーカーは「何を目標に働いているのか」、「会社 (働くこと) から何を求めているのか」、「自己成長のためにどんなアンテナを立て、何をキャッチしているのか」等の問いに対してお話しいただく。 この科目の受講者には、「人は何を求めているのか」、「働くことを通じて何を求めているのか」、「働くことと学ぶことがどのように繋がっているのか」を理解し、自らの学ぶこと、働くことのマインドセット形成のヒントを得てほしい。併せて、どのような企業人とともに働きたいかを考えるヒントを掴んでほしい。						なし
授業日程・スケジュール	10/2 ガイダンス 10/9、10/16、10/23、10/30、11/13、11/20 ゲストスピーカーによる話題提供 11/27 総括						
授業担当教員紹介	URL						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			sagawa@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)			授業形態	開講期間	10月5日～11月30日 ※11/9(月)は休講、10/15(木)・11/11(水)は授業あり(月曜日の授業日)		
	英文科目名	English Academic Literacy (English for STEM)				開講時間	月曜日 5限 16:30～18:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学		
受講定員等	担当教員	山村 公恵		単位数	1単位			
	定員数	20名		定員超過時の選考方法等	特別聴講学生は受け付け順			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
科目の内容	教員の指示に従う			9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では環境問題に対する知識を深めながら、自分の意見を英語で表現する技術を学びます。また、また実際に道具やジェスチャーを使いながら説明したり、他の受講生やTAと英語で対話する練習を行います。それらをとおり、大学院に進学した際に研究活動に必要な英語のスキルを学びます。</p>
	授業日程・スケジュール	各週で扱うトピック 第一回 ガイダンス 第二回 Climates changes the world (海外の事例1 オーストラリア) 第三回 Climates changes the world (海外の事例2 アメリカ) 第四回 Climates changes the world (海外の事例3 ブラジル) 第五回 期末発表; Q&Aの練習			第二回 Climates changes the world (日本の事例) 第四回 Climates changes the world (海外の事例2 アメリカ) 第六回 Presentation準備 第八回 総括、Interactive Discussion	<p>『Active English for Science: 英語で科学するレポート, 論文, プレゼンテーション』 東京大学教養学部ALESSプログラム編 (東京大学出版会, 2012) ISBN: 978-4130821315</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>		
授業担当教員紹介	URL			E-mail				
ホームページ・メールアドレス等	URL			E-mail				

科目名	英語学術リテラシー科目 (English for STEM)			授業形態	開講期間	12月9日～2月10日 ※1/13 (水) は授業なし (金曜日の授業日)		
	英文科目名	English Academic Literacy (English for STEM)				開講時間	水曜日 2限 10:30～12:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学		
受講定員等	担当教員	山村 公恵		単位数	1単位			
	定員数	20名		定員超過時の選考方法等	特別聴講学生は受け付け順			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
科目の内容	教員の指示に従う			9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では環境問題に対する知識を深めながら、自分の意見を英語で表現する技術を学びます。また、また実際に道具やジェスチャーを使いながら説明したり、他の受講生やTAと英語で対話する練習を行います。それらをとおり、大学院に進学した際に研究活動に必要な英語のスキルを学びます。</p>
	授業日程・スケジュール	各週で扱うトピック 第一回 ガイダンス 第二回 Climates changes the world (海外の事例1 オーストラリア) 第三回 Climates changes the world (海外の事例2 アメリカ) 第四回 Climates changes the world (海外の事例3 ブラジル) 第五回 期末発表; Q&Aの練習			第二回 Climates changes the world (日本の事例) 第四回 Climates changes the world (海外の事例2 アメリカ) 第六回 Presentation準備 第八回 総括、Interactive Discussion	<p>『Active English for Science: 英語で科学するレポート, 論文, プレゼンテーション』 東京大学教養学部ALESSプログラム編 (東京大学出版会, 2012) ISBN: 978-4130821315</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>		
授業担当教員紹介	URL			E-mail				
ホームページ・メールアドレス等	URL			E-mail				

科目名	英語学術リテラシー科目 (Interaction)			授業形態		開講期間	10月6日～12月1日		
	英文科目名	English Academic Literacy (Interaction)		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	火曜日 3限 13:00～14:30		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上					開講場所	金沢大学		
受講定員等	担当教員	大藪 加奈		単位数	1単位		成績評価 方法・割合 授業貢献・宿題 30% 中間評価 (リスニングテスト) 20% 期末評価 (合同授業での発表) 20% 期末試験 30% (最終プレゼンテーション)		
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 3名								
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
	教員の指示に従う				検定料	入学料	授業料	別途負担費用	教員の指示に従う
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、英語トークやレクチャーの内容等を聞いて理解する練習や、理解できない時に質問するなどの対応策について学ぶ。授業後半では多様な学生との人間関係構築や共同作業遂行ができるようになることを目指す。</p>								
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック 第一回 ガイダンス リサイクル品 (環境・ライフスタイル) 第二回 教科書や評価がない自由な学校 (教育・社会) 第三回 ゴミ収集活動 (環境・社会) 第四回 デベート (教育・論理) 第五回 ツタンカーメンの埋蔵品 (歴史・研究) 第六回 「空の河」 (環境) 第七回 光を届ける (科学・ビジネス) 第八回 最終プレゼンテーション *各週のトピックは変更する可能性があります</p>							
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		oyabu@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	英語学術リテラシー科目 (Interaction)			授業形態		開講期間	12月14日～2月8日		
	英文科目名	English Academic Literacy (Interaction)		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	月曜日 5限 16:30～18:00		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上					開講場所	金沢大学		
受講定員等	担当教員	大藪 加奈		単位数	1単位		成績評価 方法・割合 授業貢献・宿題 30% 中間評価 (リスニングテスト) 20% 期末評価 (合同授業での発表) 20% 期末試験 30% (最終プレゼンテーション)		
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 3名								
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
	教員の指示に従う				検定料	入学料	授業料	別途負担費用	教員の指示に従う
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、英語トークやレクチャーの内容等を聞いて理解する練習や、理解できない時に質問するなどの対応策について学ぶ。授業後半では多様な学生との人間関係構築や共同作業遂行ができるようになることを目指す。</p>								
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック 第一回 ガイダンス リサイクル品 (環境・ライフスタイル) 第二回 教科書や評価がない自由な学校 (教育・社会) 第三回 ゴミ収集活動 (環境・社会) 第四回 デベート (教育・論理) 第五回 ツタンカーメンの埋蔵品 (歴史・研究) 第六回 「空の河」 (環境) 第七回 光を届ける (科学・ビジネス) 第八回 最終プレゼンテーション *各週のトピックは変更する可能性があります</p>							
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		oyabu@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	英語学術リテラシー科目 (Presentation)		授業形態		開講期間	10月1日～11月26日 ※10/15(木)は授業なし(月曜扱いの授業日)	
	英文科目名	English Academic Literacy (Presentation)	①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	木曜日 4限 14:45～16:15	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上				開講場所	金沢大学	
受講定員等	担当教員	J.ラナー	単位数	1単位	成績評価 方法・割合	30% 授業への参加度 20% 宿題 20% 中間課題 (説得型プレゼンの録画: 2-3分) 30% 期末プレゼンテーション (他の人の研究内容を引用、まとめ、～3分で紹介・説明する)	
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 3名						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、サイエンス・コミュニケーションとしての効果的な発表のしかたやプレゼンテーションの組立てを学ぶ。毎週英語による口頭練習の時間を十分取り、自信を持って簡単な英語発表ができるようになることを目指す。</p>						<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>『新・英語でプレゼンテーション Power Presentation (New Edition)』 JACET関西支部教材開発研究会 著 (三修社, 2024年) ISBN:4384335326</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <p>第一回 ガイダンス、プレゼンテーションの構成 第二回 効果的なプレゼンテーション、ビジュアル資料 第三回 プレゼンテーションの分析と評価、非言語的コミュニケーション、研究紹介 第四回 プレゼンテーションの練習と質疑応答練習、ピア・フィードバック *毎週のトピックは変更する場合があります。</p> <p>第二回 様々なプレゼンテーション・スタイル 第四回 中間課題の提出、話し方の作法とThree-Minute Thesis 第六回 視聴者との関係構築、練習方法 第八回 総括と期末プレゼンテーション</p>					
授業担当教員紹介		URL					
ホームページ・メールアドレス等		E-mail		jwrunner@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	英語学術リテラシー科目 (Presentation)		授業形態		開講期間	12月15日～2月9日	
	英文科目名	English Academic Literacy (Presentation)	①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	火曜日 5限 16:30～18:00	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上				開講場所	金沢大学	
受講定員等	担当教員	J.ラナー	単位数	1単位	成績評価 方法・割合	30% 授業への参加度 20% 宿題 20% 中間課題 (説得型プレゼンの録画: 2-3分) 30% 期末プレゼンテーション (他の人の研究内容を引用、まとめ、～3分で紹介・説明する)	
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 3名						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、サイエンス・コミュニケーションとしての効果的な発表のしかたやプレゼンテーションの組立てを学ぶ。毎週英語による口頭練習の時間を十分取り、自信を持って簡単な英語発表ができるようになることを目指す。</p>						<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>『新・英語でプレゼンテーション Power Presentation (New Edition)』 JACET関西支部教材開発研究会 著 (三修社, 2024年) ISBN:4384335326</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <p>第一回 ガイダンス、プレゼンテーションの構成 第二回 効果的なプレゼンテーション、ビジュアル資料 第三回 プレゼンテーションの分析と評価、非言語的コミュニケーション、研究紹介 第四回 プレゼンテーションの練習と質疑応答練習、ピア・フィードバック *毎週のトピックは変更する場合があります。</p> <p>第二回 様々なプレゼンテーション・スタイル 第四回 中間課題の提出、話し方の作法とThree-Minute Thesis 第六回 視聴者との関係構築、練習方法 第八回 総括と期末プレゼンテーション</p>					
授業担当教員紹介		URL					
ホームページ・メールアドレス等		E-mail		jwrunner@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)			授業形態		開講期間	10月6日～12月1日									
	英文科目名	English Academic Literacy (Reading & Discussion)		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	火曜日 5限 16:30～18:00									
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上					開講場所	金沢大学									
受講定員等	担当教員	D.ブラウン		単位数	1単位		成績評価方法・割合	30% 授業貢献 (授業中の発表やディスカッションを含む) 30% 宿題 40% 期末試験								
	定員数	20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順														
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)								
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料							
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う								
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、読解力を養成するための教科書を使い、いろいろな研究分野に関する文章を読み、目的に合わせて多様な読み方を選択・実践し、読んだ内容を英語でディスカッションする練習を行う。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>								
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <table border="0"> <tr> <td>第一回 ガイダンス、読解方策入門</td> <td>第二回 学術的テキストと非学術的テキストの比較</td> <td>第三回 文献の引用方法の理解</td> </tr> <tr> <td>第四回 文献の信頼性の評価</td> <td>第五回 文献への応答方法</td> <td>第六回 “対話”の理解</td> </tr> <tr> <td>第七回 総括</td> <td>第八回 期末評価</td> <td></td> </tr> </table> <p>*毎週のトピックは変更する場合があります。</p>							第一回 ガイダンス、読解方策入門	第二回 学術的テキストと非学術的テキストの比較	第三回 文献の引用方法の理解	第四回 文献の信頼性の評価	第五回 文献への応答方法	第六回 “対話”の理解	第七回 総括	第八回 期末評価
第一回 ガイダンス、読解方策入門	第二回 学術的テキストと非学術的テキストの比較	第三回 文献の引用方法の理解														
第四回 文献の信頼性の評価	第五回 文献への応答方法	第六回 “対話”の理解														
第七回 総括	第八回 期末評価															
授業担当教員紹介				URL												
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		dbrown@staff.kanazawa-u.ac.jp										

科目名	英語学術リテラシー科目 (Reading & Discussion)			授業形態		開講期間	12月10日～2月4日									
	英文科目名	English Academic Literacy (Reading & Discussion)		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	木曜日 4限 14:45～16:15									
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上					開講場所	金沢大学									
受講定員等	担当教員	D.ブラウン		単位数	1単位		成績評価方法・割合	30% 授業貢献 (授業中の発表やディスカッションを含む) 30% 宿題 40% 期末試験								
	定員数	20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順														
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)								
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料							
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う								
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、読解力を養成するための教科書を使い、いろいろな研究分野に関する文章を読み、目的に合わせて多様な読み方を選択・実践し、読んだ内容を英語でディスカッションする練習を行う。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>								
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <table border="0"> <tr> <td>第一回 ガイダンス、読解方策入門</td> <td>第二回 学術的テキストと非学術的テキストの比較</td> <td>第三回 文献の引用方法の理解</td> </tr> <tr> <td>第四回 文献の信頼性の評価</td> <td>第五回 文献への応答方法</td> <td>第六回 “対話”の理解</td> </tr> <tr> <td>第七回 総括</td> <td>第八回 期末評価</td> <td></td> </tr> </table> <p>*毎週のトピックは変更する場合があります。</p>							第一回 ガイダンス、読解方策入門	第二回 学術的テキストと非学術的テキストの比較	第三回 文献の引用方法の理解	第四回 文献の信頼性の評価	第五回 文献への応答方法	第六回 “対話”の理解	第七回 総括	第八回 期末評価
第一回 ガイダンス、読解方策入門	第二回 学術的テキストと非学術的テキストの比較	第三回 文献の引用方法の理解														
第四回 文献の信頼性の評価	第五回 文献への応答方法	第六回 “対話”の理解														
第七回 総括	第八回 期末評価															
授業担当教員紹介				URL												
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		dbrown@staff.kanazawa-u.ac.jp										

科目名	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)			授業形態	開講期間	10月7日～12月2日 ※11/11(水)は授業なし(月曜扱いの授業日)										
	英文科目名	English Academic Literacy (Science and Society)				開講時間	水曜日 2限 10:30～12:00									
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学									
受講定員等	担当教員	P.パーマー				単位数	1単位									
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 3名			成績評価方法・割合		・30% 授業貢献 ・20% 宿題 ・30% 発表 ・20% 学期末試験										
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)								
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料							
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う								
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、SDGsを題材にした教科書を使い、SDGsにかかわる文章を読み、その内容を理解した上で積極的に未来の社会に関するディスカッションおよびプレゼンテーションの仕方を練習する。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>『Our World Tomorrow: How Technology will Change Our Lives』 Adam Murray &amp; Anderson Passos著 (南雲堂, 2024) ISBN:9784523179610</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>								
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <table border="0"> <tr> <td>第一回 ガイダンス、Good Health</td> <td>第二回 Breaking the Poverty Cycle</td> <td>第三回 Clean Water</td> </tr> <tr> <td>第四回 Zero Hunger</td> <td>第五回 Sustainable Infrastructure</td> <td>第六回 Clean Energy</td> </tr> <tr> <td>第七回 最終発表と質疑応答</td> <td>第八回 期末試験</td> <td></td> </tr> </table> <p>*各週のトピックは変更する場合があります</p>							第一回 ガイダンス、Good Health	第二回 Breaking the Poverty Cycle	第三回 Clean Water	第四回 Zero Hunger	第五回 Sustainable Infrastructure	第六回 Clean Energy	第七回 最終発表と質疑応答	第八回 期末試験
第一回 ガイダンス、Good Health	第二回 Breaking the Poverty Cycle	第三回 Clean Water														
第四回 Zero Hunger	第五回 Sustainable Infrastructure	第六回 Clean Energy														
第七回 最終発表と質疑応答	第八回 期末試験															
授業担当教員紹介			URL													
ホームページ・メールアドレス等			E-mail		palmer@staff.kanazawa-u.ac.jp											

科目名	英語学術リテラシー科目 (Science and Society)			授業形態	開講期間	12月15日～2月9日										
	英文科目名	English Academic Literacy (Science and Society)				開講時間	火曜日 3限 13:00～14:30									
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) B1 (リーディング・リスニング)・A2 (スピーキング) 程度またはそれ以上			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学									
受講定員等	担当教員	P.パーマー				単位数	1単位									
	定員数 20名 定員超過時の選考方法等 特別聴講学生は受け付け順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 3名			成績評価方法・割合		・30% 授業貢献 ・20% 宿題 ・30% 発表 ・20% 学期末試験										
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)								
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料							
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う								
科目の内容	<p>本科目は学術リテラシー教育に関わる基礎的な科目の一つです。学術リテラシー教育では以下の能力や知識を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律的・主体的な学修姿勢、研究活動に必要な学修デザイン能力</li> <li>・文献やデータを調査・理解する能力、文献やデータの評価・分析能力</li> <li>・論理的思考力、課題発見能力</li> <li>・自己表現能力を含む知的コミュニケーション能力</li> <li>・研究倫理に関する知識及び学修成果や研究内容の発信に関する知識</li> </ul> <p>この授業では、SDGsを題材にした教科書を使い、SDGsにかかわる文章を読み、その内容を理解した上で積極的に未来の社会に関するディスカッションおよびプレゼンテーションの仕方を練習する。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>『Our World Tomorrow: How Technology will Change Our Lives』 Adam Murray &amp; Anderson Passos著 (南雲堂, 2024) ISBN:9784523179610</p> <p>実践的な英語授業なので、積極的に授業に参加して英語を使うことや、多様な受講生と協力して学ぶ協調的授業態度が必要です。</p>								
	授業日程・スケジュール	<p>各週で扱うトピック</p> <table border="0"> <tr> <td>第一回 ガイダンス、Good Health</td> <td>第二回 Breaking the Poverty Cycle</td> <td>第三回 Clean Water</td> </tr> <tr> <td>第四回 Zero Hunger</td> <td>第五回 Sustainable Infrastructure</td> <td>第六回 Clean Energy</td> </tr> <tr> <td>第七回 最終発表と質疑応答</td> <td>第八回 期末試験</td> <td></td> </tr> </table> <p>*各週のトピックは変更する場合があります</p>							第一回 ガイダンス、Good Health	第二回 Breaking the Poverty Cycle	第三回 Clean Water	第四回 Zero Hunger	第五回 Sustainable Infrastructure	第六回 Clean Energy	第七回 最終発表と質疑応答	第八回 期末試験
第一回 ガイダンス、Good Health	第二回 Breaking the Poverty Cycle	第三回 Clean Water														
第四回 Zero Hunger	第五回 Sustainable Infrastructure	第六回 Clean Energy														
第七回 最終発表と質疑応答	第八回 期末試験															
授業担当教員紹介			URL													
ホームページ・メールアドレス等			E-mail		palmer@staff.kanazawa-u.ac.jp											

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	10月6日～12月1日（予定）			
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	火曜日 5限目 16:30～18:00（予定）		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	英語クラスは英検2級以上			開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟（調整中）				
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子			単位数	1単位		成績評価 方法・割合	
	定員数	25名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名		授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	<p>本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。</p>								
	授業日程・スケジュール	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史Ⅱ 7 ケーススタディ			2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史Ⅰ 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ				<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>小熊英二著『社会を変えるには』(講談社現代新書)</p> <p>※このクラスは英語クラスです。</p>
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	10月7日～12月2日（予定）			
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	水曜日 5限目 16:30～18:00（予定）		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	英語クラスは英検2級以上			開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟（調整中）				
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子			単位数	1単位		成績評価 方法・割合	
	定員数	90名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名		授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	<p>本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。</p>								
	授業日程・スケジュール	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史Ⅱ 7 ケーススタディ			2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史Ⅰ 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ				<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>小熊英二著『社会を変えるには』(講談社現代新書)</p> <p>※曜日振替のため、11/11(水)は授業無し。</p>
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	10月1日～11月26日（予定）			
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	木曜日 1限目 8:45～10:15（予定）		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟（調整中）				
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子			単位数	1単位		成績評価 方法・割合	
	定員数	90名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名				授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。								
	授業日程・スケジュール	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史 II 7 ケーススタディ		2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史 I 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ		その他特記事項 (テキスト・教材参考書等) 小熊英二著『社会を変えるには』(講談社現代新書) ※曜日振替のため、10/15 (木)は授業無し。			
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	12月11日～2月5日（予定）			
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	金曜日 1限目 8:45～10:15（予定）		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟（調整中）				
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子			単位数	1単位		成績評価 方法・割合	
	定員数	90名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名				授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。								
	授業日程・スケジュール	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史 II 7 ケーススタディ		2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史 I 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ		その他特記事項 (テキスト・教材参考書等) 小熊英二著『社会を変えるには』(講談社現代新書) ※曜日振替のため、1/13 (水)は金曜授業の日 となるので、授業有り。 1/15(金)は授業無し。			
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp				

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	12月11日～2月5日 (1月13日(水)金曜振替のため授業あり)			
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	金曜日 3限目 13:00～14:30		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟 (調整中)			
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子		単位数	1単位		成績評価 方法・割合	授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%	
	定員数	90名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
	教員の指示に従う				検定料	入学料	授業料	別途負担費用	教員の指示に従う
科目の内容	<p>本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。</p>								
	授業日程・スケジュール	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史 II 7 ケーススタディ			2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史 I 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ				<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>小熊英二著『社会を変えるには』(講談社現代新書)</p> <p>※曜日振替のため、1/13(水)は授業無し。</p>
授業担当教員紹介	URL			E-mail					
ホームページ・メールアドレス等	URL			E-mail					

科目名	グローバル時代の国際協力			授業形態	開講期間	12月10日～2月4日 (予定)			
	英文科目名	Global Cooperation				開講時間	木曜日 1限目 8:45～10:15 (予定)		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学 角間キャンパス 北地区 総合教育棟 (調整中)			
受講定員等	担当教員	渡辺 敦子		単位数	1単位		成績評価 方法・割合	授業参加：35% (リフレクションペーパー7回) グループワーク：20% 最終レポート(日本語1,200字以上)：45%	
	定員数	90名 定員超過時の選考方法等 抽選 特別聴講学生等定員 若干名 科目等履修生定員 若干名							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
	教員の指示に従う				検定料	入学料	授業料	別途負担費用	教員の指示に従う
科目の内容	<p>本コースの狙いは、人々が国境を超え、どのように協働できるかを考えることである。ここでいうグローバル協力 (global cooperation) とは、先進国から途上国への援助という限定的な国際援助のみに限らず、個人や企業、NGOを含む民間協力、協調的外交努力も含む、人類の共通善にむけたあらゆる努力として広義に捉えられる。グローバル時代が直面する最大の矛盾の一つは、気候変動や資源問題が人類共通の課題であるにもかかわらず、これらの問題を国際社会が協調して解決するのが困難な状況にあることである。つまり国境が曖昧になればなるほど、これらの問題を解決するために協力することは、困難になっている。新型コロナウイルスの世界的流行は、この矛盾を如実に示している。このような状況はなぜ発生し、どうすれば持続可能な社会にむけて解決することができるのだろうか。本コースは、この状況が、近年問題となっている民主主義の危機と深い関係にあるという理解を出発点とし、次のように進められる。第一に、主要な概念、アクターなどを提示することで、グローバル協力における問題の概略が示される。第二に、近年においてなぜ、多国間協調主義とグローバルガバナンスが衰え、国際協調が困難になったのかという問いを念頭に、第2次大戦後から特に冷戦後の20年間の我々の社会の歴史を振り返る。グローバル化により、国家間のみならず、政治経済、文化などあらゆる境界が取り除かれ、問題が複合化した過程を明らかにする。最後に、グローバル協力における日本の役割を検討しつつ、これまでに学んだ問題のありかを実際のケーススタディの中に確認する。</p>								
	授業日程・スケジュール	1 イントロダクション 3 なぜグローバル協力は達成困難になったのか 5 グローバル協力の歴史 II 7 ケーススタディ			2 グローバル協力とはなにか 4 グローバル協力の歴史 I 6 グローバル民主主義の可能性 8 まとめ				<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>小熊英二著『社会を変えるには』(講談社現代新書)</p>
授業担当教員紹介	URL			E-mail					
ホームページ・メールアドレス等	URL			E-mail					

科目名	グローバル時代の文学			授業形態	開講期間	10月2日～11月27日（予定）		
	英文科目名	Literature in Globalization				開講時間	金曜日 第3講時 13:00～14:30 (予定)	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学総合教育講義棟		
受講定員等	担当教員	佐藤 文彦			単位数	1単位		
	定員数 50名 定員超過時の選考方法等 受付順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 5名				成績評価 方法・割合	授業には3分の2以上の出席を必要とする。S(達成度90%～100%)、A(同80%～90%未満)、B(同70%～80%未満)、C(同60%～70%未満)を合格とし、以下を不合格とする。不可(達成度60%未満)。具体的な評価の方法(試験の形式など)は第1回の講義時に指示をする。		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	この授業では実際に文学体験をしてもらいます。その実際的な体験に基づき、文学作品の読み方、文学作品の向こう側にある社会・文化・思想といった「文脈」を読み解くことの重要性を学びます。予習では、世界各地の日本語、英語、フランス語、中国語による文学作品から選定された短編(翻訳)を読み、教科書を用いて各作品の読み方や作品を囲む文化・社会・思想的な背景についてのイメージを掴んでおいてください(授業における理解度を高め、また、ディスカッションの質を向上させるため、予習には少なくとも2時間以上を充てること)。授業では、各作品の読み方・解釈についての確認と補足的な説明を教員が行います。また、グループ・ディスカッションなどのアクティブラーニングを通じて、それぞれの作品の読みを深めてもらいます。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	授業日程・ スケジュール	第1回 「グローバル時代の文学」序説 第2回 中国語文学 第3回 ドイツ語文学 第4回 フランス語文学 第5回 英語文学(イギリス) 第6回 英語文学(アメリカ) 第7回 日本語文学 第8回 総論・全体ディスカッション (なお、上記スケジュールは日程が変更される場合があります。ガイダンスの時の指示に従ってください。)						
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	satof@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	グローバル時代の文学			授業形態	開講期間	10月5日～11月30日（予定）		
	英文科目名	Literature in Globalization				開講時間	月曜日 第2講時 10:30～12:00 (予定)	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢大学総合教育講義棟		
受講定員等	担当教員	杉山 欣也			単位数	1単位		
	定員数 50名 定員超過時の選考方法等 受付順 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 5名				成績評価 方法・割合	授業には3分の2以上の出席を必要とする。S(達成度90%～100%)、A(同80%～90%未満)、B(同70%～80%未満)、C(同60%～70%未満)を合格とし、以下を不合格とする。不可(達成度60%未満)。具体的な評価の方法(試験の形式など)は第1回の講義時に指示をする。		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う
科目の内容	この授業では実際に文学体験をしてもらいます。その実際的な体験に基づき、文学作品の読み方、文学作品の向こう側にある社会・文化・思想といった「文脈」を読み解くことの重要性を学びます。予習では、世界各地の日本語、英語、フランス語、中国語による文学作品から選定された短編(翻訳)を読み、教科書を用いて各作品の読み方や作品を囲む文化・社会・思想的な背景についてのイメージを掴んでおいてください(授業における理解度を高め、また、ディスカッションの質を向上させるため、予習には少なくとも2時間以上を充てること)。授業では、各作品の読み方・解釈についての確認と補足的な説明を教員が行います。また、グループ・ディスカッションなどのアクティブラーニングを通じて、それぞれの作品の読みを深めてもらいます。							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	授業日程・ スケジュール	第1回 「グローバル時代の文学」序説 第2回 中国語文学 第3回 ドイツ語文学 第4回 フランス語文学 第5回 英語文学(イギリス) 第6回 英語文学(アメリカ) 第7回 日本語文学 第8回 総論・全体ディスカッション (なお、上記スケジュールは日程が変更される場合があります。ガイダンスの時の指示に従ってください。)						
授業担当教員紹介				URL				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	kinkin-s@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	グローバル時代の文学			授業形態	開講期間	12月14日～2月8日（予定）	
	英文科目名	Literature in Globalization				開講時間	月曜日 第2講時 10：30～12：00（予定）
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		金沢大学総合教育講義棟
受講定員等	担当教員	杉山 欣也				単位数	1単位
	定員数 50名 定員超過時の選考方法等 受付順				成績評価 方法・割合	授業には3分の2以上の出席を必要とする。S(達成度90%～100%)、A(同80%～90%未満)、B(同70%～80%未満)、C(同60%～70%未満)を合格とし、以下を不合格とする。不可(達成度60%未満)。具体的な評価の方法(試験の形式など)は第1回の講義時に指示をする。	
	特別聴講学生等定員 5名						
	科目等履修生定員 5名						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認		
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料
					9,800円	28,200円	14,800円
							教員の指示に従う
科目の内容	この授業では実際に文学体験をしてもらいます。その実際的な体験に基づき、文学作品の読み方、文学作品の向こう側にある社会・文化・思想といった「文脈」を読み解くことの重要性を学びます。予習では、世界各地の日本語、英語、フランス語、中国語による文学作品から選定された短編(翻訳)を読み、教科書を用いて各作品の読み方や作品を囲む文化・社会・思想的な背景についてのイメージを掴んでおいてください(授業における理解度を高め、また、ディスカッションの質を向上させるため、予習には少なくとも2時間以上を充てること)。授業では、各作品の読み方・解釈についての確認と補足的な説明を教員が行います。また、グループ・ディスカッションなどのアクティブラーニングを通じて、それぞれの作品の読みを深めてもらいます。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	授業日程・ スケジュール	第1回 「グローバル時代の文学」序説 第2回 中国語文学 第3回 ドイツ語文学 第4回 フランス語文学 第5回 英語文学(イギリス) 第6回 英語文学(アメリカ) 第7回 日本語文学 第8回 総論・全体ディスカッション (なお、上記スケジュールは日程が変更される場合があります。ガイダンスの時の指示に従ってください。)					
授業担当教員紹介	URL						
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			kinkin-s@staff.kanazawa-u.ac.jp			

科目名	ナノバイオテクノロジー論(実習付)			授業形態	開講期間	10月13日～12月1日	
	英文科目名	Study on Nanobiotechnology with Training Course				開講時間	火曜日 第4～5講時 15：20～18：50
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)				①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所		北陸先端科学技術大学院大学
受講定員等	担当教員	芳坂 貴弘・高村 禅・ 廣瀬 大亮				単位数	2単位
	定員数 5名 定員超過時の選考方法等 受付順				成績評価 方法・割合	レポート(90%)および 授業への貢献度(10%)	
	特別聴講学生等定員 若干名						
	科目等履修生定員 若干名						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：8月1日～8月31日		
				9,800円	28,200円	29,600円	
科目の内容	達成目標：遺伝子の解析と発現、ナノバイオデバイスに関する基礎的な知識と技術を修得する。学修によって、分子生物学分野の基礎的な技術が修得できる。 概要：遺伝子を解析する方法について、遺伝子増幅、タンパク質発現、バイオ流体チップデバイスの作成などの実習を通して学修する。 1 遺伝子とタンパク質発現(講義) 遺伝子の機能について、タンパク質発現との関連性の観点から概説する。 2 ナノバイオデバイス(講義) ナノバイオチップと医療の関わりについて展望し、またチップの作成技術を学ぶ。 3-4 遺伝子増幅と解析(実習) DNA断片を増幅し、電気泳動により解析する。 5-6 遺伝子の発現(実習) 増幅したDNAからタンパク質を発現させる。 7-8 タンパク質解析(実習) 発現させたタンパク質を解析する。 9-10 光リソグラフィ(実習) DNAトラップ抽出チップをクリーンルーム内で実際に作成する。 11-12 PDMSデバイス(実習) 前回に引き続き作成作業を行う。 13-14 DNAトラップ(実習) 作成したナノバイオチップを用いて、DNAのトラップ実験を行う。						その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	授業日程・ スケジュール						
授業担当教員紹介	URL			<a href="https://www.jaist.ac.jp/areas/materials-science.html">https://www.jaist.ac.jp/areas/materials-science.html</a>			
ホームページ・メールアドレス等	E-mail			ndegree@ml.jaist.ac.jp			

科目名	デザイン心理学			授業形態	開講期間	2026年10月1日～2027年2月1日（予定）	
	英文科目名	Design Psychology				開講時間	月曜日 7・8限 14:25～15:50（予定）
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	特になし。			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢美術工芸大学 201講義室（予定）	
受講定員等	担当教員	荷方 邦夫・青山 征彦			単位数	2単位	
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢美術工芸大学で確認		受講料
科目の内容	本講義では、美術・造形に深くかかわる心理学的事象、特に視覚情報処理、感情・感性などについての講義を行う。 「心理学から見た『よいデザイン』」をテーマとして、最近の認知デザイン論について講義を行う。ここでは、いわゆる美術・造形に関わるデザインに限らず、文章・図表などの視覚的表現（representation）にわたる広い範囲で授業を行う。			○オリエンテーション 美術・造形における心の関わり、視覚の生理的基礎 ○視覚情報処理(1) 形・奥行、錯視 ○視覚情報処理(2) 色彩の科学 ○注意のはたらき ○感性・感情(1) その生理学的基礎 ○感性・感情(2) デザインへの応用 ○感性・感情(3) 美感・感性認知 ○認知的人工物のデザイン(1単位) ○デザイナーとユーザーのすれ違い D. A. Norman「誰のためのデザイン？」 ○心理学からのRe-design(1) 理解と記憶のサポート、情報量のコントロール ○心理学からのRe-design(2) 人間にフィットさせる ○ミスとエラーに立ち向かうデザイン ヒューマン・エラーとエラーセーフシステム ○美感・感性認知、感性のデザイン ○近年の新しい研究から、調査・技術研究部門とのコラボレーション ○集中講義 現場と実践のデザイン(青山)			【教科書】 資料を配布する。 【参考書】 ソルソ著 鈴木ら訳「脳は絵をどのように理解するか」新曜社 荒川編「はじめての造形心理学」新曜社 荷方邦夫「心を動かすデザインの秘密」(実務教育出版) Norman, D., A「誰のためのデザイン」(新曜社) Norman, D., A「エモーショナル・デザイン」(新曜社) 【教材】 プリントや学習課題を提供する
	授業日程・スケジュール	1 視覚的認知 (0.5単位) ○オリエンテーション 美術・造形における心の関わり、視覚の生理的基礎 ○視覚情報処理(1) 形・奥行、錯視 ○視覚情報処理(2) 色彩の科学 ○注意のはたらき 2 造形に関する認知活動 (0.5単位) ○感性・感情(1) その生理学的基礎 ○感性・感情(2) デザインへの応用 ○感性・感情(3) 美感・感性認知 3 認知的人工物のデザイン (1単位) ○認知的人工物とは ○デザイナーとユーザーのすれ違い D. A. Norman「誰のためのデザイン？」 ○心理学からのRe-design(1) 理解と記憶のサポート、情報量のコントロール ○心理学からのRe-design(2) 人間にフィットさせる ○ミスとエラーに立ち向かうデザイン ヒューマン・エラーとエラーセーフシステム ○美感・感性認知、感性のデザイン ○近年の新しい研究から、調査・技術研究部門とのコラボレーション ○集中講義 現場と実践のデザイン(青山)					
授業担当教員紹介	URL			https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/teacher/829/			
ホームページ・メールアドレス等	E-mail						

科目名	人間と文化			授業形態	開講期間	2026年10月1日～2027年2月1日（予定）	
	英文科目名	Human and Culture				開講時間	金曜日 9・10限 16:00～17:25(予定)
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	特になし。			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講場所	金沢美術工芸大学 301講義室（予定）	
受講定員等	担当教員	高橋 明彦			単位数	2単位	
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢美術工芸大学で確認		受講料
科目の内容	(テーマ) 印刷と出版、あるいは言語メディアと表現の自由 — 可聴・可視化する言語メディア 言語的な伝達媒体（具体的には書籍）をめぐる文化史を講じます。題材は以下の週割りの通りで、言語（文字）の働きに関する本質論から初め、印刷・出版の歴史や意義、日本近世（初期近代）の出版機構や諸現象、近現代の諸問題を扱います。毎回、題材に関連する歌謡曲やポップミュージックも紹介しますが、これもテクノロジーの進化が人間の文化に及ぼした影響を及ぼしたかを考えるための題材ですので、十分に鑑賞・理解してください。			○オリエンテーション 紙への印刷 第2回 印刷の諸相 — 紙への印刷 第4回 仮名草子の出版 — 京都町版の萌芽 第6回 享保七年の出版条例 — 本屋仲間の成立 ※割印帳 第8回 江戸のサブカルチャー — 地本問屋について 第10回 藩版の多様性 / 流通概念について — 読書・学習の意義 第12回 検索 — 本に埋もれて眠りたい 第14回 近代の検閲 — 日本国憲法第21条まで			【教科書】 ホームページを用意しているの、PCやスマホ等携帯端末で確認してください。
	授業日程・スケジュール	第1回 言葉と文字、印刷と出版 第3回 近世初期の印刷技術と印刷物 第5回 浮世草子の出版 — 井原西鶴と大坂の出版 第7回 寛延三年の出版抗争と須原屋グループ *新しい学問と出版 第9回 三都の本屋仲間の連携 — 近藤淳二植字板一件 第11回 春本 — 性と出版、猥褻問題 第13回 筆禍、禁書、検閲 — 言論の弾圧と自由 第15回 現在の表現の自由と権力					
授業担当教員紹介	URL			https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/teacher/825/			
ホームページ・メールアドレス等	E-mail						

科目名	バイオと機械と医療の融合： 初学者のための再生医療工学			授業形態	開講期間	金沢工業大学で確認
	英文科目名	Fusion of Bio, Machinery and Medicine; Tissue/Organ engineering for Beginners		①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	金曜日 第5時限 17:05～18:45
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	学部・学科・専門領域問わず、分野横断の複合領域。 中学レベルの物理・化学・生物の知識があればよい。				開講場所	金沢工業大学 扇が丘キャンパス
受講定員等	担当教員	中村 真人	単位数	1単位	成績評価 方法・割合	授業の出席と基礎知識トレーニング小 テストの受講、簡単なレポート、総合 テストで判定する
	定員数	40名	定員超過時の選考方法等	定員・教室を再検討		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)		シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢工業大学で確認	
科目の内容	【講義の内容】 人が生きていくうえで健康や生命を守る医療はとて重要な領域である。バイオや工学が大きく貢献できる領域でもある。 本講座では、バイオや機械などの工学を学び始める初学者を対象に、医学と工学の融合によって発展する再生医療工学の背景や基礎から、最新のトピックスについて講義する。バイオと機械と医療の融合を学び、深く理解することを目指す。 【講義の進め方】 座学形式で進めていく。講義中には積極的に映像や動画の利用を行う。 【目指す課題など】 再生医療・再生医工学について、医学的背景や基礎的な手法、関連する生物学的、工学的な技術の基礎知識を修得する。 再生医療・再生医工学の課題やその克服のアプローチを理解する。					その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	授業日程・ スケジュール	第1回：オリエンテーション・医学・生命科学与工学の基礎 第3回：再生医工学の基本的な手法 第5回：生体材料工学 第7回：トピックス：バイオと機械と医療の融合		第2回：再生医療・再生医工学の背景 第4回：幹細胞入門 第6回：3次元組織工学・トピックス：オルガノイド 第8回：まとめと展望：再生医療工学のすすめ		授業に際して適宜資料を 配布する。
授業担当教員紹介	URL	https://www2.kanazawa-it.ac.jp/mech/KS/				
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	maknaka-kit@neptune.kanazawa-it.ac.jp				

科目名	地域芸術			授業形態	開講期間	金沢学院大学で確認
	英文科目名	Regional Art		①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信 ○	開講時間	金沢学院大学で確認
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)					開講場所	金沢学院大学で確認
受講定員等	担当教員	飯田 栄治	単位数	2単位	成績評価 方法・割合	レポート課題にて評価を行う。 全授業回数の2/3以上出席をすること。
	定員数	20名	定員超過時の選考方法等	未定		
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)		シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認	
科目の内容	【授業概要】 地域の伝統工芸、伝統芸能について理解を深める。 特に、陶芸・漆芸などの伝統工芸、そして、加賀宝生・小松子供歌舞伎などの地域の伝統芸能にスポットを当て、映像や体験も交え多角的に学習する。なお、授業内容に関して、能登半島地震の被災地復興を理解する題材を取り上げる場合もある。					その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)
	【授業内容】 1. 工芸の世界～石川と金沢～ ・「わざと美」について知る ・「伝統と革新」について知る ・「地域から世界へ」～工芸とKŌGEI～ 2. 伝統芸能の世界 ・加賀宝生（能楽・能面）を知る ・小松子供歌舞伎の歴史と現在の状況を知る ・伝承に向けての取組					本授業では、講義に加え、文化施設や制作の現場、伝承の現場の見学をとおして、各分野が抱える問題も含めて理解を深める。 資料は電子データ等で配布。
授業日程・ スケジュール	12月 地域の伝統工芸について現場の見学をとおして理解を深める。 ※詳細日程は現場のスケジュールと調整の上、決定される。 1月 地域の伝統芸能について現場の見学をとおして理解を深める。 ※詳細日程は現場のスケジュールと調整の上、決定される。					
授業担当教員紹介	URL	https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/arts-iida/				
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	e-iida@kanazawa-gu.ac.jp				

科目名	学習・言語心理学			授業形態		開講期間	金沢学院大学で確認		
	英文科目名	Psychology of Learning and Language			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	○	開講時間	金沢学院大学で確認	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	なし					開講場所	金沢学院大学で確認		
受講定員等	担当教員	中崎 崇志		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	定期試験、中間テスト、毎回の課題（振り返り等）の内容による総合評価。評価の割合は、定期試験（筆記）および中間テスト（オンライン）80%、毎回の課題20%とする。	
	定員数	若干名		定員超過時の選考方法等	未定				
	特別聴講学生等定員 若干名			科目等履修生定員 若干名					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
				10,000円	35,000円	32,000円			
科目の内容	心理学では、学習を「訓練や経験によって生じる比較的永続的な行動の変容」と定義する。これは「学校での勉強」だけではなく、運動技能の習得、日常の経験からさまざまなことを感じとり、それに対処することなども含む。つまり、自分が置かれた環境や社会に適応し、行動を変化させていく過程が学習であると言える。この講義では、学習の基本的な仕組みについて理解し、学習を説明する諸理論について知見を深める。また、学習行動の一環として、言語の習得過程や言語運用能力について知見を深める。 本科目では、以下の内容を到達目標とする。 ①学習の諸現象について理解し、人の行動が変化する過程について説明することができる。 ②言語の習得における機序について、仮説を踏まえて説明することができる。 ③学習心理学における「学習が生じる根本的な考え方」について、その意義を理解し、説明することができる。								
	授業日程・スケジュール	第1回 学習と行動 第4回 種々の学習理論3 社会的学習 第7回 古典的条件づけ2 味覚嫌悪学習 第10回 学習と動機づけ1 内発的動機づけ 第13回 語彙と文法の獲得	第2回 種々の学習理論1 試行錯誤学習 第5回 技能学習と技能の熟達 第8回 道具的条件づけ1 強化・弱化和行動変容 第11回 学習と動機づけ1 動機づけと原因帰属 第14回 言語と知識	第3回 種々の学習理論2 洞察学習 第6回 古典的条件づけ1 嫌悪条件づけと回避学習 第9回 道具的条件づけ2 行動分析 第12回 言語心理学の基礎 第15回 思考・推論と言語					
授業担当教員紹介		URL							
ホームページ・メールアドレス等		E-mail							

科目名	漢文学講読Ⅱ			授業形態		開講期間	金沢学院大学で確認		
	英文科目名	Reading in the Sino-Japanese Literature II			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	○	開講時間	金沢学院大学で確認	
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	金沢学院大学で確認		
受講定員等	担当教員	齋藤 慎一郎		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	定期試験（論述型）59%、毎回のリアクションコメントおよび予習復習としての課題41%	
	定員数	若干名		定員超過時の選考方法等	受付順				
	特別聴講学生等定員 若干名			科目等履修生定員 若干名					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
				10,000円	35,000円	32,000円			
科目の内容	漢文と言うと中国のものと思われるかも知れないが、日本人は古来絶えず中国文化の移入に努めてきた。そこで本科目では、日本人と漢文学（中国文学）との関わりに焦点を当て、歴史の流れに沿って順に解説する（室町時代まで）。日本文学と漢文学、ひいては日本と中国（ならびに朝鮮半島）との歴史的関わりについて理解する。それと同時に、漢文体で書かれた文章や詩を読解するための知識も得られるようにする。 到達目標は次の通り。 ・日本と中国（ならびに朝鮮半島）との歴史的関わりについて文学・文化・語学的視点から指摘できる。 ・日本で漢文を学び教えることの意義を説明できる。 ・和化漢文の特徴を学んで、日本漢文および漢文訓読体の文章を理解し、読みこなせる。								
	授業日程・スケジュール	授業日程：金沢学院大学の学年暦に準じる。 スケジュール：第1回 総説—中国と日本との歴史的つながり／第2回 四部分類、五経1（易、書）／第3回 五経2（詩）／第4回 五経3（礼、春秋）／第5回 論語／第6回 渡来人、遣隋使・遣唐使／第7回 文選、懐風藻／第8回 勅撰三漢詩集／第9回 白氏文集／第10回 菅原道真／第11回 幼学書／第12回 和漢朗詠集／第13回 本朝文粹／第14回 句題詩／第15回 仮名真観政要、蒙求和歌、抄物							
授業担当教員紹介		URL		https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/literary-saito/					
ホームページ・メールアドレス等		E-mail		s-saito@kanazawa-gu.ac.jp					

科目名	発達心理学			授業形態		開講期間	金沢学院大学で確認		
	英文科目名	Developmental Psychology		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	金沢学院大学で確認		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)						開講場所	金沢学院大学で確認		
受講定員等	担当教員	前川 浩子		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	毎回のリアクションコメントおよび 確認テスト等	
	定員数	70名 定員超過時の選考方法等 未定							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
科目の内容	<p>発達心理学とは、時間の経過に従って生じる人間の行動の変化や、その変化の基礎にある法則を記述し、このような変化をもたらす要因を明らかにすることを目的とする学問領域である。この授業では、発達心理学の基礎的な知見や理論を学び、発達心理学の研究法を身につけるとともに、人間の健やかな発達には何が必要なのかという問いについて考えることを目的とする。</p> <p>授業は、スライドと配布資料を用いて進める。</p> <p>到達目標は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯における心身の発達と各発達段階の特徴について理解すること</li> <li>・認知機能および感情・社会性の発達について理解すること</li> <li>・自己と他者の関係のあり方と心理的発達について理解すること</li> <li>・発達障害などの非定型発達（非典型発達）に関する基礎と考え方について理解すること</li> <li>・高齢者の心理社会的な課題と必要な支援について理解すること</li> </ul>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>テキスト：林創「編」『発達心理学』（公認心理師スタンダードテキストシリーズ 第12巻）ミネルヴァ書房</p>	
授業日程・スケジュール									
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/literary-maekawa/">https://www.kanazawa-gu.ac.jp/aboutus/teacher/literary-maekawa/</a>							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	maekawa@kanazawa-gu.ac.jp							

科目名	絵画演習（模写から学ぶ鉛筆デッサン）			授業形態		開講期間	金沢学院大学で確認		
	英文科目名	Learning pencil drawing by copying		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信		開講時間	金沢学院大学で確認		
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	初心者から熟練者まで各々のレベルに対応。					開講場所	金沢学院大学で確認		
受講定員等	担当教員	末松 智		単位数	2単位		成績評価 方法・割合	課題提出（75%） 授業への取り組み姿勢（25%）	
	定員数	50名 定員超過時の選考方法等 受付順							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院大学で確認				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
科目の内容	<p>美術表現において物を描くことは最も重要な能力ですが、それは特別なものではなく練習によって習得できる技法でもあります。その基本になるのは鉛筆やコンテ、ペンなど単色で描く素描（デッサン）ですが、これは絵画のみならず美術全般の基本になるものです。本講座ではお手本の模写をワークシート形式で学びます。</p>							<p>その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)</p> <p>鉛筆各種（2B～5H等）、プラスチック消しゴム、練り消し準備すること。ワークシート、A4ファイルは配布する。</p>	
授業日程・スケジュール	金沢学院大学 後期開講日時どおり								
授業担当教員紹介	URL								
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	suematsu@kanazawa-gu.ac.jp							

科目名	地域文化			授業形態	開講期間	9月28日～1月28日			
	英文科目名	REGIONAL CULTURE		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	金城大学短期大学部で確認			
レベル ※語学は必須 (その他履修上の注意事項)	なし				開講場所	金城大学短期大学部で確認			
受講定員等	担当教員	若月 博延		単位数	1単位		成績評価 方法・割合	ワークシート (50%) フィールドワーク (20%) グループワークのループリック (30%)	
	定員数	40名		定員超過時の選考方法等	未定				
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：				
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	受講料
					10,000円		20,000円	教員の指示に従う	
科目の内容	<p>白山市は、平成の町村合併で、1市2町5村が合併した所です。石川県内最大の面積を持ち、地形的には海から山まで、全ての恩恵を受けることができる地で、工業団地、農業、漁業、食料品の加工、観光業と産業構造のすべてがあります。</p> <p>本講義では、本学の所在地であるこの「白山市」のことを知り、社会人の教養として、「地域に生きること」、「地域で働くこと」、を考えます。さらには「地域のことを考える」ことから「自分たちの生活」を考える力を身に付け、地域の課題を見つけていきます。</p> <p>授業の中では白山市のオピニオンリーダーを招き、学んだことをプレゼンテーションしつつ、地域の課題を若い感性で解決していきます。地域について意見を言う、地域の将来を考えて提言できる力を身につけていきます。</p>							その他特記事項 (テキスト・教材参考書等)	
	授業日程・ スケジュール	<p>第1～3回：白山市を知る－地理・歴史・産業構造の理解/ 海・平野・山間部を併せ持つ白山市の地理的特性を学び、工業・農業・漁業・観光業など多様な産業構造について理解する</p> <p>第4～6回：地域に生きる・地域で働くということ/ 白山市で暮らし、働くことの実態をテーマに、人口構造、雇用、生活環境などを通して「地域と個人の関係」を社会人の教養として考える</p> <p>第7～9回：オピニオンリーダーから学ぶ白山市の現在と課題/ 地域課題や地域の将来像について話を聞き、現場の視点から地域理解を深める</p> <p>第10～12回：地域課題の発見と整理/ これまでの学びをもとに、白山市の課題をグループで整理し、「地域のことを考える」ことから「自分たちの生活」につながる視点を養う</p> <p>第13～15回：地域への提言－プレゼンテーション/ 若い感性を生かした地域課題の解決策をまとめ、プレゼンテーションを行う</p>							なし
授業担当教員紹介	URL	<a href="https://www.kinjo.ac.jp/kjc/business/teachers.html">https://www.kinjo.ac.jp/kjc/business/teachers.html</a>							
ホームページ・メールアドレス等	E-mail	wakatuki@kinjo.ac.jp							

## 公益社団法人 大学コンソーシアム石川

〒920-0962 金沢市広坂2丁目1番1号(石川県政記念しいのき迎賓館3階)  
Tel:076-223-1633 Fax:076-223-1644 E-mail:info@ucon-i.jp

大学コンソーシアム石川

検索

